

学習資料集【下巻】



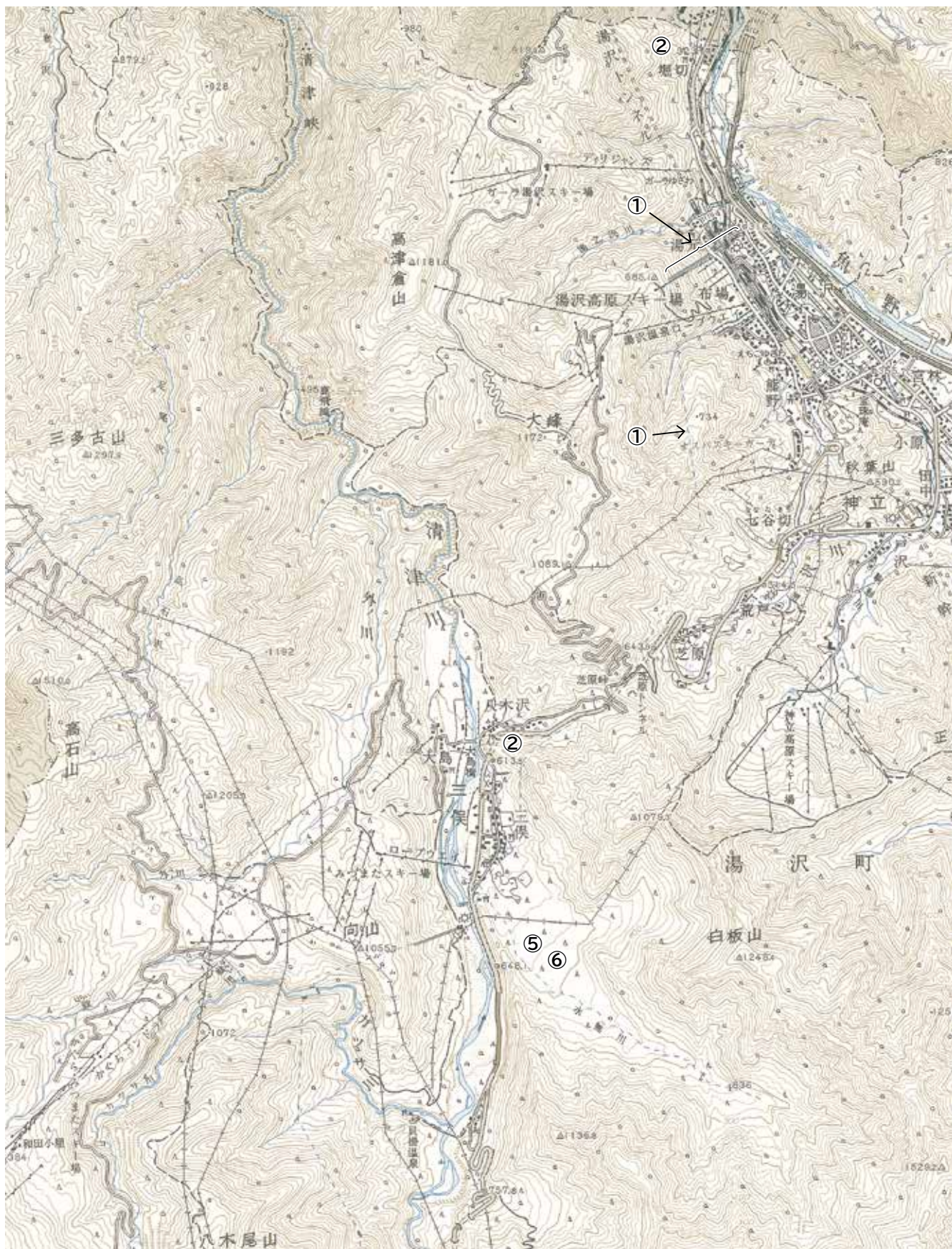
大好き!! 湯沢



湯沢町教育委員会

令和4年度版

湯沢町中心部地形図の読図（5万分の1）



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び2万5千分の1地形図を複製したものである。（承認番号 平25情複、第718号）

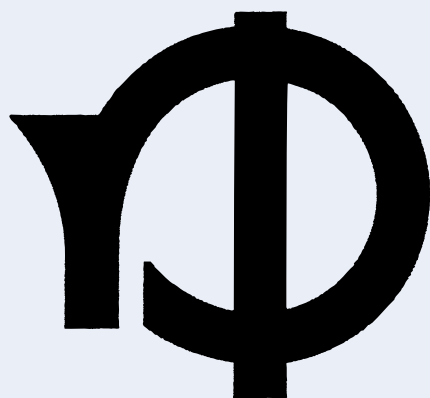
〈地形図の読図〉

- ①湯元と布場の間に発電所の水圧管があります。その水圧管の落差は何mですか？また、その水圧管を通る水はどこからきていますか？
- ②堀切と三俣の標高差はどれくらいですか？
- ③中里付近の地形は次のどれですか？
○けわしい山 ○扇状地 ○深い谷
- ④JR越後湯沢駅から土樽駅までたどってみましょう。途中、大回りしていたり、一回転している箇所がありますがそれはなぜですか？
- ⑤三俣南東方向の斜面（水無川周辺）と岩原スキー場の傾斜はどちらがゆるやかですか？
- ⑥三俣南東方向の斜面（水無川周辺）の土地利用（植生）を答えましょう。
※解答は106ページにあります。



大好き!! 湯沢

学習資料集〔下巻〕



〔町 章〕

美しい自然に囲まれ、町民が力を合わせ
観光の町としてこれから発展することを願って
湯沢町のしるしとして昭和40年12月に
つくったものです。

湯沢町教育委員会



「わたしたちのねがい」

—— 湯沢町民憲章 ——

美しい自然につつまれた雪のまち湯沢

きよらかな愛情^{あいじょう}あふれるまち

すこやかな活力^{かつりよく}みなぎるまち

さわやかな誰も^{だれ}が訪^{おとず}れたいまち

みんなで力をあわせ

豊かで明るく住みよい

文化の香り高い町をつくりましよう



町の木「ベニヤマザクラ」

昭和48・5 指定



町の花「コスモス」

平成3・3・16指定

花ことばは「愛情」「真心」

この本の市町村名称，境界は 2014 年
1 月 1 日現在のものです。

小学校5年生から中学生のみなさんへ

社会科等の学習で利用した「大好き!!湯沢」上巻に加えて、湯沢町の地形、歴史、産業、文化などについてさらに深く学ぶ資料として、下巻を発行しました。

湯沢町は、苗場山や平標山に代表される山々に囲まれて清津川、魚野川という大きな河川の源流部に位置し、豊富な温泉や豊かな自然に恵まれた町です。その地形の成り立ちや動植物、昆虫などを調べることは、そのまま豊かな自然に浸ることは、そのまま豊かな自然に浸ることは、また、遺跡から縄文時代の暮らしを想像したり、古銭や城跡から戦国時代の武将の生活に思いを巡らせたりすることは、歴史に触れることです。

幸い、三国街道には江戸時代の宿場町のたたずまいを今に伝える文化財が複数残っていて、武士の暮らしや明治時代への移り変わりを肌で感じることができます。それは、身近な湯沢町の歴史を窓口として日本の歴史を学ぶことでもあります。

豪雪との闘い、高速交通網の整備を経て、現在の湯沢町の産業や観光施設の状況を学ぶことができるよう統計資料や年表も工夫してあります。

資料集での学習は、現地での見学や調査と両立させることで深まり、友達との考えの交流によってさらに練り上げられます。

美しい自然と文化の香り高い湯沢町に生まれ育ったみなさんがこの資料集を活用して学習を深め、「誇りを胸に、湯沢町や日本の未来を切り拓く人材」に成長してくれることを心から期待します。



湯沢町教育長

島村文男

	湯沢町中心部地形図の読図	
湯沢の自然と地理	①上空から見た湯沢の山々	8
	②湯沢の自然写真	10
	③湯沢の地形と美しい自然	12
	④凄惨な雪国の災害 三俣雪崩	14
	⑤おむすび山の正体 一飯士山は火山ですー	15
	⑥苗場山の不思議 険しい道を登りきると頂上が平坦	16
	⑦湯沢を取り囲む山々	17
	⑧湯沢の河川	18
	⑨山頂部が平坦な平標山～仙ノ倉山と険しい谷川岳～	19
	⑩湯沢の動植物の特徴	20
	⑪湯沢でしか作れない昆虫標本	22
	⑫豪雪地、湯沢の雪	24
湯沢の歴史	⑬湯沢の縄文人の生活 雪国の狩人と火焰型土器	26
	⑭式内魚沼神社	28
	⑮戸内山の土砂崩れと石白の由来	29
	⑯石白古銭の不思議	31
	⑰越後の玄関口の砦 ^{とりで}	32
	⑱上杉謙信の「越山」と樋口主水助	33
	⑲三国街道と宿場（浅貝～湯沢宿まで）	35
	⑳三国街道を歩く～実際のルート毎の見どころ～	38
	㉑三国峠の戦い～戊辰戦争（1868年）～	40
	㉒上越線全通前後の湯沢	41
	㉓三国国道開通、国道17号線全通、上越複線化と湯沢の発展	43
	㉔新幹線開業・高速道路開通からバブル景気までの湯沢	45
	㉕バブル崩壊後の湯沢	47
湯沢文学と	㉖川端康成と湯沢	49
	㉗小説「雪国」を読む	51
	㉘「北越雪譜」を読む	53
湯沢の暮らし	㉙湯沢の昔の遊び	56
	㉚食 越冬保存食	58
	㉛湯沢の山菜と山菜料理	60
	㉜雪と湯沢の暮らし	62
	㉝湯沢学園周辺の石仏	65
	㉞多聞神社、魚沼神社、三国街道で江戸時代を探そう	67
	㉟「北越雪譜」から見た魚沼の冬の生活 ^{ほくえつせっぽ}	68

湯沢の人物	36	激動時代の浅貝村を盛り立てた 綿貫作穂	70
	37	身を投げ出して伝染病の親子を助けた 関鶴女	71
	38	先生から三国村長になった 富沢直治郎	71
	39	初代湯沢村長 井熊熊市郎	72
	40	日本及び湯沢の教育に尽くした 立柄教俊	73
	41	郷土の発展に尽くした 南雲喜之七	74
	42	若者に学問の機会を与えた 岸野俊次郎	76
	43	湯沢と南魚沼をまとめた町長 角谷虎繁	79
	44	谷川連峰の登山者を守った 高波吾策	80
	45	湯沢初オリンピック選手 南雲美津代	82
計算で知る湯沢	46	経済効果を計算しよう～親子で1泊2日した場合～	84
	47	湯沢高原ロープウェイの輸送能力	85
	48	飯士山の標高	85
	49	毘沙門堂（多聞神社）の大杉と石段	86
	50	松川のJRループ線の長さ、岩原スキー場の面積	87
	51	苗場山の山頂部の面積	88
	52	湯沢町の人口密度 ～他の市区町村と比べてみよう～	88
	53	観光客とスキー客数の推移	89
	54	越後湯沢駅をウォッチング	90
	55	関越自動車道 湯沢インターチェンジの交通量	91
施設	56	ダムの水が山に登る 奥清津揚水式発電所	92
	57	湯沢町の高齢者福祉施設	94
湯沢の紹介	58	湯沢の観光地とイベント 一口メモ	95
	59	湯沢町を訪れる外国人観光客	97
	60	湯沢町のランキングあれこれ	99
	61	Let's introduce about Yuzawa in English.	100
	62	Yuzawa the snow town 雪の町、湯沢	102
	63	中文介绍!! 汤泽	104
湯沢に関する資料		計算で知る湯沢 解答	106
	64	湯沢町リゾートマンション等の建築状況図	109
	65	スキー場分布図	110
	66	江戸時代の年号表	111
	67	温泉マップ&ガイド	112
	68	年次別降雪深・積雪深グラフ	113
	69	統計資料	117
	70	湯沢町の年表	122

1 上空から見た湯沢の山々



飯士山から見た群馬～長野県境の山々



上空から見た湯沢

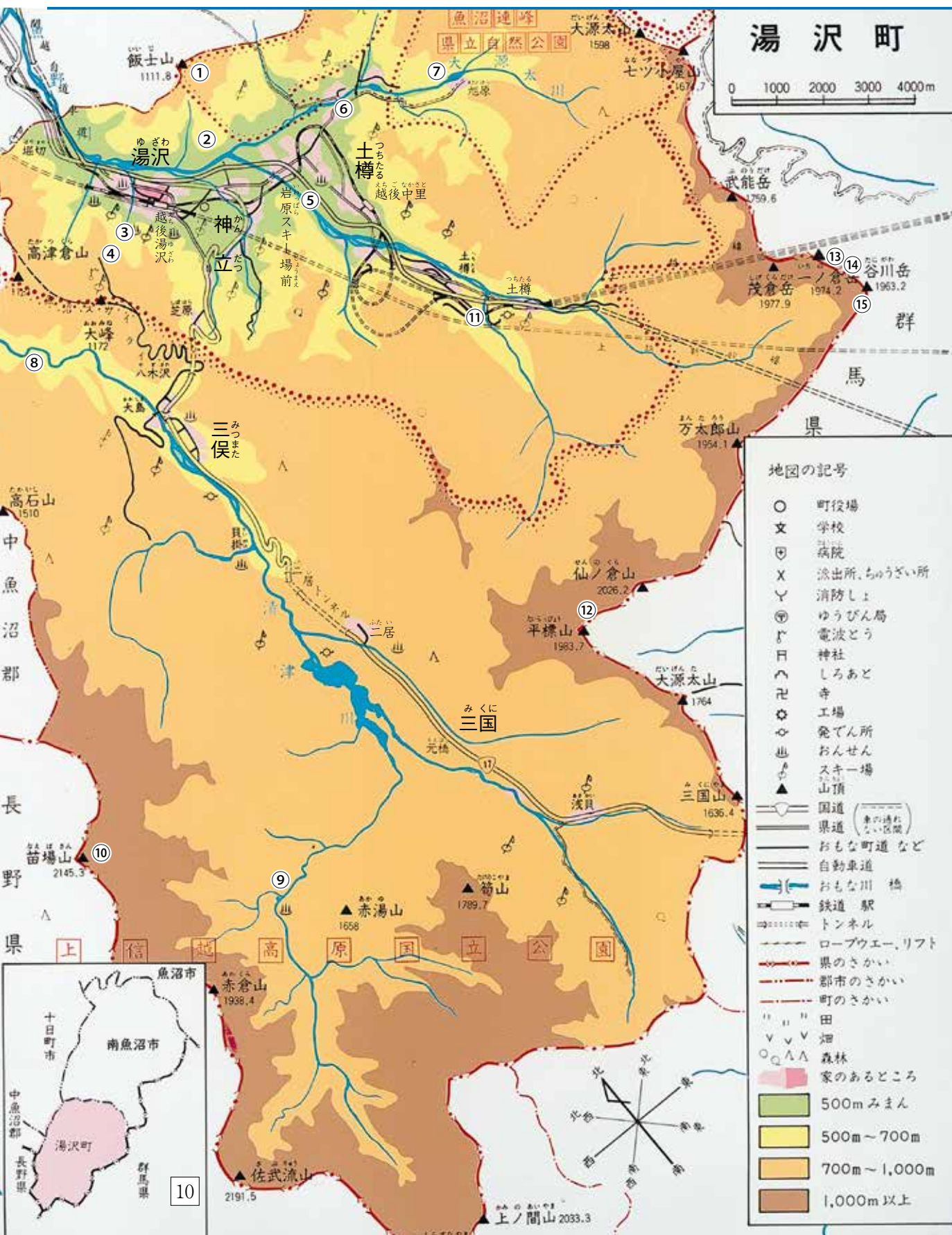


苗場山と奥清津湯水式発電所



ぼくは、ユータンです !!
ぼくといっしょに
湯沢町を学びましょう !!

2 湯沢の自然写真





飯士山^{いいじさん}と火砕流斜面^{かさいりゅう}



立柄山^{たちがらやま}溶岩円頂丘^{ようがんえんとうきゅう}



不動滝



湯沢高原ロープウェー



鱒どまり^{ますどまり}



上杉謙信手植の松跡^{うえすぎけんしん}



大源太山^{だいげんた}と大源太湖



清津峡^{きよつきょう}



清津川上流、赤湯付近



苗場山頂^{なまげ}の高層湿原



毛渡沢鉄橋



平標山^{たいらっぴょう}～仙ノ倉山^{せんのかう}の緩斜面



朝日岳から見た一ノ倉沢と谷川岳



一ノ倉沢^{げっぺき}の絶壁を見下ろすノゾキ



谷川岳肩ノ小屋^{そうなん} 遭難防止の鐘^{かね}

3 湯沢の地形と美しい自然

湯沢町の美しい自然と地形、その特徴とはどのようなものなのでしょうか。



◇湯沢町の地形

湯沢町は、総面積の90%以上が山地で、清津川、魚野川という2つの大きな河川の源流部になります。

上信越高原国立公園に位置し、高い山、美しい川、豊富な温泉など豊かな自然に恵まれた美しい土地です。



<魚野川> 全長66.7km

越後山脈南端の谷川連峰^{れんぼう}が源であり、町の東側を流れています。この魚野川沿いに六日町盆地が広がっています。

<清津川> 全長44km

苗場山を取り囲むように流れ、V字谷を作っています。このV字谷をつくった岩石^{かんじゅうがんだい}の貫入岩体^{ちゅうじょうせつり}には、清津峡柱状節理が見られます。

<六日町盆地>

魚沼丘陵^{うおぬまきゅうりょう}によって十日町盆地^{へだ}と隔てられた盆地で、極端に細長い形をしています。盆地の東側は、越後山脈から流れ出る登川^{さぐり}や三国川・水無川が深く切り込んでいます。盆地の両側には大小の扇状地が多くあります。

<三国山脈> ※俗称

越後山脈の南西部にあたり、湯沢町と長野県・群馬県の県境に走る山脈のことをいいます。ただし、これは多くの人によって言い広められた愛称なので、正式には使用できません。

三国山脈の大きな特徴としては、2,000m前後の山々であることです。



岩原スキー場から見た谷川連峰

<谷川連峰>

清水峠と三国峠との間にある山々を、谷川連峰と総称しています。具体的には、朝日岳^{あさひのう} 武能岳 茂倉岳 一ノ倉岳 谷川岳 万太郎山 仙ノ倉山^{たいらつばや} 平標山などの山々からなっています。

<魚沼丘陵>

魚野川流域の魚沼盆地と信濃川沿いの十日町盆地とを分ける丘陵です。湯沢町、十日町市、魚沼市などにまたがり、長さ30キロ、幅10キロほどで南南西—北北東方向に細長い形をしているのが特徴です。

◇湯沢町の植物

湯沢町では、たくさんの種類の植物が見られます。
それは、次のような要素からです。

- ①谷川岳・苗場山の高山がそびえている。
- ②魚野川・清津川という2つの水系の源流部にあたる。
- ③日本海側の気候と太平洋側の気候の接点である。

この3つの要素から、低地に分布する温暖帯の植物、日本海要素の植物、太平洋要素の植物、亜高山帯の植物、高山帯の植物を見ることができ、大変貴重な地域にあたります。

温暖帯の植物・・キツタ、ヤマアイ、ダンコウバイ、
ヒカゲツツジ、ナガバジャノヒゲ
湯沢町は内陸で海から遠いため、数は少ないです。



三国山からの眺め



ニッコウキスゲ

日本海要素の植物・・コシジシモツケソウ、
ミヤマカワラハンノキ、ホクリクネコノメ

群馬県との境界ですが、どちらかという日本海側に分布する植物が生育しています。
新潟県側には広く分布しているが、湯沢町が限界となっている植物もあります。

太平洋要素の植物・・ハシバミ、ヤマゼリ、テキリスゲ、
トウゴクミツバツツジ、マンサク

日本海要素の植物に比べ、その数は少ないですが、湯沢町は、その生態や太平洋側から日本海側への侵入の要因を調べる格好の地域といえます。

高山・亜高山の植物・・ウスコキシソウ、ヒメフウロ、シコタンソウ、ナエバキスミレ
485種のうち132種が発見されており、全国の約3割の高山植物が湯沢町に分布しています。中には、苗場山の名前にちなんだナエバキスミレという、スミレ科の多年草もあります。



ヤマハハコ



モジカラマツ



ナエバキスミレ

参考文献

湯沢町史編さん室（2003）「湯沢の自然Ⅰ 地形・地質・気象」湯沢町教育委員会
六日町理科教育センター（1995）「南魚の大地」

4 せい さん 凄惨な雪国の災害 三俣雪崩

三俣で起こった雪崩の悲惨さを調べましょう。



雪崩の怖さ

1918（大正7）年、三俣村は1月2日から降雪が続き、8日から暴風雪となりました。9日には積雪が3.6mにもなりました。この日の夜11時半頃、村の東側の前の平という山から大雪崩が起き、村の28戸を襲い、158名の尊い命が奪われました。この大雪崩は国内最大の雪による災害となりました。

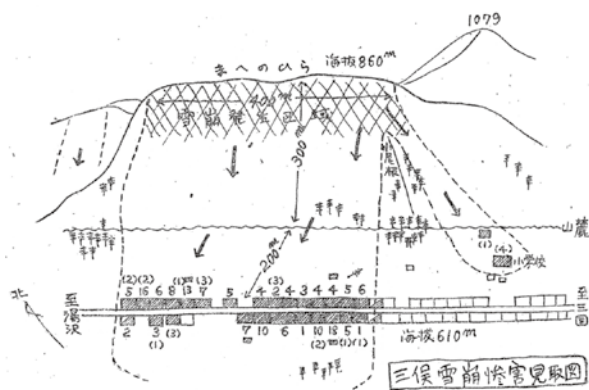
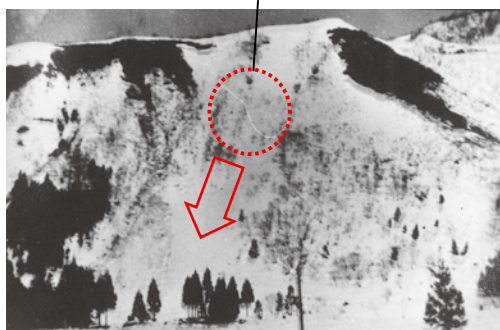
雪崩の原因については、諸説あり確証が得られていませんが、当時、雪崩発生地点の近くでは、発電所の水路（トンネル）工事が進められていて、固い岩盤を掘削するために、ダイナマイトを使用して掘り進められていました。住民たちは、当時、ダイナマイトの発破による振動を体感していて、雪崩発生時刻にも発破が行われていました。地元では発破が原因であるという説が有力でしたが、強風による雪庇崩落説を主張する方もいました。

この大災害の翌日から近隣からの救助隊と発電所工事関係者、地元住民約400名が必死で救出にあたりました。またその後も続々と救助隊が入り、のべ4400名以上が救助にあたりました。当時は木製のコスキが雪掘り道具で、被災現場の雪は堅く苦戦をしました。発電所工事に使用していたわずかなシャベルで何とか掘り出したそうです。三俣村では村長も亡くなり、村の機能が麻痺しました。

当時、子どもであったAさんは、親から「火事だ!!」と、村中の家をどなって回るように言われたそうです。真夜中の災害の対処法を示唆してくれる逸話です。

雪崩には、表層雪崩と全層雪崩があります。しんと粉雪が降り積もる時に起こりやすいのが、表層雪崩です。とても速いスピードで襲ってきます。春になり、雪解けが始まると全層雪崩が起こります。破壊力のあるブロック状の固まりとなって襲ってきます。雪山に行く際には十分に注意しましょう。

雪崩の起こった斜面



5 おむすび山の正体 ー飯士山は火山ですー

おむすび山（立柄山^{たちがら}）と岩原スキー場が、どのようにできたかを探りましょう。

1 おむすび山は溶岩ドーム（溶岩円頂丘^{ようがんえんちゆうきゅう}）

飯士山の麓に立柄山という、おむすびのような形をした山があります。湯沢学園から見れば、北東方向になります。どの方向から見ても、おむすびのような形になっています。どうするとあのような形になるのでしょうか？

そのヒントは、立柄山の隣の飯士山^{いいいじさん}が火山であることに隠されています。

立柄山は飯士山の火山活動に伴ってできた溶岩ドーム（溶岩円頂丘）と呼ばれるものです。この溶岩ドームは、粘り気の強い溶岩が地下から押し上げられて冷えて固まったもので、いわば飯士山の子どもともいえます。



「おむすび山」と呼ばれる立柄山

2 溶岩ドームは恐怖の火砕流^{かさいりゅう}を発生させる

飯士山の山頂付近や西側には、この溶岩ドームが他に3つあります。特に山頂付近のそれは、火口付近に押し上げられたもので、火山活動がさかんな時期には、これが崩壊して雲仙普賢岳のような大規模な火砕流を発生させたものと考えられています。その火砕流が流れたところが、奥添地^{おくそえじ}～岩原スキー場の緩斜面^{かん}となっています。その形から、飯士山は富士山と同じ、成層火山ともいえます。



雲仙普賢岳の火砕流

3 舞子高原スキー場の成り立ち^{まいこ}

旧塩沢町側の舞子高原スキー場の緩斜面は、かつては、岩原スキー場と同様の火砕流堆積物^{たいせきぶつ}による斜面と考えられていましたが、火砕流によるものではなく、豪雨などによって押し流された土石流による緩斜面であることがわかってきました。

飯士山をはさんで、北側と南側に似たような地形となっていて、どちらもスキー場になっていますが、実は成り立ちは違っていたのです。



火砕流によってできた岩原スキー場



魚野川沿いにみられる火砕流堆積物

6 苗場山の不思議 険しい道を登りきると頂上が平坦

苗場山の頂上が平らで、かつ湿原が広がるのはなぜでしょうか。



1 頂上が平らなのはなぜか？

苗場山（2145m）に登ってみましょう。最後の急坂を登り切ると、見渡す限り平らで、どこが頂上かわからないような景色に感動してしまうと思います。この平らな地形は、どのようにしてできたのでしょうか？



平標山からみた苗場山山頂

この平らな地形は、苗場山が火山であることに関係があります。苗場山は、これまで何度かの大きな火山活動により、富士山と同じ成層火山（噴出した溶岩や火山灰が次々に堆積した円錐形の火山）に分類されています。特に今から30～45万年くらい前に起きた噴火では、安山岩質でありながら粘性の小さな溶岩を大量に噴出させ、現在の苗場山よりもはるかに大きな山体をつくりました。大昔の山頂は、現在の山頂と神楽ヶ峰の間にありましたが、侵食によって失われ、現在のゆるやかな山腹が残りました。（9ページ写真参照）

2 頂上なのに湿原があるのはなぜか？

苗場山の山頂には、湿原が広がっています。頂上なのに、この水はどこから来たのでしょうか？



苗場山頂付近の湿原

この湿原は高層湿原と呼ばれています。苗場山の山頂は溶岩でできていて、かつ、平らなため、雪解けの際には、水たまりが多くできました。そこに生えた草は、低温と豊富な水のため枯れた後、完全に腐らない状態で堆積しました。このような土壌を泥炭地と呼び、そこにできた泥炭層が地下水面よりも高く盛り上がっている湿原を高層湿原とよびます。

このように2,000mの標高に、幅2～3km、長さ約4kmで約10km²にわたって広がる高層湿原は、日本では珍しく、たいへん貴重な自然です。

高層湿原がどのようにできたのかな？
苗場山が、なぜ富士山型の形（円錐形）をしていないのかな？



参考文献

湯沢町史編さん室（2003）「湯沢の自然Ⅰ」湯沢町教育委員会
小泉武栄（2007）「自然を読み解く山歩き」JTBパブリッシング

7 湯沢を取り囲む山々

湯沢を取り囲む、雄大な山々は、どのようにしてできたのでしょうか。
また、どのような特徴をもっているのでしょうか。

一般に、大地を作り出すのは、地球を覆っているプレートという薄い層が隆起（盛り上がること）したり、火山活動によるマグマが固まったりして出来上がります。南魚沼の場合、化石の研究から、もともとは海の中で暖かい気候でしたが、海底が隆起して現在のような大地ができました。

谷川連峰の山々の地形は、山腹の斜面が急傾斜をなし、V字谷を形成しています。このような地形は地盤の急速な隆起と激しい侵食作用によって形成されたものです。では、湯沢町を代表する山々を見ていきましょう。

◇苗場山 標高 2,145.3m

湯沢町と津南町および長野県栄村の境界に位置する年代の古い火山です。鈴木牧之の「北越雪譜」には「苗場山は越後第一の高山なり。絶頂に天然の苗田あり、依りて昔より山の名に呼なり」とあります。



苗場山

◇飯士山 標高 1,111.8m

湯沢町と南魚沼市の境界に位置しています。山の形が富士山に似ていること、そして中世に上田荘が営まれたことから「上田富士」と呼ばれ、山頂に食物を司る神様が祭られていることから「飯」の字をとり、「飯士山」としたといわれています。

また、今の岩原スキー場の緩斜面を形成したのは飯士山の火山活動による火砕流によってできたものです。

◇谷川岳 標高 1,977m

新潟県側はなだらかですが、群馬県側は川や積雪による侵食が激しく、急崖を形成しています。このように、山脈の東西で異なる斜面からなることを非対称山稜（さんりょう）といいます。

このような地形ができるのは、冬に上空で強い偏西風が吹くため、稜線の西側斜面では雪が吹き飛ばされて、積雪は少なく、凍結・融解の作用がくり返されて、緩斜面が形成されます。一方、風下の東側斜面では雪は吹き溜まりとなって膨大な量の積雪となり、その雪が雪崩によって崩落し、斜面を激しく削り、急崖となりました。



非対称山稜（谷川岳）

8 湯沢の河川

湯沢町には、東部と西部に魚野川と清津川^{きよつ}という2つの大きな川があります。それぞれ、どのような特徴があるのでしょうか。

◇魚野川 長さ66.7km

魚野川は信濃川の支流の一級河川です。

谷川連峰の北側の斜面に源を発し、六日町盆地を北流し、魚沼市小出で西向きに流路を変えて、長岡市川口で信濃川に注ぎます。

豊富な水量と、上質な水質を持っており、それを利用した稲作や酒造など、魚沼地方の生活に深くかかわっています。

◇清津川 長さ44km

清津川は信濃川の支流の一級河川です。

苗場山を取り囲むようにして流れ、V字谷を形成します。このV字谷の中に清津峡^{きよつ}があります。峡谷では、柱状節理^{ちゅうじょうせつり}が見られることで有名です。

V字に見えるから、「V字谷」と呼ばれるんだね！



清津峡の柱状節理

県内でも有名な柱状節理が見られます。柱状節理とは、火山による岩石が柱上に分布した状態のものです

この2つの河川の河原を調べると様々な岩石を見ることができます。

湯沢町は上流部にあたるので、下流にあたる浦佐方面の岩石と比べると、とても大きいです。

岩石は大きさによって、呼び方が違います。

普段使っている「砂」や「泥」という言葉は、水気を含んでいるというイメージがありませんでしたか？実は、粒の大きさだけがかわっているのです。

また、その岩石をよく見てみると、さまざまな小さな粒からできています。この粒によって、呼び名も変わってくるのです。

魚野川や清津川の岩石は、石英閃緑岩^{せんりょく}や石英はん岩が多く含まれています。



石英閃緑岩

つぶの大きさ	呼び名	
2 mm以上	礫（れき）	
2～0.65mm	砂	
0.65～0.03mm	泥	シルト
0.03mm以下		ねんど

参考文献

湯沢町史編さん室（2003）「湯沢の自然Ⅰ」 湯沢町教育委員会
六日町理科教育センター（1995）「南魚の大地」

9 山頂部が平坦な平標山～仙ノ倉山と険しい谷川岳

たいらっぴょう

平標山～仙ノ倉山は、なぜ山頂が平らで、谷川岳はなぜ険しいのでしょうか。

1 急な登山道を登りきると頂上^{へいたん}が平坦な平標山～仙ノ倉山

南魚沼市の巻機山^{まきはた}～清水峠～仙ノ倉山～平標山～三国峠付近を登山すると、山頂近くになると急に傾斜がゆるくなり、平坦な斜面となっていることに驚くと思います。山頂というと険しいイメージがありますが、そうではありません。山頂付近の平坦地（新潟県側に多くある）は、風と寒さによって造られたものです。それは今から26,000年前～7,300年前の寒冷期、特に最終氷期最寒冷期（18,000年前）にできたといわれています。この寒冷期には、地中の岩が凍ったり解けたりし、岩のすき間に入った水が凍って岩を砕いたりしました。その岩は、やがて地表面に浮き上がり、斜面の下の方に少しずつ移動しました。山頂付近では、このような作用が見られ、その場所が平坦な地形となったわけです。現在でも北西からの強風の吹き付ける場所に裸地^{はだ}ができ、石が特徴的に移動している箇所が部分的に見られます。



平標山付近のゆるやかで平坦な地形

2 新潟県側はなだらかで群馬県側が急な谷川岳周辺

谷川岳などは、新潟県側の頂上付近の斜面がゆるい傾斜であることを上で確認しました。強風と寒さがゆるい斜面を造ったわけですが、その強風は山頂付近の雪を群馬県側に吹き飛ばしてしまい、山頂付近の群馬県側に多量の雪がもたらされます。また山頂付近では、雪^せ庇^びが群馬県側にせり出し、どんどん崩れ落ちていきます。その多量の雪による雪崩^{なだれ}によって一ノ倉沢やマチガ沢などの急崖^{きゅうが}ができたようです。また、最終氷期には、その雪が氷河となり、氷河の移動によって、あのような岩場ができたともいわれています。



朝日岳から見た、谷川岳と一ノ倉沢

谷川岳での遭難者数は、800名近くで、ギネスブックにも認定されているほどで、別名「魔の山」ともいわれています。このものすごい岩場に加えて、天候が急変しやすいこともその一因になっているようです。

谷川岳への登山道がすべて危険なわけではありません。ロープウェーを使って手軽に登れるルートもあるので、日本百名山でもある谷川岳にぜひ登ってみましょう。

10 湯沢の動植物の特徴

山々に囲まれた湯沢の動植物には、どのような特徴があるのでしょうか。



◇県境ならではの特徴

湯沢町は新潟県と群馬県の県境にあります。そのため県境である湯沢町だからこそ見られる植物があります。

例えば、トウゴクミツバツツジ、ヤブレガサ、テキリスゲなどです。

これらは、群馬県に見られる植物が新潟県に入ってきたものになります。湯沢ではこのように、他県から入ってきた植物が見られるのです。



トウゴクミツバツツジ



ヤブレガサ



テキリスゲ

◇山による違い

苗場山と谷川岳における植物には違いがあります。

谷川岳の高山植物を調べると、苗場山には生育していないミヤマハイバクシン、ミヤマキンポウゲ、ミヤマウイキョウ、ヨツバシオガマ、ミヤマキンバイ、ウラシマツツジ、ミヤマクルマバナ、オゼソウなどが分布しています。

同じ2,000m級の山なのに、なぜこのような違いがあるのでしょうか。

実は、まだ詳しいことはわかっていません。この理由を明らかにするためには、生育している植物や動物などをもっと詳しく調べる必要があります。



ミヤマウイキョウ

◇県内でも湯沢町でしか見られない植物

新潟県の多くでは、裸子植物（針葉樹）があまり生育していませんが、湯沢町ではオオシラビソを中心とする針葉樹林が見られ、県内でも有数の貴重な地域です。特に、県内で湯沢町にのみ分布する裸子植物は、ウロジロモミ・シラビソ・トウヒ・チョウセンゴヨウの4種となります。

これらは苗場山や三国山で見られるので、登山で登った際には確認してみましょう。



チョウセンゴヨウ

湯沢は雪深い土地です。動物たちにとって、雪国の冬を乗り切ることは大変なことなのです。そのために、動物たちはさまざまな工夫を凝らしています。

◇冬眠

哺乳類は、恒温動物^{こうおん}といって体温を一定に保ち、年中活動することができます。ただし、活動するためには、食事をしてエネルギーを確保しなければなりません。

そこで、コウモリやクマなどは、活動をせずに冬眠し、冬を乗り切るのです。これらの動物は冬眠中、時々目覚めては餌をとりに行ったり、排便をしたりしています。環境が悪くなると場所を移動します。

また、冬眠前には、食いだめをして脂肪を蓄積し備えます。



冬眠中のリス

◇保護色

ウサギやイタチ、オコジョなどの動物は、冬になると毛の色が白く変わります。これは「保護色」といって、雪の色に紛れることによって天敵から身を守ったり、餌となる小動物に気付かれずに近付いたり、冬に活動するからこそその工夫であるといえます。

湯沢町には多くの動物が生息しています。ここでは、湯沢で見られる動物をいくつか紹介します。

◇ノウサギ

雪国にすむノウサギは、冬になると耳の先端の黒い部分を残して、全身白色の毛に変わります。

これは、雪に紛れるためで、このような特徴を「保護色」といいます。この保護色によって天敵から身を守っているのです。

色が白く変わる個体を「白色型」、冬でも変化しない個体を「褐色型」といいます。湯沢町では多くが白色型ですが、浅貝地区では、半数近くが褐色型で占められています。



ノウサギ

◇ニホンザル

ニホンザルは、もともとは暖かい地域（熱帯地域）で生息する動物なのですが、近年では、その数が増えており、日本全国で比較的多く見られるようになっていきます。

湯沢町でも、もともとは三国・三俣地区でまれに見られる程度でしたが、近年では、土樽地区まで降りてきており、農家や人家周辺にも出没しています。

ニホンザルが人に慣れ、襲ってくることもあります。餌をあげたり、むやみに挑発したりすることがないようにしましょう。



ニホンザル

参考文献

湯沢町史編さん室（2004）「湯沢の自然Ⅱ ー動物ー」湯沢町教育委員会
湯沢町史編さん室（2005）「湯沢の自然Ⅲ ー植物ー」湯沢町教育委員会

11 湯沢でしか作れない昆虫標本

湯沢には、どのような昆虫が生息しているのでしょうか。



◇湯沢に生息する昆虫

湯沢町には新潟県では数少なくなったブナの原生林や、日本海側では見られないオオシラビソの林があります。このような人の手が加わっていない自然が残されていることと、標高が高いことから湯沢の昆虫は種類が多いことが特徴です。



オオシラビソの林

トンボ…湯沢町では水田が少ないことから、平地で生息するトンボを見つけるのは難しいです。しかし、川があるため、流水中で幼虫時代を過ごすトンボは豊富です。たとえば、キイトトンボ・ムカシトンボ・サナエトンボなどです。



ムカシトンボ

チョウ…古くから親しまれてきた採集地として、三国峠や苗場山があります。湯沢町では117種のチョウが知られ、新潟県では種類の多さは第2位です。

甲虫類…カブトムシなどの甲虫については、これまで湯沢町では大掛かりな調査はされていませんでしたが、貴重なブナ林でみられる甲虫類は、新潟県の昆虫を研究する上で貴重な採取地となっています。

◇貴重な昆虫

新潟県で、未だ1, 2匹しか見つかっていない種類の昆虫が、湯沢で見られました。もし、下の写真にある昆虫を見つけたら、すごい発見となります。探してみましょう。



シンジュキノカワガ



カバシャク



フトモンコスカシバ

◇昆虫採集の仕方

集める昆虫によって異なるので、その昆虫を傷つけない方法を選びましょう。

①虫取り網で捕まえる



チョウ・トンボなど

②樹液に集める



カブトムシ・クワガタなど

③光を当てて集める



コガネムシなど

◇標本の作製 ～昆虫の形を美しい状態で保つための工夫～

チョウ・ハチ…上翅^{じょうし}の下縁が体と水平になるように整形し、展翅板^{てんしばん}に固定して乾燥させます。

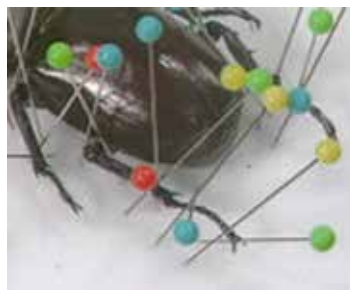
トンボ……………腹部をまっすぐにして、三角紙に戻し、急速に乾燥させます。

バッタ……………内臓を取り出し、整形して乾燥させます。

甲虫類……………脱脂綿の上で形を整え、乾燥させる。その後、虫ピンやボンドで固定します。

セミ……………足を整形してから乾燥させます。

※標本には、採集場所・採集年月日・採集者を明記した採集ラベルを付けましょう。



◇標本の保存 ～見やすく、腐らないようにするために～

①止め針を抜く……………慎重に針を抜きましょう。成功していればきれいな形が保てます。

②データラベルを取り付ける…いつ、どこで採集したかは重要なデータです。

③標本箱に入れる……………見やすくレイアウトしましょう。防腐剤も忘れずに。



完成!!
皆さんも夏休みに
作ってみよう!



参考文献

湯沢町史編さん室 (2004) 「湯沢の自然Ⅱ－動物－」 湯沢町教育委員会
六日町理科教育センター (2001) 「南魚沼のフェアブル昆虫少年物語」

12 豪雪地、湯沢の雪

豪雪地、湯沢の雪の結晶と雪の降るしくみを調べてみましょう。



◇「雪」とは

地上でできた空気のかたまりが上空で冷えて、水滴となり雨となります。このとき温度が0℃以下になると、雨が凍って固体となったのが雪です。初めは小さな氷の粒だった雪も、だんだんくっついてさまざまな形の雪の結晶を作っていきます。

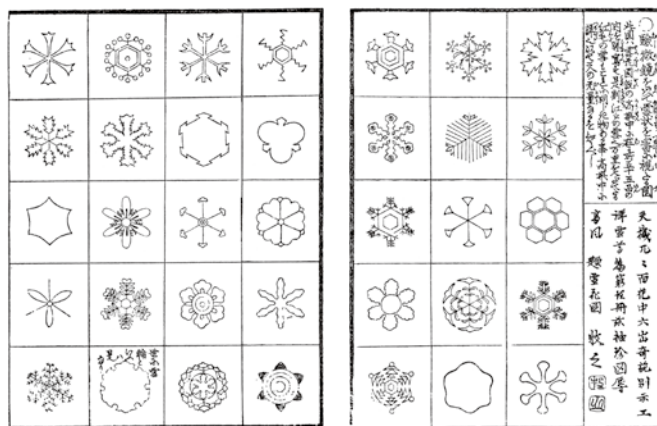
◇雪の結晶を見てみよう

結晶の形は、上空の温度と水蒸気量によって決まります。よく観察してみると、いろいろな形があります。

皆さんは、どのくらいの種類の形を見たことがありますか？



さまざまな形の雪の結晶



「北越雪譜」より



☆雪の結晶をスケッチしてみましょう。

<準備するもの>

黒い布・虫眼鏡（顕微鏡・スライドガラス）

<観察方法>

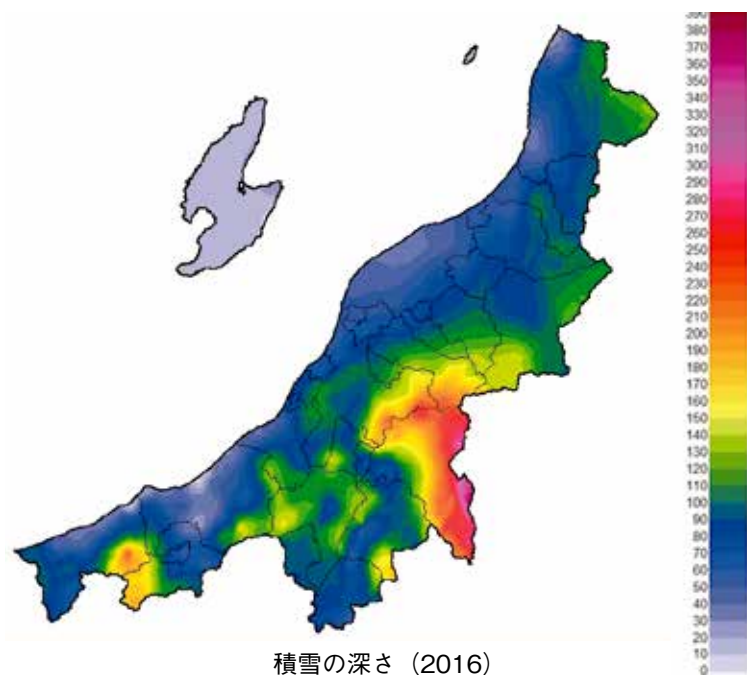
①黒い布を外に出しておき、雪をその上にのせ、うすく広げる。

②虫眼鏡を用いて、観察する。

※観察に用いる道具は外に出して冷やしておきましょう。

※雪に息がかかって溶けないように注意しましょう。

これは、新潟県の積雪の深さを色で分けたものです。



積雪の深さ (2016)

内陸側の方が多く雪が降っているね。なぜだろう？

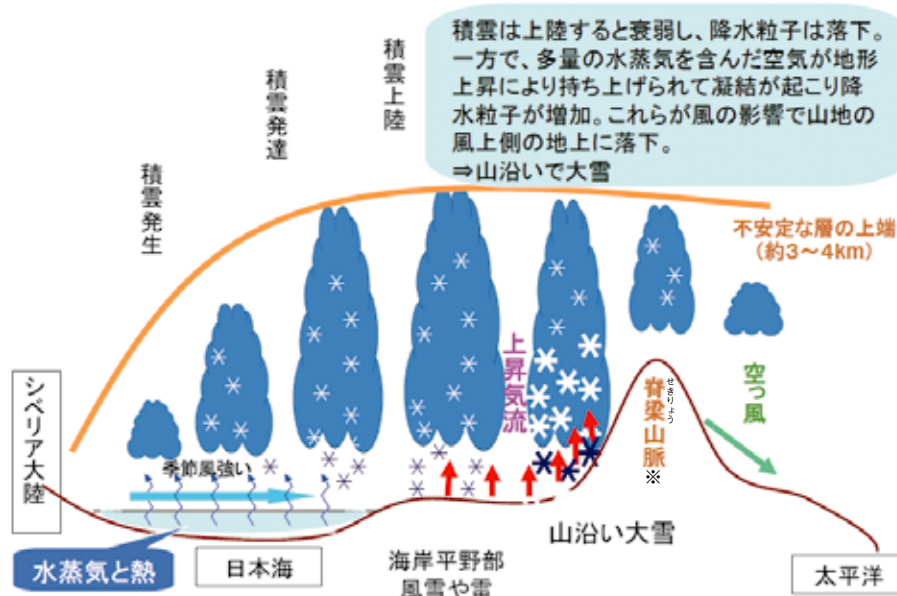


冬は、大陸からシベリア寒気団が南下します。このシベリア寒気団は冷たい空気の塊で、日本海から蒸発する水蒸気をもらいながら太

平洋に向かっていきます。この水蒸気から雲ができ雪雲に発達し、それが山にぶつかって上空に押し上げられて、冷えて凍って雪になります。

湯沢町の場合、雪雲が谷川連峰にぶつかり上昇気流が発生するため、豪雪となります。

雪の降るしくみ(モデル図)



※ある地域の背骨に相当するような大山脈

参考文献

新潟大学 災害・復興科学研究所複合・連動災害研究部門より抜粋
宮栄治・井上慶隆・高橋実 (1970)「校註 北越雪譜」野島出版

13 湯沢の縄文人の生活 雪国の狩人と火焰型土器

湯沢の縄文人はどんな生活をしていたのでしょうか。



今から約一万二千年前から約二千四百年前を縄文時代といいます。縄文土器や土偶などが教科書に載っていますね。この湯沢町にも当時の遺跡がいくつか残っています。そこから当時の人々の暮らしを考えてみましょう。

1 獲物をどのようにして捕まえたのか

縄文時代の人々は、食べ物をどのように調達したのでしょうか。縄文時代は米作りや畑で作物を栽培する文化がまだありませんでした。食料はすべて、大自然の中で調達しました。秋になると木の実（くり、とち、どんぐり）を集めて保存し、川に行ったら魚を捕ってきました。野山の野草で食べられるものを集め、山に行ったら狩りを行っていました。狩りの道具として、弓矢がありました。石を削ってヤジリを作り、それを矢の先に付けて獲物を狙いました。獲物をいつも簡単に捕まえることができたのでしょうか。

岩原スキー場で見付かった岩原Ⅰ遺跡（一万年～六千年前）からは、2m近い深さの穴が、スキー場を斜めに横断するように連続して見付かりました。この穴は、獲物を追って、捕まえるための落とし穴であったようです。湯沢の縄文人は、このような

知恵がありました。鹿笛というものがあります。鹿のメスの鳴き声とそっくりの音がする笛です。これは遺跡からは見付かっていませんが、この笛を使用して鹿のオスなどをおびき寄せたのかもしれません。（新潟県立歴史博物館に鹿笛及び音色の展示と、岩原Ⅰ遺跡を参考にした落とし穴の遺構の展示があります。）

岩原Ⅰ遺跡からは、けものの顔のついた土器の把手が見付かっています。このけものは、イノシシと考えられています。当時の人たちとイノシシがどのような関係であったのかを考えてみるとおもしろいと思います。



岩原Ⅰ遺跡の場所



岩原Ⅰ遺跡の落とし穴の跡

2 川久保遺跡 火焰型土器の出土

火焰型土器は、炎をイメージしているような独特の形をした土器です。この土器は、新潟県の信濃川流域を中心に、ほぼ新潟県内からの出土がほとんどです（新潟県と隣接する県の新潟県境周辺からしか出土しない）。十日町市笹山遺跡から出土した火焰型土器は、国宝に指定されています。この土器が川久保遺跡からも出土しました。使用されていたのは縄文時代中期（約5千年前）に限られています。

県内から出土している火焰型土器には、すすやおこげ、吹きこぼれの跡が見られます。日常的に使用していたというよりは、お祭りの際の煮炊き用に使われていたようです。

川久保遺跡は、湯沢町役場と国道17号の間にあります。約五千五百年前から約四千五百年前の縄文時代の村であったことがわかっています。

川久保の縄文人はどんな生活をしていたのでしょうか。

川久保遺跡では、全国でも最古級の縄文次代中期の敷石住居が発見されました。

敷石住居跡は65cm×45cmの複式炉を囲むように、1～2mの幅で大小さまざまな石が、幅12mにわたって敷き詰められています。この石が敷き詰められた住居跡は、普通の住居跡と考える説と、お祈りやお祭りのための施設と考える説に分かれています。

このページの地図は、国土院院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び2万5千分の1地形図を複製したものである。（承認番号平25情複、第718号）



川久保遺跡の場所



川久保遺跡の火焰型土器
(写真提供：新潟県埋蔵文化財調査事業団)



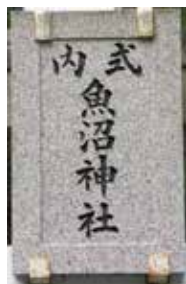
敷石住居跡
(写真提供：新潟県埋蔵文化財調査事業団)

参考文献

湯沢町史編さん室（2005）「湯沢町史 通史編上巻」湯沢町教育委員会
財新潟県埋蔵文化財調査事業団（2000）「新潟の遺跡」新潟日報事業社
新潟県立歴史博物館（2009）「火焰土器の国」新潟日報事業社

14 式内魚沼神社

県内に「式内魚沼神社」と名乗っている所が二社あります。
その二社を調べてみましょう。



湯沢の魚沼神社



式内社とは、延喜式という法典に基づいて、当時の国家が祭った神社のことで、たいへん権威あるものとされています。

湯沢町の魚沼神社（＊2、3の中には言い伝えのものがああります。）

- 所在地 字宮林487番地
- 祭神 天児屋根命（春日大神）、中筒男命（住吉大神）、
菅田別命（八幡大神）、倉稻魂命（稻荷大神）の合祀（明治43年）
- 社殿 天平神護年間（756～766）創立、小石祠所在地、魚野川畔大椿の大樹。
延暦元年（782） 木造葺葺、所在地 宮垣外
応永三十三年（1426） 炎上
応永三十四年（1427） 所在宮林（遷宮）
天正六年（1578） 樋口伊予守本殿造営（現在の本殿）
明治七年（1770） 現在の拝殿、幣殿
昭和四十七年（1973） 屋根鉄板葺に改造

沿革 言い伝えでは、天平神護の頃（756～）現在の石白の宮垣外（ミヤガイト）の大地に大椿あり、里人神木と唱える。神託（神のおつげ）と称して、その樹下に住吉三神を祀り、崇敬益々盛んになり神力の加護を受け、氏神とし崇敬する。

＊古くは神立三社大明神と呼ばれていました。三社とは、住吉・春日・八幡の三社です。

江戸時代に、小千谷の魚沼神社が、条件付きで式内社の認可を得ていましたが（下記参照）、明治になると、小千谷との論争が激しくなり、新潟県の調査も入りました。岡村貢、その後、立柄教俊の依頼を受けて調査した東京帝国大学の山崎藤吉が神立の魚沼神社が式内社であることを主張しました。

魚沼神社（小千谷市土川）

当社は、安永九年、京都吉田家に対し、「万一、当社以上の有力な式社の証拠をもった社が出た場合は、魚沼神社の社号取り消しに関して、なんら異存は無い」という一文を以って、魚沼神社と名乗る事の許可を得た（小千谷市史より）。

参考文献

岸野長雄（1992）「ふるさと探訪記録 湯沢町の古跡を巡る」湯沢町公民館
湯沢町史編さん室（2005）「湯沢町史 通史編 下巻」湯沢町教育委員会

15 戸内山の土砂崩れと石白の由来

とないやま
戸内山が崩れた原因を予想してみましょう。



戸内山の土砂崩れ

戸内山は、南魚沼市との境界、ガーラ湯沢スキー場と石打丸山スキー場の間にあります。戸内山の中腹には、塩沢のジャンプ台やハツカ石スキー場、麓には赤坂や堀切集落があります。1176年、戸内山は、突然崩れ落ちました。それまでは塩沢の石打から湯沢までは、細長い谷となっていて、赤坂はありませんでした。戸内山が崩れたとき、大規模な土砂が



戸内山とハツカ石スキー場

押し出され、その時ハツカ石スキー場の斜面と赤坂ができあがりました。土砂は魚野川をせき止め、上流まで大きな湖となりました。湖は現在の神立付近まで達しました。水は数日後、せき止めた土砂の上からあふれ出し、土砂のダムをこわし激流となって流れ下り、下流は大洪水となりました。その時流れ出た土砂の山を旧上関小学校近くの魚野川周辺に見ることができます。

水が引いてきた時に、秋葉山の麓^{ふもと}付近の水面が白く輝いていたと伝えられています。その白いものは大きな石で、後年、この地を石白と呼ぶようになり、泉福寺^{せんぶくじ}という大きなお寺が建てられました。昭和46年、この泉福寺跡付近で大量の古銭が発見されました。そのことは、31ページで学習します。

戸内山の土砂崩れの原因を探る

さて、この戸内山の崩壊の原因は何だったと考えますか。実のところ、原因は、よくわかっていません。ある本には、大雨の後に崩れたという記述も見られますが、確かな証拠^{しやうこ}はありません。

どんな時に土砂崩れが起きやすいか、考えてみましょう。第一に、大雨の際に水分が大量に地中へしみ込むと、土砂崩れが起きやすいです。第二に、春になり、雪解け時にも、水分が大量に地中へしみ込むため、土砂崩れが起きやすいです。特に融雪時に大雨が降ると大規模な土砂災害が起こる可能性が高いです。そして、第三に、大地震の際に山が崩れたり、地すべりが起きたりします。中越地震の際には、多くの山が崩れ、ところにより川をせき止めました。江戸時代の1847年に善光寺地震が起り、長野県の犀川^{さい}（信濃川上流）付近の山が崩れて、大きな湖を出現させ、地震から20日

後に、犀川を埋めた土砂ダムが決壊し、下流に大きな被害をもたらしました。戸内山も同様な理由で起こったのかもしれませんが。ちなみに、戸内山周辺には、六日町断層(六日町盆地西縁断層)があります。下の地図でどこにあるのかたどってみましょう。

戸内山はどのあたりでしょうか？



湯沢に湖ができたの？

大洪水になったみたいだけど、被害はなかったのかな？

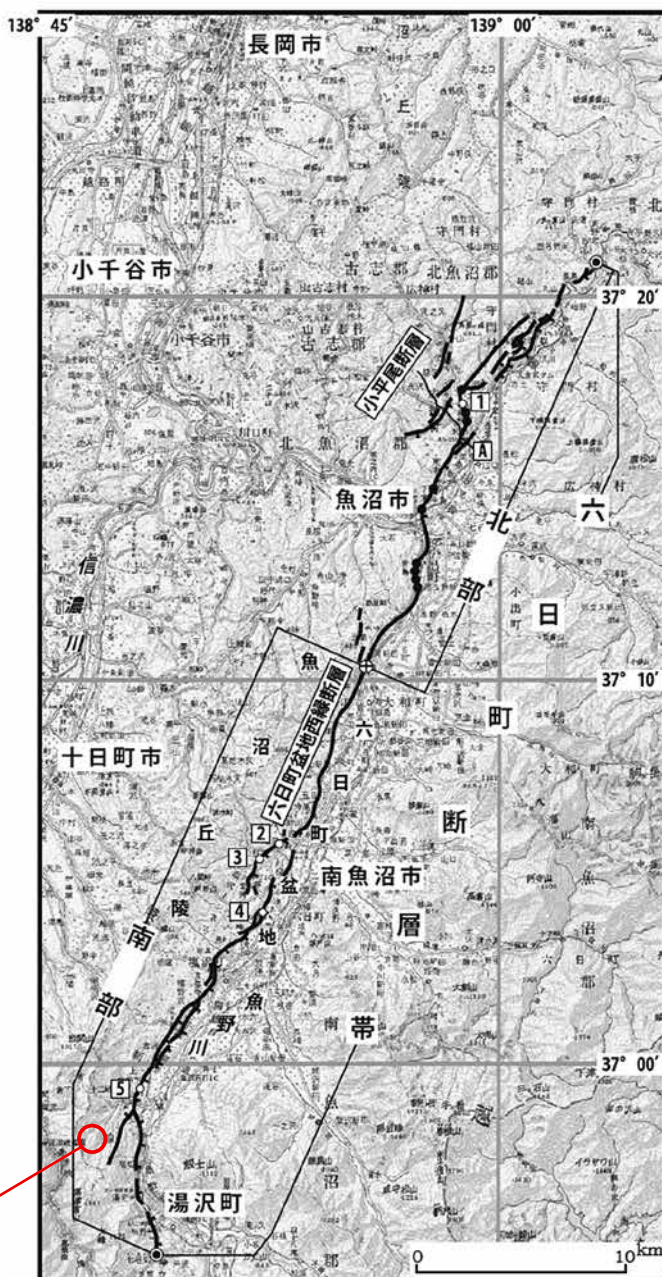


堀切から布場、七谷切まで断層が続いているぞ!!



大峰山には何か所か崩れたところがあるから、これから気を付けなくては!!

戸内山



地震調査研究推進本部地震調査委員会 (2009)
「六日町断層帯の長期評価について」より

参考文献

岸野長雄 (1992) 「ふるさと探訪記録 湯沢町の古跡を巡る」 湯沢町公民館
湯沢町史編さん室 (2003) 「湯沢の自然 I - 地形・地質・気象 -」 湯沢町教育委員会

16 石白古銭の不思議

なぜ、大量の古銭が湯沢にあったのでしょうか。



1971（昭和46）年10月1日、湯沢町字石白1856番地（湯沢と神立の境）で、都市計画道路工事中に、地下約1mのあたりから古銭が発見されました。古銭はばらばらの状態で、銅が錆びた時に見られる緑がかった青色をしており、かなり古ぼけた木箱に入っていました。

それから3年後の1974（昭和49）年5月24日、前回発見された場所から5mほど離れたところで、また古銭が見つかりました。その時の古銭は、やはり緑みの青色をしていて、錆びてはいてもきちんと木箱に入っていました。

それらをよく洗って調べてみると、次のようなことがわかりました。

○ 第1回目に発見された古銭：169,872枚

○ 第2回目に発見された古銭：101,912枚

発見された古銭は合わせて271,784枚もありました。こんなにたくさん発見されたのは、全国でも珍しいそうです。

古銭を分類してみると、ほとんどが中国から運ばれてきたものでした。唐（612年）の開元通宝や、明（1411年）の永楽通宝、朝鮮の李朝（1423年）の朝鮮通宝のものまで、全部で82種類ありました。

不思議 その1

誰が集めたのか。

不思議 その2

何のために集めたのか。

不思議 その3

なぜ、土の中に埋めたのか。

不思議 その4

石白石（29ページ参照）との関係はあるのか。



石白古銭

これらのことは、いろいろな古文書や資料で調査したのに、現在でもよくわかっていません。

ただ、発見場所が室町時代に創建し、御館の乱で廃絶したとされる泉福寺跡地域にあるため、泉福寺と関係があったことは、ほぼ間違いがないことがわかっています。

17 越後の玄関口の砦^{とりで}

湯沢の中世（室町時代）の城の役割を考えましょう。



中世の山城^{あらと}荒戸城

1578（天正6）年の3月、上杉謙信^{けんしん}が急死した後、上田の長尾家出身の養子景勝^{かげかつ}と小田原の北条家からの養子景虎^{かげとら}との間で、上杉家の家督相続争い（御館の乱）^{おたてらん}が起きました。その時景勝は小田原勢を防ぐため深沢利重、富里三郎左衛門に命じて急きょ荒戸城を築かせました。この時の古文書に「天正6年6月27日付、両者談合して荒戸の山中^{さんちゅう}辺りに新塞^{しんさい}を築き、地下人^{じげにん}を集めて防戦するように」という記録があります。



荒戸城^{からぼり}の空堀

荒戸城は芝原峠の頂上付近から関東方面に向かい、左側約130mほどの尾根にあります。城の規模は1辺が約100mの正三角形の中に実城（本丸）、二ノ曲輪、三ノ曲輪などの曲輪があるもので、大きなものとはいえません。

この城は、城主がいる居城ではなく、越後の守りのため急いで築いた城で、とりでといってもよいといわれています。新潟県の築城史上、この城は年代が確かで、他に例がないといわれており、鉄砲の発達とともに戦闘の近代化に備えた新しい工法が用いられている点が注目されています。

1971（昭和46）年湯沢町文化財、1976（昭和51）年新潟県文化財に指定されています。

神立城跡

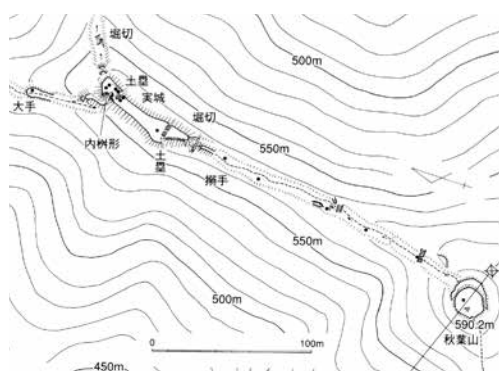
別名石臼城ともいわれています。

城の始まりははっきりしませんが、中世期（1200年代～1570年ごろ）に、この石臼郷を開発した土豪の拠点として存在し、その後は、絶好の物見台、のろし台として、戦国末期（1570年代）まで使われたと推定されています。

標高590mの秋葉山の頂上を中心に東西に80m、南北に10mの細長い丘陵^{きゅうりょう}の尾根にその跡を残しています。頂上には秋葉権現^{あきはぐんげん}が祀られています。

頂上の郭は細長く、土塁とがけで3段に区画され、両側は急斜面になっており、西からの尾根と、南北の延びる尾根^{からごう}に空壕を掘った簡単な構造の城でした。

城跡からの展望がすばらしく、遠く塩沢方面や、関東に通じる三国街道が手にとるように見えます。



参考文献

岸野長雄（1992）「ふるさと探訪記録 湯沢町の古跡を巡る」湯沢町公民館
湯沢町史編さん室（2004）「湯沢町史 資料編 上巻」湯沢町教育委員会

18 上杉謙信の「越山」と樋口主水助

上杉謙信と湯沢の関係は？樋口主水助はどんな人物だったのでしょうか。



(1) 上杉謙信の略歴

上杉謙信は、戦国時代を代表する有名な武士です。

上杉謙信 (1530～1578)

- 1530 (享禄3) 年 越後守護代 (越後を統治する守護の下で働く役職) である
なが おためかげ 長尾為景の4男として、春日山城 (上越市) に生まれる。
- 1553年～1564年 「川中島の戦い」: 計5回に及んだとされる武田信玄との戦い。
- 1561 (永禄4) 年 上杉憲政から上杉の家督を譲られ、室町幕府重職関東管領
(幕府を補佐する役職) に任命される。
- 1578 (天正6) 年 遠征の準備中、春日山城で死去。

☆主な功績☆

- 内乱続きの越後国を統一し、産業を振興して国を繁栄させた。
- 武田信玄、北条氏康、織田信長など、日本を代表する武将らと合戦を繰り広げた。
- 室町幕府足利将軍からの要請を受けて、越中国 (富山県) 能登国 (石川県北部) 加賀国 (石川県南部) へと勢力を広げた。

(2) 上杉謙信の「越山」

①「越山」とは

当時、関東地方に勢力を伸ばしていた相模国 (神奈川県) の北条氏を討伐して、関東地方の秩序を回復するために三国峠を越えて関東に出兵することになりました。これを「越山」といいます。1560 (永禄3) 年以来、1574 (天正2) 年まで、ほぼ毎年行われていました。主に秋・冬に出兵し関東で年を越し、春には帰国していました。

魚沼郡南部 (湯沢も含む) は、越山の前進基地となりました。人々は武士や宿場として働くだけでなく、坂戸城 (六日町) の補強工事や道路工事等でも働いていました。

みんなで考えよう！

○上杉謙信は、なぜ、寒い季節の冬・秋に越山したのでしょうか。

ポイント：秋・冬は、農閑期 (農作業をしない時期) と呼ばれ、人々が仕事をしない時期でした。

○上杉謙信は、なぜ、険しい山道の三国峠を越えて越山したのでしょうか。(現在の長野県を歩いていけば、もっと楽に関東に行けたかもしれません。)

ポイント：当時の信濃国 (現在の長野県) は、謙信のライバルであった甲斐の武田信玄の領土でした。当時の上野国 (現在の群馬県) には、有力な武士が存在していませんでした。

②上杉謙信の「越山」と湯沢



上杉謙信手植えの松跡（小坂）

謙信手植えの松

上杉謙信が谷後を越える時に道しるべの一つとして植えていった松です。谷後を通る道は、越後より関東方面への軍事及び通商道路として利用され、三国峠を越える三国街道、清水峠を越える清水越えと共に栄えました。樹齢400年の松でしたが、1959(昭和34)年の伊勢湾台風の際、折れてしまいました。現在は3代目の松が植えられています。



三福庵跡（三俣）

三福庵跡

戦国時代、上杉謙信が関東への往復の途中（越山）で休泊するたびに本陣として当てられた寺。その後、戦火で焼失し、礎石を残すのみになりました。江戸時代には「三福寺」として再建され、三俣の人々の信仰の中心になりましたが、明治時代に廃寺となりました。

（3）御館の乱で戦死した樋口主水助

①樋口主水助とは

湯沢小学校旧校舎の裏側にある主水公園の名前の由来となった樋口主水助は、上田長尾氏（南魚沼市にある上田城に本拠を置いた武士）の命令を受けて、大宇湯沢に館をかまえて、湯沢の地を治めました。

②御館の乱と湯沢

1578（天正6）年の上杉謙信の死後、後継者争いで、謙信の養子である上杉景勝と上杉景虎との間で起こった越後の内乱を「御館の乱」といいます。御館の乱が起きた当時の湯沢では、上杉景勝が景虎側についた北条軍から坂戸城（六日町）を守るために、湯沢の芝原峠に荒戸城を築き、攻撃に備えました。そこで、樋口主水助が活躍したといわれています。しかし、北条軍の猛攻により荒戸城は落城し、湯沢一帯は北条氏の支配地となりました。その後、上杉景勝側が一度は奪還しましたが、北条氏の猿ヶ京衆（群馬県）の攻撃で再度攻め落とされてしまいました。この戦いで、湯沢の地を治めていた樋口主水助が戦死したといわれています。

御館の乱は、景勝側が勝利し、その後の越後を治めることになりました。

その後、三国峠に織田信長軍がさまってきたましたが、本能寺の変で信長が殺されたため、織田軍は引き上げていきました。



主水公園 湯沢小学校旧校舎裏側にある公園



荒戸城跡 芝原峠にある城跡

19 三国街道と宿場（浅貝～湯沢宿まで）

三国街道にはどのような宿場があったのでしょうか。



三国街道は、江戸と越後を結ぶ江戸時代の幹線道路で、諸大名の参勤交代をはじめ、人馬や物資の往来が盛んでした。そのため、街道沿いに多くの宿場がありました。

三国三宿 浅貝宿

浅貝宿は、越後湯沢駅から三国峠に向かい22kmほど入った山間にある旧宿場です。入口付近の寄居には、上杉謙信が三国越えの宿所として利用したといわれる館跡もあって、昔から国境の宿場として重要視されてきました。

標高900mの高冷地にあるため、水田がなく、三国街道を往来する旅人の宿泊や荷物の輸送により豊かに暮らしていました。宿場が最盛期となった江戸時代には、本陣、脇本陣、問屋など60数軒が街道をはさんで立ち並んでいたといわれます。

しかし、明治時代初めの戊辰戦争で、敗戦を覚悟した会津藩士が、新政府軍に使われるのを嫌ってすべての家屋を焼き払ってしまいました。

二居宿

二居宿は、標高1,040mの二居峠のふもとにあります。

浅貝宿と同じように、戊辰戦争の際に敗走する会津軍により1軒残らず焼かれてしまいましたが、郡内の村々から援助を受けて宿場は復旧しました。

宿場の東側中ほどにある本陣兼問屋の富沢家も、1869（明治2）年に焼失前そのままの姿で再建されました。家の間取りから、江戸時代の本陣の様子がうかがえます。

三国権現

三国峠の頂上に三坂神社があります。791年ごろ、征夷大將軍 坂上田村麻呂が、万座に祭った三社（越後の弥彦明神、信州の諏訪明神、上州の赤城明神）を三国峠に移したのが起源といわれています。

のちに、上杉謙信が関東平定のためにしばしば通るようになってから三国権現と呼ぶようになりました。謙信は、ここを通るたびに三国権現に戦勝を祈り、部下の将兵の士気を高めたそうです。



二居本陣富沢家

三俣宿

三俣宿は三国三宿の中で最も北に位置し、旧三国街道をはさんで両側に家々が立ち並んでいます。参勤交代の大名や佐渡・新潟へ赴任する奉行らが宿泊するので、接客業に従事する人口も多かったようです。

明治維新の戊辰戦争では、会津藩が逃走を急いだため焼かれずに済みました。しかし、老朽化によって、ほとんどの建物が建て替えられ、現在では脇本陣池田家が当時の姿を残しており、三井越後屋からのれん分けをしてもらい名前をもらった越後屋も残っています。



脇本陣 池田家

江戸時代、三俣宿を通る諸大名、奉行、代官等の宿所です。

柱が太く、天井の高いしっかりとしたつくりで、水墨の襖絵、透かし彫りの欄間、釘かくしなどに風格がうかがわれます。

昭和29年に新潟県文化財に指定されました。

三国三宿は、どの宿場も江戸時代後半からの輸送手段の変化、上越線の開業による影響を大きく受け、衰退の一途をたどりました。しかし、三国トンネルの開通を機に、地域を活性化しようとの機運が高まり、スキー観光を中心に再びにぎわいを見せることとなりました。

湯沢宿

三国街道の宿場として発達した湯沢宿は、下宿と上宿の二宿に分かれていました。下宿はおよそ湯沢小学校旧校舎から北の方面、上宿はおよそ湯沢小学校旧校舎から南の方面です。いずれも街道沿いに宅地が整然と並んでおり、その裏には、水田が広がっています。

江戸時代から明治時代の初めは、農業にたずさわるかたわら、旅館を経営する家が多くありましたが、旅館の数は年々減っていきましました。



昭和初期の湯沢宿



文政9年5月街道図(三国街道～湯沢宿) 老舗東照蔵

参考文献

- 桑原 孝 (1966)「三国の歴史」
- 湯沢町史編さん室 (2003)「雪の越後ー山里湯沢・三国越えー」
- 新潟日報事業社出版部 (1983)「図解にいがた歴史散歩 〈南魚沼〉」



三国地区



三俣地区



神立地区



土樽地区



湯沢地区

20 三国街道を歩く～実際のルート毎の見どころ～



赤坂付近



赤坂付近



堀切の馬頭観音
（ほりきり ばとうかんのん）



下宿の碑
（下湯沢公民館）



上越線三国街道踏切（一之町）

三国街道を実際に
歩いてみましょう。



七谷切
（ななたぎり）



七谷切



荒戸城跡



八木沢口留番所跡



伊米神社（三俣）
（いめ）



脇本陣池田家（三俣）



かいかけ
貝掛付近



二居峠登口（二居側）



しょうめんこんごう
青面金剛（二居）



本陣富沢家（二居）



浅貝付近

—— 三国街道
—— 国道17号



三国峠付近



三国峠三坂神社



三国峠を越えた人々の石碑（三国峠）



だいはんにかやつか
大般若塚

21 三国峠の戦い～戊辰戦争（1868年）～

どうして三国峠で戦いが起こったのでしょうか。
また三国や南魚沼地域にどんな影響があったのでしょうか。



当時の新潟県は、長岡藩、会津藩など明治新政府に抵抗する藩（旧幕府軍）の勢力下にありました。三国峠付近も同様でした。新政府軍が長岡藩などをこらしめるために、江戸から進んでいく道は限られていて、三国峠はその一つでした。会津藩は、政府軍を一步も踏み入れさせない意地があり、せまい三国峠なら進んでくる敵を迎え撃ちやすいと考えました。三国峠で戦いが起きてしまったのは当然かも知れません。

三国峠の戦い	新政府軍	抵抗する旧幕府軍
リーダー	豊永貫一郎、原保太郎	町野源之助、町野久吉、池上武助
軍の編制、兵の人数	沼田、高崎、吉井、伊勢崎、安中、七日市、小幡などの藩兵1,500人	会津藩兵50、塩沢組・六日町組から集められ、武器を持たされた郷兵200～300人
大きな戦略	攻めて三国峠を越えて進む	守って追い返す
戦いの実際、細かい戦術、装備	大雨についての早朝奇襲。圧倒的な火力で制圧。農民を含む敵兵の戦意を失わせ、大般若塚から浅貝、二居に敗走させる。	大般若塚の四方に土塁をめぐらせた陣場を築く。その前に五寸くぎを打ち抜いた物を敷き並べ、砂をかけておく。大砲2門、小銃20挺と刀、槍

戦いのために塩沢、六日町の人々が集められました。また、会津藩が戦いの準備で土塁の中の小屋をつくる時には、浅貝の人々が手伝いました。戦いに負け、大般若塚から逃げてきた会津兵は、集落が新政府軍に使われるのを防ぐために、浅貝、二居の家々を焼き払いました。言い伝えでは、「会津藩が勢いを盛り返してまたやってくる時には、もっとよい家を建ててやる」と火をつけて回ったとのこと。戦いに敗れた会津藩の援助は当然来ませんでした。浅貝、二居の先祖たちはこの苦しみを乗り越え、自力で立て直し、今の基礎を築いたのでした。

町野久吉は、
壮絶な死に方を
したそうです。



22 上越線全通前後の湯沢

上越線の全通によって、湯沢はどのように発展したのでしょうか。



湯沢温泉とスキーの始まり

湯沢温泉は、高田藩^{はん}の時代（1624～81）に営業を許された温泉の一つで、中世末に既に湯ノ沢についての記述が見られます。

1911（明治44）年、オーストリアの軍人レルヒが、我が国で初めて、高田師団^{しだん}の青年将校^{しょうこう}たちにスキーの指導を行いました。2年後の1913（大正2）年に湯沢ヘスキーが伝わりました。当時は地元の大工にスキーを作ってもらいました。大正4年には、湯沢スキー場が開かれ、翌5年には布場スキー場が、大正12年には岩原スキー場が開設されました。

小学校へのスキーの普及は大正11年前後からで、1922（大正11）年に、湯沢小学校へ、地元の大工がこしらえたスキー50台が備え付けられました。その後、各村毎に小学校用のスキーを購入して普及に乗り出しました。当時のスキーウェアは農作業用の山袴^{さんばく}で、雪が降れば、びしょぬれでした。

明治44年	レルヒが高田師団でスキー講習
大正2年	湯沢ヘスキーが伝わる
大正4年	湯沢スキー場開設
大正5年	布場スキー場開設、偉スキー猛団設立
大正11年	湯沢小学校ヘスキー50台備え付け（地元大工製）、その後各小学校でスキーを購入
大正12年	岩原スキー場開設
大正14年	諏訪神社裏で温泉の開削
昭和5年	苗場山頂に遊仙閣（山小屋）建設
昭和6年	上越線全通、中里スキー場開設、苗場に慈恵医大の山小屋建設（後の和田小屋）
昭和7年	西山に2つの温泉井を開削する 熊野でも温泉井を開削する
昭和9年	川端康成が来訪（以後5回来訪）
昭和12年	西山線（道路）建設、温泉街の発展へ



偉スキー猛団の活躍

上越線の開通と湯沢

1925（大正14）年11月に上越北線が湯沢駅まで延長され、スキー客への期待が高まりましたが、増加しませんでした。1931（昭和6）年、上越線の全通により、東京方面からのスキー客が訪れるようになりました。上越線全通に合わせて、スキー場の拡張や西山温泉の開発が行われ、湯沢は賑わうようになり、それまで近郷の村々の人たちが農繁期の疲れをいやす湯治場的な性格から、スキーが楽しめる温泉地として、東京など都会の人々の保養の場と変わっていききました。

上越線開通の年、西山地区（湯沢駅西側）で温泉の掘削が行われ、翌年、2つの温泉を掘り当てました。その後、熊野温泉や江神温泉などが開削され、西山の道路建設も進み、多くの温泉旅館が開業しました。

このころ、湯沢温泉には多くの文人たちが訪れました。1934（昭和9）年には川端康成が高半旅館を訪ね、小説「雪国」を書きました。出会った芸者松栄は、「雪国」の中の駒子のモデルといわれています。また、与謝野鉄幹・晶子夫妻や北原白秋なども高半旅館に宿泊しています。



清水トンネルの貫通



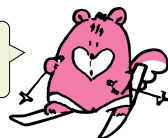
西山一号井の噴湯（昭和7年）



北原白秋（右から4人目）と駒子（左から3人目）

23 三国国道開通、国道17号線全通、上越複線化と湯沢の発展

交通が便利になって、湯沢はどのように発展していったのでしょうか。



昭和20年代～30年代初めの湯沢

1949（昭和24）年ころからスキー客相手の民宿が現れ始めました。1950（昭和25年）には週末臨時夜行列車「銀嶺」号の運転が始まり、多くのスキーヤーが訪れるようになりました。1951（昭和26）年に南魚沼郡初のスキーリフトが、布場スキー場に架けられ、第1回スキーカーニバルが開かれました。

1947（昭和22）年、岩原スキー場は、進駐軍の高い評価を得て接收されました。同スキー場は1952（昭和27）年春に返還され、急速に整備が進み、1954（昭和29）年に二人乗りのリフトが架けられました。

1955（昭和30）年には、湯沢村、神立村、土樽村、三俣村、三国村の五村が合併して湯沢町が誕生しました。初代町長は、神立出身の角谷虎繁で、合併直後の町をまとめ、中学校の統合等を行いました。

三国国道の開通と国土計画による大型スキー場開発

1959（昭和34）年の三国トンネル貫通が、湯沢発展の大きな転機となりました。この年のスキーシーズンに間に合わせるように突貫工事で大峰山への31人乗りのロープウェーを完成させ、湯沢高原スキー場がオープンしました。

戦前から存在していた中里スキー場は戦後も賑わっていましたが、国土計画興業株式会社によって買収され、昭和34年末にリフトが架けられました。さらに、翌年にはナイター設備が整えられ、人気が一気に高まりました。

1961（昭和36）年、三国トンネル開通により、関東圏からの誘客が可能となった浅貝地区では、国土計画により苗場スキー場が開設されました。買収当初は冬季オリンピック開催も視野に入れての開発計画でしたが、この計画は実現しませんでした。



プラーと呼ばれる新兵器（昭和初期）



三国国道開通を祝うアーチ



苗場スキー場（昭和40年ころ）

上越線複線化と国道17号線の全通・無雪化

1967（昭和42）年、上越線の輸送力の限界を打破するために、複線化が完工しました。複線化により、昭和43～44年のスキーシーズンには上越線のスキー列車が55%増発され、昭和44年には、石打、越後湯沢、越後中里駅から上野駅までノンストップの初のスキー特急「新雪」号が運行されました。特急「とき」号や急行「佐渡」号も多く、スキーヤーを運んでくれました。

1966（昭和41）年には国道17号線が全通しました。この工事ではこれまで既に開通していた道路の改修と無雪化工事が行われました。県境の寒村であった浅貝地区では、旅館の新・増築ブームが起こり、県外からも多くの人たちが流入して旅館経営を行うようになり、多くの宿泊客が訪れました。この賑わいは、他の17号線沿線の二居や三俣集落を刺激し、スキー場開発への夢を与えました。

通年観光への取組

昭和40年代から、通年観光への取組が始まりました。1965（昭和40）年、浅貝地区では、「越後の軽井沢」と銘打って、夏休み中にクラブ活動や勉強合宿の高校生や大学生などを約2,000人誘致しました。翌年には、県の「夏季学生休暇村」事業で浅貝と岩原地区がモデル地区に指定されました。苗場スキー場でもグラウンドやテニスコートが整備され、これ以降、通年営業の旅館や民宿が増加していきました。

昭和50年前後には、個人経営で体育館やテニスコートを整備したり、町でも町営プールやグラウンド建設などを行ったりしました。1972（昭和47）年、大源太湖周辺が「青少年旅行村」に指定され、キャンプ場や遊歩道などの整備が行われました。1980（昭和55）年には、大峰山の湯沢高原スキー場に「アルプの里」がオープンし、多様な高山植物を集め人気を博するようになりました。

温泉の集中管理と揚水式発電所の建設

1972（昭和47）年、上越新幹線のトンネル工事が始まると、温泉の源泉の湧出量が半減しました。これにより源泉所有者は、温泉をむだに使用しないように、温泉の集中管理へと動き出しました。この費用は鉄建公団が補償することになり、昭和50年に竣工しました。

1978（昭和53）年、清津川水系のカッサ川にロックフィルダムを設け、奥清津揚水式発電所が運転を始めました。平成8年には第二発電所が、国内最大の160万キロワットで運転を開始しました。この施設からの固定資産税等により、湯沢は地方交付税の不交付団体となりました。



中里スキー場（昭和50年前後）



大源太山と大源太湖

24 新幹線開業・高速道路開通からバブル景気までの湯沢

高速交通網の整備により、湯沢はどのように変わったのでしょうか。



上越新幹線開業、関越自動車道開通と観光客の急増

1982(昭和57)年に上越新幹線が開業し越後湯沢駅に新幹線が停車することになりました。

1985(昭和60)年3月には、新幹線が上野駅に乗り入れ、10月に関越自動車道が開通したため、この年は初めてスキー客が400万人を超えました。その後、平成3年には関越道の完全四車

線化が完了し、町内には車があふれるようになりました。日曜や祝日の夕方には湯沢インター近くの道路や湯沢インターから関越トンネルまでは渋滞が発生しました。バブル期の平成4年のピーク時には、空前の800万人のスキーヤーが訪れました。また、平成3年と平成4年には、湯沢町への観光客がついに1千万人を突破し、そのうちの約80%がスキーヤーでした。

日帰り客の増加

交通体系が高速化するにつれ、長期滞在のスキーヤーが減少し、日帰り客が増加するようになりました。コンビニエンスストアもこの頃より増加し、早朝は朝食購入の都会からのお客で賑わいました。昭和61年に営業を開始した「神立高原スキー場」は、日帰り客に目を付け、深夜0時から駐車場や仮眠室などをオープンし、早朝5時半から営業を開始して、話題を集めました。平成2年には、

JR東日本が「ガーラ湯沢スキー場」をオープンさせました。新幹線をガーラ湯沢駅まで引き込み、駅からゴンドラを架設し、「首都圏と80分で結ぶ日帰りスキー場」「スーツで訪れ、スーツで帰宅」をキャッチフレーズに集客を図っています。

通年型リゾート地を目指して ー夏場の誘客ー

町では、上越新幹線開業頃から、夏場の観光客を増やすために「グリーンワールド湯沢」

昭和57年	上越新幹線新潟～大宮間開業
昭和60年	上越新幹線上野駅乗り入れ
昭和60年	関越自動車道全通
昭和61年	神立高原スキー場開設
平成2年	ガーラ湯沢スキー場開設、加山キャプテンコーストスキー場開設
平成3年	上越新幹線東京駅乗り入れ
平成3年	関越トンネル完全四車線化
平成4年	ナスパスキーガーデン開設



上越新幹線開業



関越自動車道開通

キャンペーンを行い、湯沢高原の再開発や通年型のスポーツレクリエーション地への転換を目指してきました。

1987(昭和62)年には、魚野川の支流を利用して「湯沢フィッシングパーク」がオープンしました。1988(昭和63)年には湯沢カルチャーセンターがオープンし、インドアスポーツの拠点となりました。1991(平成3)年、湯沢高原「アルプの里」へのロープウェーを、当時としては世界最大の166人乗りに架け替えました。平成4年には町営レジャープールが完成し、流水プールとウォータースライダーで夏場の集客を図っています。平成3年から平成8年にかけて、町内各地に温泉場(コマクサの湯、岩の湯、駒子の湯、街道の湯、宿場の湯など)が設けられ、外湯めぐりも盛んとなっています。

マンションブーム

湯沢では、昭和62、3年頃から始まったバブル景気の波にのり、大手観光開発業者による空前のリゾートマンションブームが起きました。そのきっかけは、昭和61年に竣工した「ライオンズマンション越後湯沢第二」です。発売後わずかの期間で完売し、全国のリゾートマンションブームの火付け役になりました。良くも悪くも「東京都湯沢町」と比喻されたのはこの頃です。バブル景気の時期にあたる昭和62年～平成4年までの間に36棟、特に平成元年と2年の2年間では23棟のリゾートマンションが建てられました。平成6年までには、合計52棟が建てられ、マンションの部屋数だけで14,000以上となりました。

この時期、湯沢で一儲けしようとする土地ブローカーなどの業者が多数入ってきて、町内の地価が高騰したり、日照権の問題などが生じたり、乱開発を企てようとしたため、開発に規制をかけてほしいという声があがってきました。また、小坂地区ではマンション建設に反対しました。それらを受け、町では開発についての「指導要綱」を制定して、対策に乗り出しました。そして、平成3年には、当分の間、マンションの建設を認めないことを議会で可決しました。

昭和55年	高山植物園「アルプの里」開業
昭和62年	湯沢フィッシングパーク開業
昭和63年	湯沢カルチャーセンター建設
平成3年	湯沢高原へのロープウェー完成
平成3年～8年	「コマクサの湯」「岩の湯」「駒子の湯」「街道の湯」「宿場の湯」を建設
平成4年	町営レジャープール「オーロラ」建設
平成6年	東山フィッシングパーク開業
平成8年	八木沢～大峰山への遊歩道完成



車で渋滞する国道17号



岩原のマンション街

25 バブル崩壊後の湯沢

今後の湯沢の町づくりを、自分の問題として考えてみましょう。



湯沢町のバブル崩壊

バブル景気は、1989（平成元）年12月に株価が最高値となり、土地の価格は平成4年初頭まで上がり続けました。その後、バブルが崩壊し、不景気が始まってきました。湯沢町へのスキー客は、この平成4年度に818万人が訪れたのをピークに、その後はどんどん減り続け、平成23年度のスキー客は235万人にまで減少しています。温泉客は平成8年度の144万人をピークに、平成23年度には87万人にまで減少しました。中でも2004（平成16）年の中越地震の年は、風評被害によって湯沢の観光は大打撃を受けました。

バブル崩壊後の湯沢町

バブル崩壊後の景気低迷とスキーブームの終わり、そして追い打ちをかけたのが、2008（平成20）年、アメリカのサブプライムローン問題に端を発し、リーマンショックと呼ばれた金融危機です。これにより、日本国内でも不動産取引が思うようにいなくなり、湯沢関連の不動産業者の中には倒産したところもありました。また、その後もギリシャ問題に象徴される欧州危機や中国の景気停滞、東日本大震災による観光の自粛・外国人観光客の減少、尖閣諸島などの領土問題による中国人観光客の減少等々、景気に左右される湯沢の観光はここ数年苦しい状況が続いています。

そのような中でも、新しいお客さんを開拓する試みがなされています。ホテルでは、建物を改築したり、様々な温泉風呂を設けたり、スキー場の中には、子どもを無料にしたりして、誘客を行っています。

フジロック・フェスティバルの開催

フジロック・フェスティバル（以下フジロック）は、野外で世界一流のロックを聞こうと、1997（平成9）年に山梨県の富士山麓で第1回目が開催されました。しかし、交通の便の悪い場所に一度に多くのお客が殺到したため、大混乱となりました。翌年は東京に変更されましたが、会場が狭く、やはり大自然の中で



フジロック・フェスティバル

のロック・フェスティバルを開催したいという声が高まりました。そして1999年から、夏期の集客を目指した苗場プリンスホテルと浅貝地区が開催地として協力することとなり、会場は新潟県の苗場スキー場に再度変更されました。以降、毎年7月下旬に3日間、開催され、近年では10万人以上のお客が集まっています。

フジロックは世界一クリーンなイベントを目指し、ゴミの分別やポイ捨て防止などの取組がよく行き届いていると評判です。このことに賛同するミュージシャンは数多く、治安のよさやお客の節度ある態度など総合的な運営の安定感から、「世界のフジロック」と海外から高い評価を得ています。

マンションと共存する町づくり

湯沢町のリゾートマンション事情は、バブル期の建設時とはかなり変わっています。国内の熱海や箱根、軽井沢、那須などリゾートマンションの多い地域の中でも、湯沢の物件の下落率は大きいといわれています。取引価格は、建設当時の約10分の1以下にもなった物件もあるそうです。このように、湯沢のマンション相場が下落した原因として、物件数の多さとスキー人口減少によるスキー目的での利用者減、そして購入層の高齢化による物件の手放しなどがあります。

しかし、自然に囲まれた環境を楽しむために、近年では首都圏からの移住先としても注目されるようになり、リゾートマンションに定住する人も増えつつあります。町では新幹線で首都圏まで通勤する人のために新幹線定期券代の補助を行い、移住・定住を促進しています。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴ってリモートワークがさかんになったことにあわせて、それを支援する動きも広まってきています。

湯沢町移住・定住促進プロジェクト

我が国は少子高齢化による人口減少が進み、社会経済活動の担い手不足や社会保障費の増大、東京の一極集中などの課題を抱えています。こうした背景にあって、湯沢町では、人口減少抑制のために、2015（平成27）年から移住・定住促進政策を積極的に進めています。

四季を通じて美しい自然環境にありながら、首都圏から高速道路や新幹線でのアクセスがよい湯沢町の利点をアピールし、湯沢町に住み首都圏に通勤するライフスタイルを提案し、ホームページやSNSなどで情報を発信しています。

みなさんは、湯沢町
へのお客さんを増やすには、ど
うしたらよいと考えますか？
自分たちができることなど、いろ
いろな立場に立って、クラスで話
し合ってみましょう。



越後湯沢駅構内の雁木通り

参考文献

湯沢町史編さん室（2005）「湯沢町史 通史編 下巻」湯沢町教育委員会
鈴木郁夫・中田勝・田中和徳（2013）「新潟もの知り地理ブックⅡ」新潟日報事業社

26 川端康成と湯沢

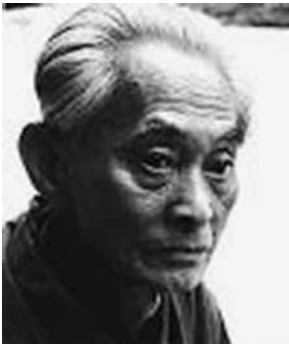
かわばたやすなり

川端康成と湯沢には、どんな関係があるのでしょうか。



(1) 川端康成とは

川端康成は、日本の近代文学を代表する作家です。日本人初となるノーベル文学賞を受賞しました。



川端康成 (1899-1972)

川端康成 (1899~1972)

1899 (明治32) 年 6月14日、大阪市で生まれる。
~2歳から15歳の間~ 父母、姉、祖父母が死去し、孤児となる。
1924 (大正13) 年 東京帝国大学文学部国文科卒業
1934 (昭和9) 年 初めて湯沢を訪れ、「雪国」を書き始める。
1968 (昭和43) 年 ノーベル文学賞受賞
1972 (昭和47) 年 死去

☆主な著書☆

「雪国」「伊豆の踊子」「千羽鶴」「山の音」「眠れる美女」「古都」

(2) 小説「雪国」とは

冒頭文「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。夜の底が白くなった。」で始まる、日本文学を代表する有名な作品です。雪国を舞台に主人公・島村と芸者駒子の人間関係が美しい詩のように書かれています。随所に湯沢の名所が出てくる作品としても有名です。(しかし、「雪国」の中には、「湯沢」という地名は一度も出てこないのです。)

「雪国」に出てくる「駒子」は、「豊田屋」で芸者をする松栄 (本名小高キクさん 三条市出身) という実在する人物がモデルになっていました。

その後、映画・舞台・ドラマ等が制作され、長い年月に渡って、幅広く人々に愛されました。また、世界30カ国で翻訳され、世界の人々にも読まれている作品です。



(3) 「雪国」の舞台、川端康成が訪れた湯沢

1934 (昭和9) 年、川端康成が35歳の時に初めて湯沢を訪れてから、計5回ほど訪れて、高半旅館で名作「雪国」を執筆しました。

川端康成の湯沢訪問

- 1回目 (1934年6月)
群馬県大室温泉で宿の人に紹介されて湯沢にやって来る。
- 2回目 (1934年8月~9月)
駒子のモデルである芸者「松栄」と出会う。
- 3回目 (1934年12月)
湯沢の冬を初めて体験する。「雪国」の冒頭文の名文は、この時の描写。
- 4回目 (1935年9月~10月)
一番長く湯沢に滞在し、執筆を行う。
- 5回目 (1936年7月)
湯沢での最後の執筆を行う。



高半旅館「かすみの間」

雪国を執筆していた当時のまま再現され、保存されています。また、小説「雪国」の完成後、高半を舞台に「雪国」が映画化されました。



諏訪社と諏訪社の大杉

駒子と島村が語り合う場面で舞台となった神社。諏訪社の御神木である大杉は、「雪国」で「恐ろしい神の武器のよう」と形容され、歴史の重みをたたえて神聖な社を鎮守しています。



清水トンネル

小説冒頭「国境の長いトンネル」は、当時完成したばかりの清水トンネルだったとされています。



「雪国」の石碑

湯沢小学校旧校舎裏側の主水公園にあります。川端康成直筆の石碑です。

小説「雪国」の冒頭「国境の長いトンネルを抜けると～」が刻まれています。

雪国文学散歩道

湯沢町内には、川端康成のゆかりの地をめぐるコースがあります。



参考文献

湯沢町歴史民俗資料館『川端康成と「雪国」の世界』

27 小説「雪国」を読む

小説「雪国」の舞台となった湯沢を知ろう。



小説「雪国」のあらすじ

12月初め、島村は雪国に向かう汽車の中で、病人の男に付き添う恋人らしき若い娘（葉子）に興味を惹かれる。島村が降りた駅で、その二人も降りた。旅館に着いた島村は、去年出会った駒子と呼んでもらう。

島村が駒子に出会ったのは去年の新緑の5月、山歩きをした後、初めての温泉場を訪れた時のことであった。芸者の手が足りないため、島村の部屋にお酌に来たのが、三味線と踊り見習いの19歳の駒子であった。次の日の昼、冬の温泉町を散歩中、島村は駒子に誘われ、彼女の住んでいる踊の師匠の家の屋根裏部屋に行った。昨晚車内で見かけた病人は、師匠の息子・行男で、付添っていた葉子は駒子と知り合いらしかった。行男は腸結核で長くない命のため帰郷したという。島村は按摩から、駒子は行男の許婚で、治療費のため芸者に出たのだと、聞かされる。だが、駒子はそれを島村に否定した。

島村は温泉宿に滞在中、駒子と過ごし、独習したという三味線の音に感動を覚えた。島村が帰る日、行男が危篤だと葉子が報せに来るが、駒子は死ぬところを見たくないと言い、そのまま島村を駅まで見送った。

翌々年の秋、島村は再び温泉宿を訪れた。あの後、行男は亡くなり、師匠も亡くなったと聞き、島村は嫌がる駒子と墓参りに行った。墓地には葉子がいた。駒子はお座敷の合い間、毎日島村の部屋に通ってきて、忙しいある晩には葉子に伝言を持って来させた。島村は葉子と言葉を交わし、魅力を覚えた。東京に行くつもりは、島村が帰るときに連れて行ってくれと頼み、「駒ちゃんをよくしてあげて下さい」と言った。葉子は死んだ行男をまだ愛しているようだった。

島村は東京の妻子を忘れたように、その冬も温泉場に逗留を続けた。天の河のよく見える夜、映画の上映会場になっていた繭倉（兼芝居小屋）が火事になり、島村と駒子は駆けつけた。人垣が見守る中、一人の女が繭倉の2階から落ちた。落ちた女が葉子だと判った瞬間にはもう、葉子は地上でかすかに痙攣し動かなくなった。駒子は駆け寄り葉子を抱きしめた。駒子は自分の犠牲が刑罰かを抱いているように、島村には見えた。

《ポイント》

作者の川端康成は、湯沢に滞在したときに見聞きしたことを作品の中にたくさん描いています。作品ラストの火事も実際にあったようです。

小説「雪国」と清水トンネル



※国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。夜の底が白くなった。信号所に汽車が止まった。

向側の座席から娘が立って来て、島村の前のガラス窓を落した。雪の冷気が流れこんだ。「駅長さあ、駅長さあ。」

明りをさげてゆっくり雪を踏んで来た男は、襟巻で鼻の上まで包み、耳に帽子の毛皮を垂れていた。

※読み方については、「こっきょう」と「くにざかい」の両説があります。上越国境（じょうえつこっきょう）という表現もあり、川端康成自身も「こっきょう」と認めていたようです。

作品の冒頭に出てくるトンネルは、上越線の清水トンネルです。当時はもちろん新幹線も通ってなく、群馬県と新潟県をつなぐトンネルとして多くの人に注目されていました（当時は世界第2位、日本一の長さ）。川端康成も、開通したばかりの清水トンネルを利用して湯沢を訪れています。また、作品に出てくる信号所とは土樽信号場（現土樽駅）です。

小説「雪国」と湯沢の夏

女はふいとあちらを向くと、杉林のなかへゆっくり入った。彼は黙ってついて行った。

神社であった。苔のついた狛犬の傍の平な岩に女は腰をおろした。「ここが一等涼しいの。真夏でも冷たい風がありますわ。」



諏訪神社

作品に出てくる神社は、川端康成が執筆に利用した高半旅館近くの諏訪神社です。夏に狛犬の傍の平な岩に座ってみましょう。駒子たちが感じた涼しさを感じることができるかもしれません。

28 「北越雪譜」を読む

「北越雪譜」に湯沢がどのように描かれているか読み取りましょう。



◇北越雪譜

江戸後期に雪のことを記した世界最古の本格書物です。豪雪地新潟県の魚沼を中心に書かれています。雪国の風俗・暮らしなどについて詳細に書かれ、1837年に江戸で出版され当時のベストセラーになりました。

◇「北越雪譜」著者、鈴木牧之

1770（明和7）年、塩沢で誕生します。縮の商人として江戸に行き、江戸の人々に雪国越後の様子を話したとき、江戸の人からあまり雪国の様子を理解してもらえなかったそうです。そのことがきっかけで、雪国の生活を知ってもらいたいと思い「北越雪譜」を執筆しました。

◇北越雪譜に描かれている湯沢の風景

（1）湯沢の冬の狩り

《原文》
三国嶺より北へつづく二居の人（たふげあるところ也）の鹿おひしたるをきゝしに、いざ鹿おひにゆかんとてかたらひあはせ、おのおの雪を漕ぐべき（ふかき雪をゆくを里ことばにこぐといふ）ほどに身をかため、山刀をさし鉄砲手槍又棒など持て山に入り、かの足跡をたづね、あとに随へばかならず鹿を見る、かれ人を見て逃んとすれども人のはしるにおよばず、鹿は深田をゆくがごとく終には追ひつめられてころさる、あるひは剛勇の人などは角をとりてねぢふせ山刀にて刺殺もありとぞ、これらは暖国にはなき事ならめ。

《現代語訳》
三国峠から北につづく、二居（峠のあるところである）の人から鹿を追った話を聞いたが、さて、これから鹿を追に行こうと相談して、それぞれが雪をこぐ（深い雪を行くことを、里の言葉で「こぐ」という）ように身をかため、山刀をさして鉄砲や手槍、棒などを持って山に入る。足跡を見つけてあとをつけていけば、必ず鹿を見つけるのである。鹿は人を見て逃げようとするが、人の走るのにはかなわない。深い田を行くように足をとられ、ついには追いつめられて殺されるのである。剛勇の人などは角を持ってねじ伏せ、山刀で刺し殺すこともあるという。これらは、暖国にはないことであろう。

- ・里ことば…現在の「方言」
- ・「こぐ」以外にも、湯沢の「里ことば」にはどんな言い方があるでしょうか。調べてみましょう。

(2) 湯沢の夏

《原文》

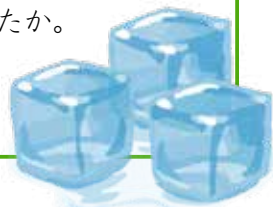
浅貝あさかいという駅に宿り猶なほ 二居嶺ふたいたふげ（二里半）を越こえて三俣さんまといふ山駅さんえきに宿し、芝原嶺を下り、湯沢に抵いたんとする途みちにて遙はるかかに一楹いちえいの茶店を見る。庇ひさしのものとに床ありて浅き箱やうのものに、白く方かくなる物を置きたるは遠目とほめにこれ石花菜ところふてんを売ならん、口には上らずとおもひながらも山をはなれて暑もはげしく、汗もしとゞに足もつかれたれば茶店あるがうれしく、京水とともにほしりいりて腰をかけ、かの白き物を見ればところてんにはあらで雪の氷なりけり。六月に氷をみる事江戸の目には最珍さいちんしければ立よりて熟視よくみば深々はかり五寸計の箱に水を入れ、その中に小き踏石ほどの雪の氷をおきけり。茶売ちやうりう翁おきなに問ば、これは山蔭やまかげの谷にあるなり、めしたまはゞすゝめんといふ。さらばとて乞ひければ翁菜刀なざりはうてうを把とり、盞さんのなかへさらさらと音して削りいれ、豆の粉をかけていだせり。氷に黄な粉をかけたるは江戸の目には見も慣なれず：

【北越雪譜二編一之巻 削氷けずりひから抜粋】

《現代語訳》

浅貝あさかいという宿場に泊まり、なおも、二居ふたいから峠たふげ（二里半）を越えて三俣さんまという山の中の宿場に泊まる。芝原峠を下って湯沢に通じる道で遠く一軒の茶店が見えた。庇ひさしの下の上の浅い箱のようなものに、白くて四角の物が置いてあるのが見え、遠目でトコロテンを売っているのだろう、食べることもないだろうと思ったが、山を下って暑さも激しく、汗もでて足も疲れたので、（息子の）京水とともに駆け込んだ。その白いものを見たらトコロテンではなく、雪の氷であった。六月に氷を見ることは江戸の人間から見るとずいぶん珍しいことで、そばへ寄ってよく見ると、深々はかり五寸ばかりの箱に水を入れ、その中に小さい踏石ふみいしくらいの氷が入っていた。茶店のおやじに聞くと、「これは山陰の谷にあります。召し上がってみませんか」という。それならばと求めると、おやじは菜切包丁なざりはうちょうをとって皿の中へサラサラという音とともに削りいれ、豆の粉をかけて出してくれた。氷に黄粉きんこをかけたのは、江戸人には見慣れないことで：

- ・夏の湯沢では、どんなものが食べられていると書いてありましたか。
- ・当時は夏まで氷をどのように保存したのか調べてみましょう。



(3) 越後縮《えちごぢぢみ》

《原文》

縮は越後の名産にして普く世の知る処なれど、他国の人は越後一國の産物とおもふれどさにあらず、我住魚沼郡一郡にかぎれる産物也。他所に出るもあれど僅にして、其品魚沼には比しがたし。そもそも縮と唱ふるは近來の事にて、むかしは此國にても布とのみいへり。布は紵にて織る物の総名なればなるべし。

室町殿の営中の事どもを記録せられたる伊勢家の書には越後布といふ事あまた見えたり。さればむかしより縮は此國の名産たりし事あきらけし。愚案に、むかしの越後布は布の上品なる物なりしを、後々次第に工を添て糸に縷をつよくかけて汗を凌ぐ為に縷せ織たるならん。ゆえに縷布といひたるをはぶきてちぢみとのみいひつらんか。

【北越雪譜初編中之巻 越後縮より抜粋】

雪中に糸となし、雪中に織り、雪水に洒ぎ、雪上に曬す。雪ありて縮あり。されば越後縮は雪と人と氣力相半ばして名産の名あり。魚沼郡の雪は縮の親といふべし。

【北越雪譜初編中之巻 縷綸より抜粋】

《現代語訳》

縮は越後の名産で、日本各地に広く知られている。越後以外の人は越後全般の産物と思うであろうが、私の住む魚沼郡だけの産物なのである。よそでもできないことはないが、わずかではあるし、品質も魚沼産とは比較にならない。だいたい縮と呼ぶのは近年のことで、昔は越後でもただ「布」と言った。布は紵を使う織物の総称だからである。

室町幕府のできごとを記録した伊勢家の書物に「越後布」という記事が多く出ている。このことから昔から縮は越後の名産であったことは明らかである。私の考えであるが、昔の越後布は布のうちでも上等な品だったが、さらに何代にもわたって次第に工夫を加えてきた。つまり、糸に強く縊りをかけ、汗をかいても涼しく感じるように縮ませて織ったものである。そのため縮み布といったのだが、省略して縮というようになったのではなからうか。

雪中に糸を作り、雪中に織り、雪水にそいで、雪上に晒すのである。雪があつて縮がある。越後縮は雪と人とが力を出し合つて作った名産である。だから魚沼郡の雪は、縮の親というべきである。

- ・ 紵…現在の麻、苧麻、カラムシとも呼ばれる。現在、南魚沼市の栃窪で生産されている。
- ・ なぜ縮が魚沼で作られたか考えてみましょう。

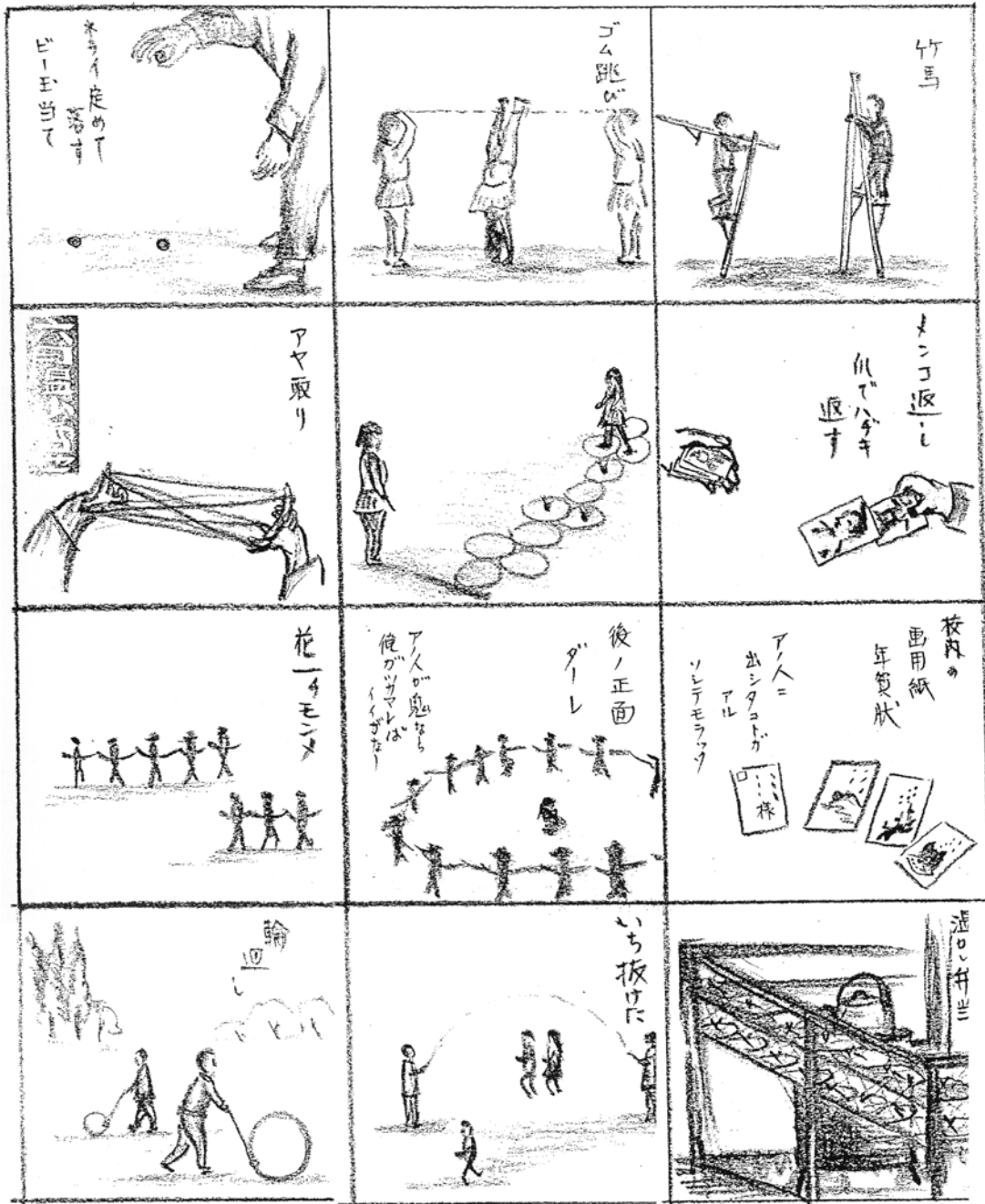
参考文献

宮栄二 (1970) 「校註 北越雪譜」 野島出版
現代語訳 訳者 荒木常能 (1996) 「北越雪譜」
Wikipedia 鈴木牧之「北越雪譜」

29 湯沢の昔の遊び

次の絵から、昭和初期の湯沢の遊びを再現してみましょう。





30 食 越冬保存食

雪深い湯沢では、食物を保存することによって、冬の食材にしていました。現在と昔では、保存の仕方にどのような相違点があるか調べてみましょう。



* かつて湯沢では、基本的に自給自足であった。自分で調達する食料は、自家で生産するもの（ツクリモノ）と、野山で手に入れるもの（ヤマノモノ）と大別された。

- ① ツクリモノは^{すいとう}水稻・^{りくとう}陸稻・^{あわ}粟・そばなどの穀類の他、畑の作物などである。
- ② ヤマノモノは山菜である。春には、ゼンマイ・ワラビ・フキなど、秋には、キノコ・栗・クルミ・山芋・ヌカゴなどがある。

① 野菜の保存

- ・キャベツ・白菜などは、秋に収穫したら、乾かして納屋に立てかけておいたり新聞紙で包んだりして保存した。
- ・大根・里芋などの芋類はしみやすいので、囲い穴の中に貯蔵した。囲い穴とは、茶の間の床板を外し、穴を掘った中に^{もみがら}籾殻を敷き詰めたものである。ジャガイモなどは、カマスに入れて保存した。今は、里芋などは皮をむいて冷凍保存をする場合もある。生の大根は、家の軒先の^{のきさき}雪を掘って、藁で^{わら}囲って（ダイコダテ）貯蔵した。



収穫した白菜

② 山菜の保存（ヤマノモノの保存）

ゼンマイ…綿をとって軽くゆでてからムシロに広げ、よくもんで干し上げる。（右写真）

コゴメ …ゆでてもんで干しておく。今は、ゆでて冷凍保存をすることもある。

キノメ …ゆでて陰干ししたり、塩漬けにしておいた。現在は、ゆでた後、冷凍保存もする。

ウド …さっとゆでた後、または生のまま、塩漬けにする。

フキノトウ…その時食いであったが、現在はゆでて冷凍保存をすることもある。

アサヅキ…葉をくびって下げておき、球根はそばの辛みにする。

フキ …生のまま塩漬けにする。現在は、キャラブキなど味を付けて瓶詰めにして保存する。（次ページ写真）



干しゼンマイ

ヤマダケノコ…ゆでて瓶詰めにする。(右写真)

ミョウガ…塩漬けや酢漬けにして保存する。現在は、
冷凍保存もする。

キノコ類…天日干しして保存したり、ゆでてから塩
漬けにしたりした。現在は生、あるいは
ゆでてから冷凍保存したり、ゆでて瓶詰
めにしたりする。

クルミ …果実を採り、土中に埋めて果肉を腐らせて
から水洗いして保存する。

柿 …皮をむいた渋柿を串にして干し柿にした。干し上げてから藁の中に入れて
おくと粉が吹く。

ヤマブドウ…焼酎を入れてブドウ酒にする。

マタタビ…若い実を取って、一晩水につけてアク抜きし、多量の塩で漬ける。その後、
塩抜きして、麴漬けにもした。焼酎に漬けてマタタビ酒にもする。

ジネンジョ…籾殻の中に入れて保存した。

ユリネ …籾殻の中に入れて保存した。

保存できる山菜や野菜はまだあります。家の人に聞いた
り、調べたりしてみましょう。



瓶詰め保存 (キャラブキ・山筍)
やまだけのこ



たくあん用(左)・はりはり用(右)



銀杏 (ギンナン)



ズイキ (里芋類の茎)

③ その他の保存食

漬け物 …たくあん、野沢菜、はりはり漬けなど。

魚の保存…魚野川に遡上したサクラマスや鮭を塩引きにして保存した。川魚のヤマメ
やハヨなどは内臓をとってから竹串にさして、イロリで焼き、藁でこしら
えた筒に挿して保存した。



漬け物にもいろいろ
あるから調べてみる
とおもしろいね。

31 湯沢の山菜と山菜料理

豊かな自然に恵まれた湯沢です。春から秋にかけて多くの山菜が採れます。自然の恵みの山菜にはどのようなものがあるか調べてみましょう。



春 5月～6月頃は、多くの山菜が採れます。



ゼンマイ



ワラビ



コゴメ



フキノトウ



ミズナ



ギョウジャニンニク



フキ



モミジガサ



タラノメ

秋 9月～10月頃は、キノコ類が採れます。



ナメコ・椎茸等



ミョウガ



ジネンジョ

山菜料理

ここでは、山菜の代表的なゼンマイの戻し方と、ゼンマイ煮物、その他の山菜料理について紹介します。その他の山菜の調理法や食べ方を調べてみましょう。



干しゼンマイ



戻し方①



戻し方②③



束ねて煮るときれいに盛り付けられる

ゼンマイの戻し方

- ① 鍋にゼンマイとたっぷりの水を入れて火にかける。
沸騰直前で火を止める。(戻り具合により、これを2～3回繰り返す。)
- ② 鍋に手が入る位にさめたら、ゼンマイを軽くもみほぐす。
- ③ 水をかえて、ぬるま湯の中に浸して一晩おく。

煮汁 (例)

- ・だし汁・・・1カップ
- ・しょう油・・・大さじ2
- ・みりん・・・大さじ1
- ・砂糖・・・小さじ1
- ・酒・・・大さじ1

ゼンマイの煮物

身欠きニンジンやこんにゃく、にんじん、里芋等とだし汁で煮る。車麩等もよく使われる。
一皿に地域のいろいろな素材が入る。

山菜料理は地域や家庭によっていろいろな食べ方があるよ。



ゼンマイの煮物



ミズナのギョウジャニンニク和え



フキ煮



ワラビのおひたし



ミズナのきんぴら



ミョウガ味噌

参考文献

南魚沼地域振興局 (2006) 「南魚沼地域の郷土料理」

山菜料理提供 神立 平沢荘

32 雪と湯沢の暮らし

冬になると、シベリアから日本海を渡って吹きつける季節風が谷川連峰にぶつかり、湯沢に大量の雪を降らせます。そのため湯沢は、日本の中でも有数の豪雪地帯となっています。湯沢に生まれた人たちは、冬の5ヶ月もの長い期間を雪の中に閉じ込められて暮らさなければなりません。人々はそれを宿命だと受け止めて耐え忍ぶ一方で、雪を克服し、雪を利用しようと努力を重ねてきました。みなさんのおじいさん、おばあさんが子どものころの大人たちは、今の人たちには考えられないような苦勞をしてきました。また、様々な工夫をこらして生活していました。

昔の人たちはどのような工夫・苦勞・努力をしてきたのでしょうか。また人々の生活はどのように変わってきたのか、今の暮らしと比べてみましょう。

(1) 冬の交通

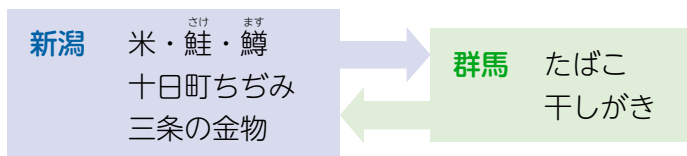
湯沢は新潟と東京を結ぶ中間にあり、三国街道は重要な役割を果たしていました。

○昔の冬の三国峠越えはどのように行われていたのでしょうか。

『江戸時代』 交通手段は徒歩。

江戸時代に三国峠を越えた商品

- ・大名たちの参勤交代
- ・商いをする人たち



『明治～現代まで』 1931（昭和6）年清水トンネルができて、上越線が開通されるまでは、交通手段は江戸時代と同じ歩きでした。

- ・1872（明治5）年に郵便制度が始まると、郵便が毎日運ばれてきました。
- ・郵便脚夫きやくふは、約12キロの郵便物を背負って、1時間に8キロの速さで歩くのが原則でした。これは、夏・冬同じだったので、雪のある時は大変でした。

○道路の除雪はどんな進歩をしたのでしょうか。

1959（昭和34）年、三国トンネルが貫通して、群馬県と結ばれるようになりました。その時から徐々に、機械を使っでの除雪が行われてきました。機械除雪といっても始めのうちは悪戦苦闘でした。しかし、昭和40年代には機械除雪によって冬の交通が確保されるようになり、いよいよ無雪化時代が始まりました。

○学校へ通うための道路（歩道）を確保するために、どのようなことが行われていたのでしょうか。

- ・道踏みの苦勞

村中、回り番で道踏みに出ました。かんじきをはいていますが、先頭の人には胸まで積った雪を手でかき分けながら進みます。疲れるので先頭を交替しながら行きました。（64ページ写真参照）

・スキーを使つての通学

かんじきで踏んだ道も、長靴で歩くとずぶずぶと埋まるので、スキーをはいて学校に通う子どももいました。 ※道踏みやスキーでの通学は昭和30年代後半～40年代初頭まで行われていたようです。

(2) 雪の中の暮らし

○スキーの登場

1911（明治44）年に、オーストリアのレルヒ少佐が高田の兵隊にスキーを教えたのがスキーの始まりです。湯沢では、本間榮太郎が1913（大正2）年に高田で講習を受けて、初めてスキー用具一式を持ちこみました。1919（大正8）年2月に湯沢で初の村主催スキー講習会が開催されました。翌年には、布場や岩原のスキー場で毎月のように県や郡主催の講習会が開かれ、各地から受講生が集まりました。このような動きの中から、布場と岩原が県内有数のスキー場として名を広め、スキー産業が芽生えて、やがて湯沢が温泉とスキーの町として発展する基礎が築かれました。

- ・湯沢町のそれぞれのスキー場はどのようにしてできたのでしょうか。
- ・一番古いスキー場はどこでしょう。
- ・町内にはスキー場が何か所あるでしょう。



昔のスキー客

○屋根の除雪

- ・雪掘り仕事と用具の変化

昔

コシキ（コスキ）、雪ドヨ、ツマカチキ、
ダイモチゾリ→キカイゾリ



鉄製スコップ、タンスコ、プラスチック製コシキ



今

スノードンプ、アルミ製スコップ、合成樹脂性
タンスコ



大雪の町中心部

〈なだれにあった人の話〉

「グツ、グツ、グツ」「あっ、雪崩だっ!」「グツ、グツ、ブオー、ゴオー」、不気味である。おきなければならぬと、もがきたてる。どこに手をついても「ブス、ブス、ブス」、ぬかに釘を打つごとくである。ストックを腰に差してあるため、よけいに起き上がることができない。自分が一人だけ雪の下になったと思って叫ぶ。「オーイ、オーイ」と、どれだけ叫んだか分からない。そのうちに息苦しくなり、どうにか片手で、押さえつけられている口もとと鼻の雪をかき分ける。すると、かき分けた分だけグツグツと雪に押し詰められる。夢中で「オーイ、ここだ、ここだ」と叫んだが、こたえはなし。ただ、ゴオーゴオーと聞こえる音だけだった。もうだめだと、無我夢中で口元をかき回す。

どれだけ時間がたったのだろうか。今まで目の前が暗かったのが、薄明るく見えてきた。しめた、助けに来てくれた、と思うさま、「ここだ、ここだ」とありったけの声を出した。ああ助かった、と思ったが、とにかく顔だけ出してくれないかと頼む。息苦しくてどうすることもできない。雪から顔が出ると、しばらく深い呼吸を続ける。

（「湯沢町史・双書1 雪の湯沢 ー雪国に暮らしてー」より）

○昔の人の服装は、今の人とどのように違っていたのでしょうか。

・雪の中での服装と、はき物

一昔前の冬の服装

スゲぼうし、わたいれ、ふかぐつ、スカリ、さんぱく、かくまき、アンコブシ、ミノ、マント、ハッパキ、スッペ、フーコカブリ、ネンネコ、耳あて

他にどんなものがあったのでしょうか。お年寄りに聞いて調べてみましょう。

今はどんな服装かな。



スカリを履いての道踏み



山じたく

他にどんな施設や用具があったのでしょうか。



○寒さを防ぐために、昔の雪国の人々の暮らしには、どんな苦労や工夫があったのでしょうか。

・室内の暖房

昔のいろりの様子

○いろりのことを、湯沢では「ジロ」とも言いました。

○床を四角に切り込み、周囲を土で固めて木枠で囲み、その中央で火をたく施設です。湯を沸かす、料理する、濡れた服や靴をかわかす、などの用途があります。



雪国館2Fのいろり

○雪国ならではの仕事としてどのようなものがあったのでしょうか。

・冬季間の仕事

藁仕事

○藁をたたき、その藁で縄をないます。わらじやわらぐつなどの履物、藁ミノなどのかぶり物、タスやセナカイチなどの運搬用具、ムシロなどの敷物、ツグラやタワラなど、様々な用具を作りました。

○女性は針仕事をしたので、藁仕事は男性の冬場の仕事でした。

今は兼業農家が多いけれど、昔は専業農家でした。そのため、冬でもできる仕事が必要でした。



ワラ仕事

33 湯沢学園周辺の石仏

むかしの石碑や石仏^{せきぶつ}を調べ、人々の願いを探りましょう。



中国から台湾に渡って亡^{せき}なられた上村さんの石碑^ひ（魚沼神社）

右の石碑は、魚沼神社の境内にあり、文字が彫^{けい}られています。皆さんでもある程度読むことができますので、実際に現地で解説にチャレンジしてみましょう。上村利吉^{りきち}さんは、明治28年に日清戦争で従軍し、戦闘に加わりしました。中国の遼東半島に渡り、後に台湾に渡り、そこで亡くなりました。

青面金剛の石仏（魚沼神社の庚申塔）

右の石仏も魚沼神社の境内にあります。「しょうめんこんごう」と読みます。この石仏は、他の場所でもよくみかけます。近くにいくつか石仏があるので、いつ建てられたのか調査してみましょう。元文、寛政、安政などと江戸時代の年号が刻まれています。



上村さんの石碑
(魚沼神社入口付近)



111ページの「江戸時代の年号表」を見て、西暦何年か調べましょう。また千支^{えんと}は何でしょうか。面白いことに気付くはずですよ。

隣には「庚申^{こうしん}」と彫^{けい}られた石仏があります。実は右の青面金剛像は、庚申の主尊^{しゅそん}です。庚申とは何でしょうか。60日に1回、庚申^{かのえさる}の日がやってきます。かつて、この日には健康長寿を祈るために、夜眠らずに過ごすという習慣がありました。庚申の日には、当番の家に集まり、主尊である「青面金剛」の掛軸^{かけじく}の前で儀式を行い、夜遅くまでお酒を飲み、ごちそうを食べながら夜がふけるのを待たそうです。やがて60年に1回巡ってくる庚申の年に「庚申塔」を建ててお祈りをするようになったそうです。

「庚申塔」の下の方を見てみましょう。目を隠している猿と耳をふさいでいる猿がいます(かのえさると関係しています)。また両側^{にわたり}には鶏^{けい}が2匹います。古い庚申塔には猿と鶏が彫られているのでよく観察してみましょう。

青面金剛は左手でへびをつかんでいます。



青面金剛の石仏（庚申塔）
(魚沼神社入口付近)



庚申塔
(原新田団地脇林の中)



石仏は石で彫られた仏像や神の像のことだよ!! 湯沢のあちこちにあるからね!!

延命地蔵と寒大神（左）奪衣婆（右）
（原新田）

延命地蔵を信仰すると、新しく生まれた子を守り、その寿命を延ばすといわれています、後世では、短命・若死にを免れるために信仰されました。

寒大神は、寒行といって、二十四節季の小寒から節分の間の一週間から三週間、昼間は仕事しつつ、夜になると川に入り念仏を千回唱え、百回毎に頭から水をかぶり、その間は、女の人に会ってはならず、しゃべってもいけない、もちろん肉も食べてはならず、このような苦行を行う寒行者がお参りした神です。（このことは北越雪譜に書かれています）

奪衣婆は、三途川の渡し賃である六文銭を持たずにやってきた亡者の衣服を剥ぎ取る老婆です。奪衣婆が剥ぎ取った衣類は、懸衣翁という老爺によって衣領樹にかけられます。亡者の衣の重さにはその者の生前の行いが現れ、その重さによって死後の処置が決められます。

江戸時代末期から民間信仰の対象とされ、疫病除けや咳止め、特に子どもの咳止めに効き目があるといわれました。

馬頭観音（原新田）

家族同様の扱いを受けた馬の供養（お墓）や旅の安全、馬の守護神として建てられました。

観世音菩薩の頭の上に馬の顔がのっています。人々の煩惱※を、馬食の如く食い尽くすともいわれています。

板碑（田中 JA脇）

死者の供養や生前に死後の冥福を祈るために建てられました。これは下の方が欠けていて不完全な形です（元はもっと長かった）。鎌倉から室町時代のものです。

※自分の心を悩ませたり、乱したりするもの。欲望や怒り、執着など。



寒大神（左） 延命地蔵（中央） 脱衣婆（右）



馬頭観音（原新田）



板碑（田中 JA脇）

34 多聞神社、魚沼神社、三国街道で江戸時代を探そう

せきぶつ 石仏など石に彫られた文字から江戸時代に作られたものを探しましょう。

○多聞神社

多聞神社の境内には、多くの石仏や常夜燈があり、次のような年号が彫られています。

- ・金毘羅大権現：文政八年乙酉年
- ・常夜燈：寛政十二年、嘉永三年戌年、安政三年辰年、大正四年、昭和九年

109ページに江戸時代の年号表があるよ!!



金毘羅大権現（多聞神社）

○魚沼神社

魚沼神社には、さらに多くの石仏があり、次のような年号が彫られています。

- ・庚申塔：寛政十二年庚申年、安政七年庚申年
- ・二十三夜塔：天明三癸卯年、明治
- ・諸國神社佛閣納経供養塔：元治元年
- ・御神燈：延享四年、天明八、嘉永三、明治廿七年
- ・狛犬：大正七年
- ・その他の石仏：延享、寛延、宝暦、安永、天明、寛政、文政、嘉永、安政、文久、明治、大正、昭和



両脇にあるのが常夜燈（多聞神社）

○三国街道調べ

38ページの「三国街道を歩く」を見て、実際に歩いてみると、三国街道沿いにもいろいろな石仏が残っています。江戸時代の年号が読み取れるものがいくつかあります。



誰が最も古い石仏を見つけられるでしょうか。実際に外かけて調べてみましょう。

- 上越線が開通するまではどのようにして東京へ行ったのでしょうか？
次の図は、大正時代に湯沢から東京（上野）へ行く方法です。

湯沢→六日町→小千谷→西小千谷→来迎寺→
徒歩 川舟か徒歩 徒歩 魚沼鉄道（線） 信越線

直江津→高崎→上野
信越線 信越線

※上越線開通は1931（昭和6）年です。

鉄道が開通するまでは、三国街道などを通して徒歩で関東に行きました。

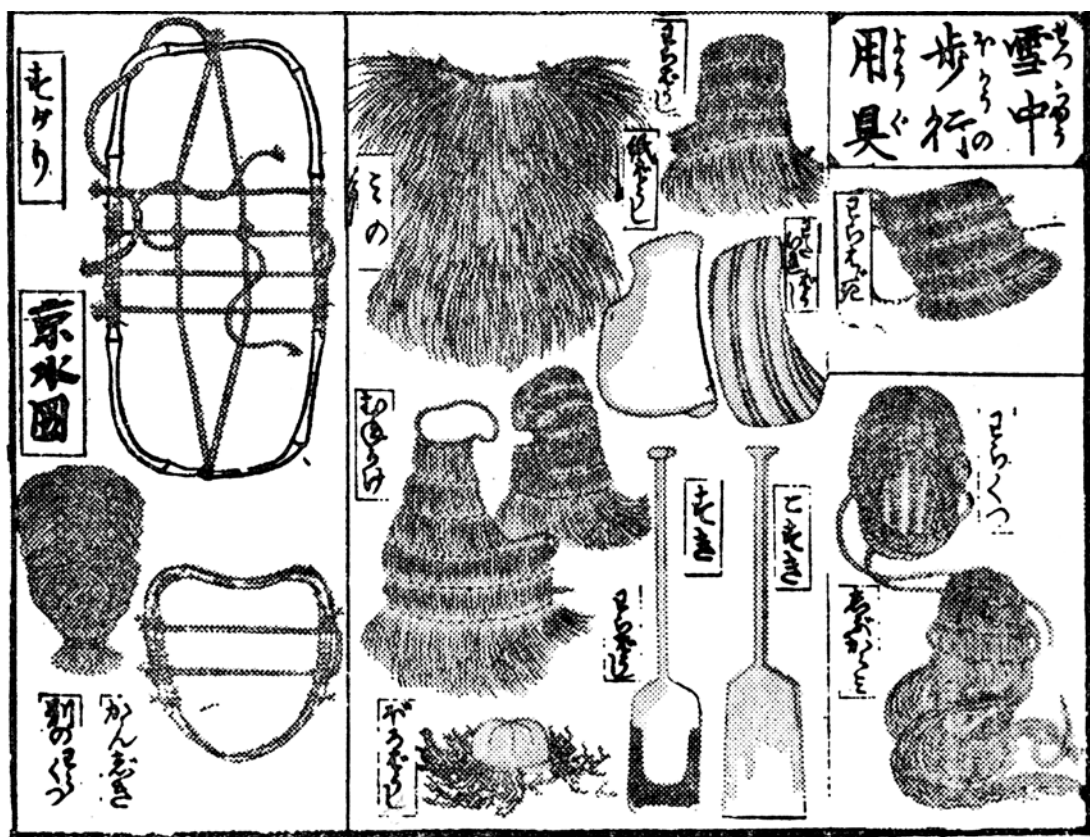


庚申供養塔（魚沼神社）



狛犬（魚沼神社）

昔の魚沼の人たちは、冬、どんな生活をしていたのでしょうか。



鈴木牧之『北越雪譜』より

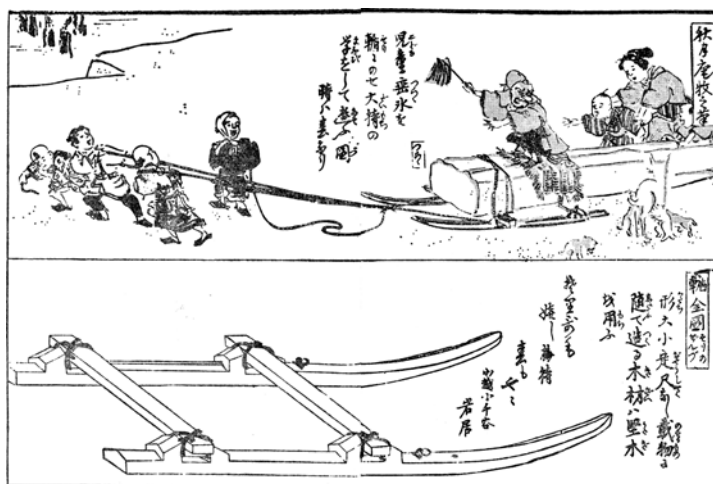
この「雪中歩行の用具」を身にまとうと、右のおじさんのようになります。右は、道踏みをしている様子です。

スカリと呼ばれる大きなカンジキで、隣の家や隣村まで道を付けます。当番を決めて道を踏んだり、場所を決めて踏んだりしていました。道踏みはかなりの重労働でした。重い雪の中から足につけたスカリを持ち上げていると、とても足が疲れます。ひもを引き上げながら道踏みをしないと、うまく作業ができませんでした。



鈴木牧之『北越雪譜』より

右の図は、子どもが大きなソリで大きな氷を運んで遊んでいる様子です。このソリは、木材を山奥から運ぶ時などに使用されていました。家を新築する時は、大雪の年の春に山奥まで入り、木を切り倒し、このソリで運んだそうです。春になると雪が締まって、ソリで運びやすくなりました。今のようにトラックなどがない時代は、家を建てる時には、このような大変な苦勞がありました。



鈴木牧之『北越雪譜』より

○織物と雪（この地域の風土、地域性）

『北越雪譜』の中に次のような記述があります。

「雪中に糸となし、雪中に織り、雪水にそそぎ、雪上に晒す、雪ありて縮あり。されば越後縮は雪と人と氣力相半して名産の名あり、魚沼郡の雪は縮の親といふべし」

機織りは農閑期の仕事で、春の田植えまでに行われ、糸づくりは、乾燥すると切れてしまうため、湿度の高い積雪期に行われていました。

麻織物は、汗などで汚れたときには水洗いができました。黄ばみやシミがついた時には、「雪さらし」といって、雪の上に広げると、雪が解ける時に紫外線により発生するオゾンの作用で漂白され、染料の色が鮮やかになります。

いったん商品として送り出された越後上布の着物は、汗や汚れを落とすために、冬期間、魚沼に里帰りして、織り上がりの布に混じって雪上でさらされます。

そして、雪さらしの時期が過ぎ、春の田植え前までに、堀之内→小千谷→十日町→塩沢の順に「織物市」が立ちました。魚沼地方は、豪雪地帯ゆえに名品ができるのです。



雪さらし（写真提供：塩沢織物組合）

36 激動時代の浅貝村を盛り立てた 綿貫作穂

人々から信頼された綿貫作穂の行動を調べてみましょう。



1822（文政5）年3月5日浅貝村生まれ～1911（明治44）年1月19日

1 庄屋を継ぐ（地域の人から信頼された問屋・本陣の家に生まれる）

2 浅貝村の戸長・副大区長・郵便取扱役・三等郵便局長などを務める。

戊辰戦争後、大区小区制という制度へ変わり、町村制となるまでの数十年間は、制度や政策を安定させるために大変な時期だった。戸長制度、郵便制度が出てくる中、戸籍の編制や徴兵制、地租改正など、村の役にあった綿貫作穂は、その仕事に明け暮れた。広い地域をまとめる大区長を助ける副大区長を終えた後は、郵便の仕事に専念した。40年間の永年勤続表彰、そして、正八位勲八等の勲章を受けた。

3 そのほか県知事や郡長などからの表彰10回（信頼のあかし）を受けた。

4 浅貝村顧問（退職した後は相談役）を務めた。



綿貫作穂(1822-1911)



綿貫作穂の劇を演じてみませんか？

上州の村々を救った綿貫作穂

1868（慶応4）年、戊辰戦争が越後に迫ってきた3月22日の夜明け前に（三国峠の戦いの直前）、上州（群馬県新治）側の須川宿で、世直し一揆が起きました。開国後の物価高によって、生活に困った人々が2,700人ほど集まって、博打打ちの志賀之助を頭にしてお金持ちや村役人を襲い、借金の証文を破り捨て、永井の村役人である本陣の笛木四郎右衛門に千俵の米を出すよう要求しました。この知らせは、浅貝の綿貫作穂の耳にもすぐに届きました。作穂は22日の朝に、二居の清左衛門と三俣の安左衛門と永井宿から（新治）浅貝に逃げてきた笛木四郎右衛門や徳兵衛を引き連れ、永井宿へ駆けつけました。みんながおびえて逃げる中、作穂は吹路村（新治）で一揆勢と一人で話し合いをもちました。危険な雰囲気の中、作穂は、一揆の頭、志賀之助に「千俵の米は、作穂が責任をもって引き受けるから、永井の本陣を取り壊すなどの不穏な動きをしないように」と申し入れました。このときの作穂の堂々とした態度や話しぶりに、さすがの志賀之助も了承せざるを得なかったそうです。この話し合いの成果は、近隣の須川宿など9カ村にも及び、作穂は上州の村々を救ったのです。この米は、三国峠の戦いの時の新政府軍の食料となりました。その後、志賀之助は捕えられ、貝掛温泉近くで斬首刑となり、さらし首となりました。

参考文献

桑原孝「浅貝宿の問屋、綿貫作穂」
桑原孝「綿貫家の日記」

湯沢町史編さん室（2005）「湯沢町史」湯沢町教育委員会
湯沢町誌編集委員会（1975）「湯沢町誌」湯沢町教育委員会

37 身を投げ出して伝染病の親子を助けた 関鶴女

関鶴女の勇気ある行動を調べ、劇を演じてみましょう。



関 鶴女 (1840～1887)

鶴女は、1840（天保11）年に藪神村猫道に生まれました。まじめで正義感にあふれ、22歳で三侯村の関 丑松と結婚し、二人の女の子に恵まれました。しかし、丑松は若く世を去ったため、一家を養うために苦勞し、貧しい中でも二児を育て上げました。

1887（明治20）年4月、西蒲原郡大武新田の広田駒という女性が二児を伴って、群馬県から三国峠を越え、三侯を通りかかったところ、腸チフスにかかってしまいました。街道で歩けなくなり、その上、お金を使い果たしてしまい、医者にかかることもできず、一人で苦しんでいて、二児は母のかたわらで泣くばかりでした。村役場では、看護してくれる人を募りましたが、病状があまりにもひどいため、伝染を恐れて誰も近づく者がいませんでした。鶴女はそれを聞いて同情し、身を投げ出して救助を申し出ました。

まず、女性と二児を自宅に引き取り、昼夜、誠心誠意看病を続けました。そのかいがあって、病気は次第に快方に向かい、九死に一生を得て、女性は助かりました。母子三人は、涙を流して感謝をし、郷里へ帰っていきました。ところが鶴女も腸チフスに感染してしまって、床についてしまいました。医薬の効もなく5月10日に亡くなってしまいました。

このことを伝え聞いた新潟県庁は、遺族に報賞金を贈り、その行いを称えました。このお金の一部で碑を建て、この話を後世に伝えることにしました。

38 先生から三国村長になった 富沢直治郎

富沢直次郎の業績を調べましょう。



1865（慶応元）年6月15日二居村生まれ～1939（昭和14）年12月14日

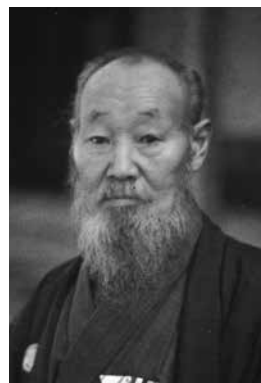
1 新潟師範学校に入学した（今の新潟大学教育学部。同級生に後の参謀総長鈴木莊六がいる）。

2 訓導（昔の学校の先生の呼び方）となり、大崎尋常小学校長など郡市内に勤務した（後、佐渡へ）。

3 二居尋常小学校長（帰郷）となり教育功勞者（私財を投じての寄付。勲八等瑞宝章）として表彰を受けた。

4 三国村長（校長を退職して10年後、推薦を受ける）となる。
農林水産省などに何回も陳情（お願い）し、薪・炭のための約80ヘクタールもの広さの林を安く売ってもらえる許可を得た。そのおかげで村の燃料の問題が解決した。

また、三国峠道路のための陳情の中で、師範学校同級生の参謀総長鈴木莊六に再会し、軍用道路として工事許可を得た。しかし途中で、戦争のため工事が中止になり、直治郎は三国峠道路の改良を見ないまま、亡くなった。終戦後、国道17号線として工事が復活した。今の国道はそのおかげである。



富沢直治郎
(1865－1939)

参考文献

湯沢町史編さん室（2005）「湯沢町史」湯沢町教育委員会
湯沢町誌編集委員会（1975）「湯沢町誌」湯沢町教育委員会

39 初代湯沢村長 井熊熊市郎

井熊熊市郎の業績を調べましょう。



井熊熊市郎
(1858－1916)

井熊 熊市郎

1858（安政5）年2月17日 湯沢村巾下に生まれる

1871（明治4）年 13才 柏崎県庁へ

1889（明治22）年 湯沢村初代村長となる

1911（明治44）年 湯沢村自治研究会をつくる

1916（大正5）年 死去

初代湯沢村長、井熊熊市郎は生まれつきとてもかしこい人でした。13才の時には、村役について柏崎県庁へ一緒に行き、地籍の事務の仕事に携わったといわれています。

20代の頃には、湯沢、神立、土樽の3つの村の連合戸長となりました。

明治22年、町村制が施行されると、30代にして湯沢村の初代村長に選ばれました。それ以来、5回村長に選ばれ、湯沢村を治めました。この間、払い下げられた林野を購入して民有林にしたり、当時は「洗濯温泉」と呼ばれてさびしかった湯沢温泉に村の予算を使って浴場を開いたりしました。男女の混浴が禁止になると、浴場を増やしたり改築したりして湯沢温泉発展の基礎を作りました。また、毎年おそってくる洪水による大門堰の破壊や魚野川堤防の決壊に備えて大規模な改修工事を行いました。明治44年には湯沢村自治研究会をつくり、青年の自覚向上を促しました。

大正5年、村長の任期中に病気のためなくなりました。今も諏訪神社の参道入り口に熊市郎の功績を讃えた「懷令徳」という碑が立っています。



「懷令徳」の碑が立つ愛宕交差点側の参道入り口



「懷令徳」の碑

参考文献

湯沢町史編さん室（1978）「湯沢町史 通史編 下巻」湯沢町教育委員会
岸野長雄（1992）「ふるさと探訪記録 湯沢町の古跡を巡る」湯沢町公民館

40 日本及び湯沢の教育に尽くした 立柄教俊

たち がらきょうしゅん

立柄教俊は神立校の校長を経て、その後どのような仕事をしたのでしょうか。



立柄教俊（1866－1945）

1883（明治15）年の神立校校舎新築の年に、訓導（教員）になり、初代神立校校長になりました。

神立の宮林に生まれ、南雲則宗^{のりむねぜんし}禅師に教えを受けていました。後に、朝鮮総督府^{そうとくふ}教科書編集官の仕事につきました。



立柄教俊の考えをもとに著された教本

経歴

年代	年号	できごと
1866	慶応2年	1月5日 神立の天台宗大教院の長男として生まれる。
1881	明治13年	9月 15才の時、新潟師範学校本科に入学する。
1883	明治15年	同校卒業、直ちに神立校初代校長に任ぜられる。
1886	明治18年	教育成果の著しいことを認められ、文部省から三等奨励品が同校に授与される。
1888	明治20年	塩沢町に高等科南魚沼郡小学校が設置され、ついで校長となる。
1897	明治29年	塩沢高等小学校を辞任して、上京する。東京高等師範学校研究科に入学する。
1898	明治30年	同校を修了し、東京府立青山師範学校教諭に就任する。 「小学校準拠実用教授法」を著して、初等教育の教授法に大きな指針を与えた。
1903	明治35年	東洋大学京立中学校講師となる。 「細目体西洋史」「細目体東洋史」 ^{あらわ} を著す。
1910	明治42年	朝鮮総督府に召されて、教科書編集官に任命される。
1922	大正11年	編集官を辞任し、帰国する。

独学で英語・ドイツ語・フランス語を究め、原書を用いて教育学の研究に没頭しました。その実績を買われ、時の朝鮮総督寺内正毅^{まさはたけ}に召されて、朝鮮総督府教科書編さん官に任命されました。わが国に併合した韓国の日本語教科書編さんは、重要でしかも困難な大事業でしたが、精魂傾けて独創的な教科書を編さんし、世界各国の注目を浴びました。

参考文献

湯沢町誌編集委員会（1975）「湯沢町誌」湯沢町教育委員会

41 郷土の発展に尽くした 南雲喜之七

南雲喜之七の願いは、現在どのように達成されているのでしょうか。



1 南雲喜之七の願い

南雲喜之七{1864(元治元)年～1936(昭和11)年}は、土樽村古野に生まれました。上越線開通前、土樽村は、まさしく越後のどんづまりで、山間にあって、文化、経済、交通どれをとっても恵まれない寒村で、人々の暮らしは貧しいものでした。彼は、若いころから何とかして郷土の開発をはかり、人々の生活を豊かにしたいと願っていました。

<喜之七の功績>

- 石打村（現南魚沼市）の岡村貢の上越線建設運動に共鳴し、協力して行動した。
- 若くして土樽村の村政に関わって、村長となり、広大な村有地を確保して、そこに植林をし、その恵みで無税土樽村を夢みた。



南雲喜之七(1864－1936)

2 岡村貢に請われ上越線の建設運動へ参加

石打村の岡村貢は、私財を投じて上越線の開通のために行動し、上越線生みの親と呼ばれています。貢は南魚沼郡長となりました。南魚沼の発展には三国街道や清水街道の整備以上に、鉄道が欠かせないものと信じ、郡内の有力者に協力を働きかけましたが、誰も耳を貸してくれませんでした。そこで貢は、新しい教育を受けた青年達に期待し、郡内の若きリーダーに協力を依頼しました。その一人が南雲喜之七でした。

<喜之七と貢との出会い>

喜之七は貢と初めて会ったことを次のように述べています。



岡村 貢

「1886(明治19)年十月のある日。そうだ忘れもしない、ちょうど初雪が地上に舞い下りて肌寒く、北風が、北風がピューピューとうなっていた日、一人の来客があった。招き入れて聞いてみると、石打村一日市の岡村貢氏であった…。いよいよ話は鉄道のことに及び、その重要性を延々と説明されてから、この実現に向かって、私に協力援助を頼まれた。私はその雄大な構想に驚くとともに、いたく感激して快諾し、ここに同志として苦楽を共にし、目的を貫徹しようと誓い合った。これが私の鉄道に一生を打ち込む第一歩となった。私が二十五歳のときであった…。」

3 上越線建設運動の中断

出会ってすぐに、二人は、群馬県境の^{ひのまた}桧又沢、万太郎沢、茂倉岳、^{よもぎ}蓬峠、^{ぶのう}武能岳などの一帯を調査し、その時、桧又沢入口付近のブナの大木を削って「上越鉄道通路」と書きました。その場所は現在の清水トンネル入口付近であるそうです。その後、貢は国会議員となって運動を進めたり、上越鉄道株式会社を興して鉄道建設の準備を進めたりしていました。

しかし、日清戦争後の物価高や戦争への不安感により、上越鉄道株式会社は解散することになり、鉄道建設運動は中断してしまいました。これまで私財のほとんどを鉄道建設のために費やした貢は、^{らくたん}落胆しました。



南雲喜之七の像

4 岡村貢の意志を引継いで、^{しよし かんてつ}初志貫徹した喜之七 明治40年～

- ・伊藤博文を総裁とする政友会に入党して運動を盛り上げようとした。
- ・上越鉄道建設は、国家国防と地方経済発展のために急務なことを訴えた。
- ・衆議院に請願書を提出し、^{はらたかし}原敬、^{とこなみ}床次竹二郎（後の鉄道院総裁、喜之七の碑に歌あり）などの党の要人に協力を要請した。

○喜之七の要請により、政友会では調査を実施し、明治43年、政友会による上越鉄道建設に関する議案が帝国議会に提出されましたが、経費がかかることと、県境の山岳を貫く^{ずいどう}隧道の掘削は難工事であることから実現不可能とされました。

○大正6年、上越線建設が衆議院で可決され、大正7年に路線決定しました。その際に、中魚沼方面に決定しかけていたルートを、南魚沼側に変更させるために尽力しました。

○大正8年に着工して、昭和6年に清水トンネルが開通して全通しました。

岡村貢と南雲喜之七が桧又沢のブナの木に「上越鉄道通路」と書いてから、45年が経過していました。

5 税金のいらない土樽村を目指して

喜之七は、明治30年に土樽村の村長に就任以来、長らく村政に関わりました。政府が地租改正にあたり、国有地に編入した村有地一千町歩を返してもらうために、明治40年、土樽村は国を相手に^{きやうせい、そしやう}行政訴訟を起こしました。喜之七は訴訟代理人となって東京に滞在し裁判所の法廷で争いましたが、敗訴となりました。しかし、国との境界設定作業現場で主張を貫き、広大な村有地の確保に成功しました。ここに^{かんこう}官行造林を導入して植林し、林業で村を豊かにし、50年後の無税村土樽村を夢みました。

一株を残してかれる村人の 心もにほふ山ゆりの花

この歌は、時の鉄道院総裁^{とこなみ}床次竹二郎が、喜之七の功績を^{たた}讃えて^よ詠んだものです。

参考文献

南雲長衛（1968）「南雲喜之七の一生」

湯沢町・塩沢町（1991）「鉄道は山脈の彼方に」

細矢菊治（1987）「上越鉄道敷設に賭けた岡村貢の生涯」塩沢町歴史資料刊行会

42 若者に学問の機会を与えた 岸野俊次郎

きしのしゅんじろう

岸野俊次郎の教育に対する願いを調べましょう。



1 岸野俊次郎について

岸野俊次郎は、湯沢のために様々な努力をした人物です。



岸野俊次郎
(1872-1940)

岸野俊次郎

1872（明治5）年 長男として生まれる。

子どものころから、意志が強く、自分の考えを曲げない性格だった。無断で上京し勉学に励んだこともあった。

1890（明治23）年 「日本義塾」を設立

1891（明治24）年 「以信会」創設
「学海之浪」を創刊

1902（明治35）年 湯沢郵便局長になる。
日本義塾を閉じる。

1940（昭和15）年 死去

2 「日本義塾」の設立

岸野俊次郎は、1890（明治23）年、冬の期間に限って湯沢の子どもたちのために、「読書」「算術（算数）」「習字」「そろばん」などを教えるための塾を開き、「日本義塾」と名付けました。

どうして塾を開いたの？

当時の湯沢小学校は尋常科（小学校）しかなく、高等科（中学校）がなかったため、ほとんどの子どもが、尋常科4年だけで学校教育と縁がなくなってしまっていました。そこで「湯沢の将来のためには、教育が大切」と決心し、日本義塾を開いたのです。

日本義塾の一日

（11月～3月の冬季限定）

午前：講義、習字、読書

午後：自習

※その他、一日の出来事を詳しく書かせて、発表もさせていました。

その後、湯沢郵便局長を引き継ぐことになった岸野俊次郎は、その業務に専念するため1902（明治35）年に塾を閉じました。塾生は、約120名を超えました。塾生の中には、佐藤喜一郎（後の湯沢村長）、上村重作（後の神立村長）、湊屋（後の白瀧酒造）の高橋藤三郎、など湯沢の発展に力を注いだ人物がいました。

3 以信会^{いしん}の創設と「学海之浪」^{がっかいのなみ}の創刊

当時の日本では、外国に負けない国を作るために「教育は最重要」と考え、教育の制度を整えていましたが、地方では、中・高等教育を受けられる若者が限られている状況がありました。しかし、地方でも新しい知識を得たいと願う若者が増えてきました。

俊次郎本人も、東京での勉強を希望して上京しましたが、家の事情で湯沢に帰ってきたという経歴がありました。そこで、「誰にでも勉強できる機会を与えたい」と考えたのです。



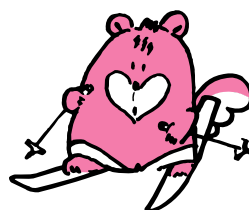
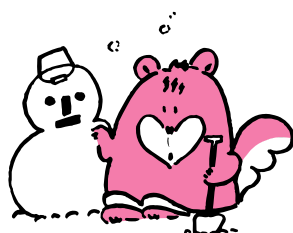
まず、岸野俊次郎は、「家の事情に関係なく思う存分東京で勉強ができる青年」ではなく、「勉強する意欲がありながら、家の事情で中等教育を受ける機会のない全国の青年」を対象に以信会を創設、「学海之浪」を創刊しました。そして、以信会の会員に雑誌「学海之浪」を通して、高い知識を身に付けさせようとしたのです。

以信会の会員は、全国各地に分布しており（以下の表）、「学海之浪」の発行部数は、6500部にもなったといわれています。湯沢での岸野俊次郎の教育が全国各地に広がっていったといえます。

「以信会」会員の全国分布（主な都道府県）

群馬県	83人	茨城県	81人	千葉県	74人	長野県	42人
新潟県	40人	秋田県	34人	富山県	29人	鹿児島・福島県	25人

その他（北海道、大阪、香川、）を合わせると、約800人にもなります。



4 いちなん 一楠記念館

日本義塾の塾生たちが、^{しょうとくひ}頌徳碑（偉い人を褒めたたえる碑）を建てる計画を岸野俊次郎に話しました。しかし、岸野俊次郎は、その計画を断りました。そして、その費用で、1930（昭和5）年、諏訪神社境内に「一楠記念館」を建設しました（現在ありません）。記念館には、自分が所有していた乃木将軍（日本の有名な軍人、教育者）の書や甲冑、^{かつちゆう}刀剣などを寄付しました。岸野俊次郎が寄付した品は、当時の価格で7,950円でした。記念館の建築費が2,372円であったことと比べると、その価値の大きさが分かります。



一楠記念館

一楠記念館の建設にも分かるように、「自分のことよりも、湯沢のため、次の世代の子どものため」に生きた岸野俊次郎でした。

5 岸野俊次郎のその他の実績

- ・ 東電発電所を誘致＝村営電気事業を実現した。
- ・ 当時の湯沢温泉の他に新温泉の開掘を提唱した。
- ・ 百体観音像（現在も湯沢町の山に点在する観音像）を安置することを提案したといわれている。

→岸野俊次郎は今日の湯沢町の発展の基礎を築いた人といえます。

みんなで考えよう

岸野俊次郎が日本義塾を開いたのは、なんと19歳の時です。また、教育するだけでなく、湯沢の発展のために様々な活動をしました。そこまでして、子どもや湯沢のために努力したのは、どうしてでしょう。おそらく、ふるさと湯沢に対する郷土愛、そして未来の湯沢への熱い思いがあったからでしょう。岸野俊次郎の生き方から、あなたは何を学びますか。

参考文献

湯沢町史編さん室（1978）「湯沢町史 通史編 下巻」湯沢町教育委員会
岸野長雄（1992）「ふるさと探訪記録 湯沢町の古跡を巡る」湯沢町公民館
湯沢町史編さん室（2001）「湯沢町史 双書2、町史研究ゆざわ（1）」湯沢町教育委員会

43 湯沢と南魚沼をまとめた町長 角谷虎繁

初代湯沢町長、^{すみ や とら しげ}角谷虎繁はどんな人物だったのでしょうか。



○1955年（昭和30年）

湯沢村、^{かんだつ}神立村、^{つちたる}土樽村、^{みつまた}三俣村、三国村の5村合併により湯沢町となりました。
湯沢町初代町長に角谷虎繁が^{しゅうにん}就任しました。



角谷虎繁（1888—1968）

1888（明治21）年4月18日、神立村戸沢に生まれました。

体は小がらでしたが、頭の回転が早く、動作も^{きびん}機敏で、指導力があり、生活態度はとても勤勉でまじめでした。

18才で志願（自分から希望）して、軍隊に入りました。軍隊で培った自動車運転の技術を生かし、運転手をしました。その後、和歌山県で自動車営業を始め、周りの人たちから深い信頼を集め、業界の大切な仕事を行い、自動車業界の発展に力を^つ尽くしました。

1949（昭和24）年、故郷にもどり、赤字経営で行きづまっていた神立村農協の建て直しに取りかかりました。昭和26年には神立村長に選ばれ、町村合併の話が起きると率先して^{そっせん}押し進め、5か村の合併に^{ほんそう}奔走しました。

1955（昭和30）年4月、初代湯沢町長に選ばれて就任、以後4期連続当選して新しい町づくりに取り組みました。

すぐれた知識と広い視野をもち、度胸があり、だれにでも気さくに接しました。また、たいへんな読書家で、いつも書物を持ち歩いて、時間があれば読書している姿が見られました。町民だけでなく、皆に敬愛^{けいあい}されました。

1968（昭和43）年7月、自宅で病にたおれ、そのまま^{ねん}帰らぬ人となりました。享年79才でした。

○湯沢町に残した功績

湯沢町の第一の産業として、特に観光に力を入れて取り組みました。

- ① ^{おみね}大峯山の開発
- ② 苗場国際スキー場の^{ゆうち}誘致
- ③ 都市計画の実施 など

角谷虎繁町長は、幅広い^{しきく}施策を実行し、新しく生まれた湯沢町の今後の方向を示し、その^{きそ}基礎をうち立てました。

44 谷川連峰の登山者を守った 高波吾策

たかなみ ごさく
高波吾策の願いは何であったのでしょうか



1 世界一多くの遭難者が出た山

谷川岳は、天候が変わりやすく、アルプスやヒマラヤの岩場に匹敵するすごい岩場があるため、世界で最も多くの遭難者(八百人以上)を出しています。その数は、ギネスブックでも認定されています。



朝日岳から見た谷川岳と一ノ倉沢の岩場

2 登山とスキーに明け暮れた青年時代

高波吾策は、中学卒業後、東京で働いていましたが、会社を休んでは、登山やスキーに打ち込んでいました。吾策は腕の良い技術者でしたが、勤めをやめて「山とスキー」で暮らせないかと考え、当時、群馬の土合には国鉄山の家があったので、まだ何も無い土樽へ住むことに決めました。結婚して長男が生まれようとしている時期であったため、兄や親戚から反対されました。

母の励まし

「自分のしたいことに命をかけるのが男。お前がその気なら止めはしません。山に入っても人のためになることはできるのだから。」

3 登山者を山で死なせてはならない

谷川岳は、1931（昭和6）年、上越線開通までは知られていませんでしたが、国鉄の宣伝もあり、関東から「近くてよい山」といわれ、脚光を浴びるようになりました。

終戦後、谷川岳の遭難者が急増してきました。吾策は多くの遭難者と向き合う中で、「魔の山」と呼ばれた谷川岳から、魔の字を取るために、山岳救助や新道の開削、山小屋の建設に尽力しました。



高波吾策（1911－1971）

<吾策の願い>

「山を愛する初めは、先ず山を知ることである。山を愛する者は、その山で死んではならない。」

「おれは山が好きだから、山で死ぬのは本望だ、という登山者がいるが、とんでもない心得違いである。」

4 吾策の功績

朝早く到着する登山者が寝不足から遭難しないよう、朝から山小屋を開けた。スキーの指導にも情熱を傾けた^(注1)。

谷川岳の気象変化の激しさから登山者を守るために避難小屋の必要性を説いた。そして、毛渡沢乗越と茂倉岳の稜線、蓬峠の3つの避難小屋建設を実現させた

群馬県所有の肩ノ小屋と平標小屋を含めた5つの避難小屋に遭難防止の鐘を設置した。この鐘は山仲間から寄付されたもので、音色は4km四方に届くといわれる。

安全に登山ができるように蓬新道、茂倉新道、吾策新道、平標新道、谷川新道の5本の登山道を開いた。

小柄でひげをたくわえ、威勢がよく、お酒好きで、その人柄は皆から愛され慕われました。谷川岳を守った功績から、厚生大臣や内閣総理大臣から表彰をされました。また、山仲間からは、生前に胸像を贈られ、功績を讃えられましたが、昭和46年3月、病のため60年の生涯を閉じました。



遭難防止の鐘（谷川岳肩ノ小屋）

5 高波吾策の生涯

- | | |
|----------------------|---|
| 1911（明治44）年 | 津南町高波栄太郎の四男として、横浜で生まれる。 |
| 1924（大正13）年 | 高田中学に入学する。（昭和4年、卒業） |
| 1940（昭和15）年 | 輝子と結婚、五男一女をもうける。営林署の倉庫を山小屋にしたて、土樽での生活を開始する。 |
| 1942（昭和17）年 | 蓬新道を開削する。 |
| 1944（昭和19）年 | 猪谷千春一家が半年、山荘で過ごす。 ^(注2) |
| 1952～1955（昭和27年～30）年 | 茂倉新道、吾策新道、平標新道を開削する。 |
| 1962（昭和37）年 | 念願の谷川新道を開削したが、雪崩や落石で廃道となる。この道の再開が夢であった。 |
| 1964（昭和39）年 | 厚生大臣表彰、翌年に総理大臣表彰を受ける。 |
| 1968（昭和43）年 | 山仲間の尽力により高波吾策の胸像が完成する。 |
| 1971（昭和46）年 | 60年の生涯を閉じる。 |

注1 世界選手権や国際競技大会で活躍した園部勝選手らスキー選手を指導する。

注2 猪谷千春：日本人初の冬季五輪メダリスト（回転競技で銀メダル）

45 湯沢初オリンピック選手 南雲美津代

南雲美津代さんは、湯沢で初めてオリンピックに出場した選手です。世界の舞台で活躍する裏には、どのような決断や苦労があったのでしょうか。



南雲美津代

1951年11月28日生
湯沢町湯沢（上熊野）
出身
湯沢町神立在住

経 歴

- ・ 中学1年から本格的にアルペンスキーを始める。
- ・ 中学1年の時に県大会で優勝する。
- ・ 中学3年の時に札幌オリンピックに向けてジュニアの強化選手に選ばれ、全日本の合宿に参加する。
- ・ 高校3年生時、3年間休学し、単身アメリカへ渡る。
- ・ 海外遠征を経て、20才の時、札幌オリンピック（1972年）代表に選ばれ出場する。
- ・ オリンピック後六日町高等学校3年へ復学し、卒業する。
- ・ 卒業後も競技を続け、24才で再びインスブルックオリンピック（1976年）のアルペン代表（女子一人）に選ばれる。
- ・ オリンピック直前のW杯で膝の^{ぜんじゅう}前十字^{じんたい}靭帯^{だんれつ}断裂等のケガをしたため出場できず、帰国後に引退する。
- ・ 全日本のコーチを経て現在に至る。現在は、白井美津代となっている。

オリンピック ～美津代さんのお話～

どのように 選ばれたのか

強化選手に選ばれ、40人位いた中から更に絞られていき、5人のうちの一人に選ばれた。



初めて出た感想

オリンピックに出ているんだな、という実感はあった。舞い上がって自分の力が発揮できなかった。

オリンピックは どういう所？

4年に一度しかないので、そこにピークを合わせると難しさがある。

当時のオリンピックは？

アルペン競技は、札幌の一つ前の大会からようやく競技になった。アルペンは3種目あるので、楽しむ暇はなかった。



（写真はワールドカップ出場時のもの）

今の子どもたちへのメッセージ

昔は今みたいにゲーム等がなかったから、外で思い切り遊んでいた。冬は雪で遊ぶしかなかったから、スキーをしたり、スコップを持って雪で穴を掘ったりして、自然と体が作られていったように思う。

競技を始めていけば、その頂点に立つことが夢だと思う。夢のために何をしなければいけないか、何を我慢しなければいけないかを考えていた。その時その時の目標をもち、次のステップへの目標が見えてくるから一生懸命になれる。今の時代は遊びもスポーツも多種多様であるが、その中で一生懸命になれるものがあると楽しいし、我慢することも覚える。昔は、これをしなければいけないとなったら、何かを我慢してそれに向かっていった。そういう気持ちが大切だと思う。そういうふうを考えて一生懸命頑張るから、オリンピックに出られるようになっていくのだと思う。スポーツに限らず、夢をもち、夢のために何をしていくかを考えて過ごしてほしい。

一番大きなけがは？

24才の年のW杯でのけが。1日目がよかったので、いけいけムードで2日目に勝負をかけた。ゴール直前で足をとられて転び、ゴールエリアの堀を乗り越えていった。前十字韌帯を断裂した。

人生の転機は？

高校に入った年に、海外遠征に行くことを決めたこと。オリンピックの強化選手に選ばれ、他の選手は海外へ行っていた人も多かった。このままここにいいのかすごく悩んだ末に、単身アメリカに渡った。



サンモリッツ世界選手権代表(写真左)

Q&A

一番印象に残っている大会は？

けがをしたときのW杯の大会。その頃はW杯に出ている20位以内に入るようになり、3種目ともようやく世界と戦える見通しがもて、のっている時期だったが、インスブルックオリンピックに出られなくなったから。

一番緊張した大会は？

高校1年の時のインターハイ。初日大回転で優勝したので、2日目の回転でも勝たなければいけないと緊張した。初めて足が、がたがた震えた。それ以後は足が震えるような緊張はない。



苗場ワールドカップ(1973年)

エピソード

高校時代は海外遠征でほとんど学校に来られない美津代さんのために、クラスメートで分担してノートをとってテスト前に渡していました。テストの2,3日前に来て、ほとんど一夜漬けの勉強でテストを受けていましたが、いつも成績は上位でした。

クラスメートは、海外で活躍する美津代さんを誇りに思い、みんなでバックアップしようという気持ちが強かったと思います。(六日町高校同級生談)

その後の湯沢町にゆかりのあるオリンピック選手

かしわぎ くみこ
柏木久美子

長野 ソルトレークオリンピック

みながわけん たろう
皆川賢太郎

長野 ソルトレーク トリノ(4位入賞) バンクーバー

しもやま けんろう
下山 研郎

ソルトレーク(フリースタイルモーグル出場)

かわむら
川村あんり

(湯沢学園出身) 北京(フリースタイルモーグル5位入賞)

湯沢町出身のオリンピック選手を調べてみよう。



参考文献

南雲美津代(1978)「おんなスキー本道 競技スキーへの挑戦」ベースボールマガジン社

46 経済効果を計算しよう～親子で1泊2日した場合～

湯沢町には、たくさんの観光客が訪れます。そこで、次のような場合、湯沢町にはどれくらいの経済効果があるのか計算してみましょう。

条件1 親子（大人2人、子ども2人）が1泊2日する。

条件2 観光の日程は、次の表のとおりである。

経済効果とは

あることをした時に、それに関連したお金がどのくらい動くかを予測したもの

1日目	2日目
10:00 湯沢に到着する。	9:00 「フィッシングパーク」で釣りを
11:00 「アルプの里」でボブスレーをする。	する。
12:00 昼食をとる。	12:00 昼食をとる。
「アルプの里」でマウンテンゴー	13:00 OKKYを見学する。
カートをする。	15:00 街道の湯で温泉に入る。
14:30 足湯「かなっくり」で休憩する。	16:30 おみやげやさんで、おみやげを買う。
15:00 「雪国館」を見学する。	17:00 湯沢を発ち自宅へ帰る。
17:00 旅館に宿泊する。	

条件3 湯沢の主な観光地の料金

(R3.10月現在)

観 光 地	大人料金	子ども料金
①アルプの里（ボブスレー、ゴーカート代も含む）	3,600円	2,200円
②ドラゴンドラ（苗場スキー場）	3,500円	2,000円
③昼食代	1,300円	1,000円
④おみやげ代（温泉まんじゅう）	1,000円	
⑤足湯 かなっくり ※湯沢駅西山通り	無 料	
⑥雪国館	500円	250円
⑦フィッシングパーク（貸し竿、えさ、針代含む）	2,950円	2,950円
⑧OKKY	無 料	
⑨街道の湯	600円	250円
⑩湯沢中里フォレストアドベンチャー	3,900円	2,900円
⑪大源太湖カヤック体験	7,800円	5,800円

条件4 湯沢の宿泊施設の料金は、次のとおりとする（一例）

1泊2食付き 大人1名 18,000円 子ども1人 13,000円

ポイント1～4を参考にして、計算してみましょう。親子が1泊2日すると、湯沢町には、どれくらいの経済効果があるのでしょうか。

チャレンジ!!

自分だったら、どんな日程をたてますか。予算85,000円以内で考えてみましょう。

☆解答は106ページにあります。

47 湯沢高原ロープウェイの輸送能力

湯沢高原ロープウェイが1時間で運べる人数は？

湯沢高原スキー場には、季節を問わず多くの観光客が訪れます。

そこで、多くの観光客を頂上に運ぶために「湯沢高原ロープウェイ」が大活躍します。

ロープウェイは、1時間に何人の観光客を運ぶことができるでしょうか。

条件1

湯沢高原ロープウェイの運行表

毎時

00分

20分

40分

1時間に
3回運行！

条件2

1回に運べる人数

約130人

※設計上、最大166人
だが、安全を考慮して
人数を制限している。



ちなみに…
ロープウェイの出発地点と到着
地点の高低差は約500mです。

※「166人」の場合も計算をしてみましょう。

48 飯士山の標高

飯士山の標高は？

飯士山の標高は、「1,111.8m」
です。小数第1位を四捨五入する
と、標高は何mになるでしょうか。

他の山の標高を、小数第1位を
四捨五入して求めてみましょう。

○三国山 1,636.4m

○平標山 1,983.7m

○苗場山 2,145.3m



飯士山の北面には
「舞子スキー場」が広
がっています。

飯士山の南面には「岩原ス
キー場」が広がっています。

ちなみに…
姿が富士山に似ていることから別
名「上田富士」と呼ばれています。

チャレンジ!!

☆それぞれの標高を、小数第1位を「切り上げ」や「切り捨て」にして求めてみましょう。

☆飯士山の標高を、小数第1位を切り捨てて求めると、1,11□mです。平成

11年11月11日には、多くの登山客が飯士山を訪れたそうです。

49 毘沙門堂（多聞神社）の大杉と石段

大杉の直径を求めてみましょう。



大杉

測るところによって太さが違うから、自分たちでも測りに行って調べてみましょう。天狗杉の周りの長さはどれくらいでしょう。

神立の毘沙門堂の境内には三本の^{びしゃもんどう}大杉があり、それぞれ大杉、^{けいだい}観音杉、^{かんのおん}天狗杉と呼ばれています。樹^{じゆ}齢^{れい}300年以上で、それぞれ湯沢町指定天然記念物になっています。



円周から大杉や観音杉の直径を求めてみましょう。

$$\text{直径} = \text{円周} \div 3.14$$

「大杉」の周囲は 約8 m50cmです。

「観音杉」の周囲は 約6 m25cmです。



観音杉



天狗杉

毘沙門堂の石段の高さを求めましょう。

毘沙門堂の石段は、表側に51段（頂上まで）あります。

表側の1つの石段の高さは、約15.5cm～19.5cmです。

頂上までどれくらいの高さがあるか調べてみましょう。



例 石段を自分たちで一つ一つ測って調べる。

石段の高さを17.5cmとして計算する。

およその数で計算する。



湯沢学園から歩いて5分だよ!!



いろいろなやり方で比べてみて、どれくらい違いがあるか確かめてみましょう!



50 松川のJRループ線の長さ、岩原スキー場の面積

地図を使って計算しましょう

下の地形図を見て①②の問題を計算しましょう。

①松川のループ線は、どの位の長さがあるのでしょうか。

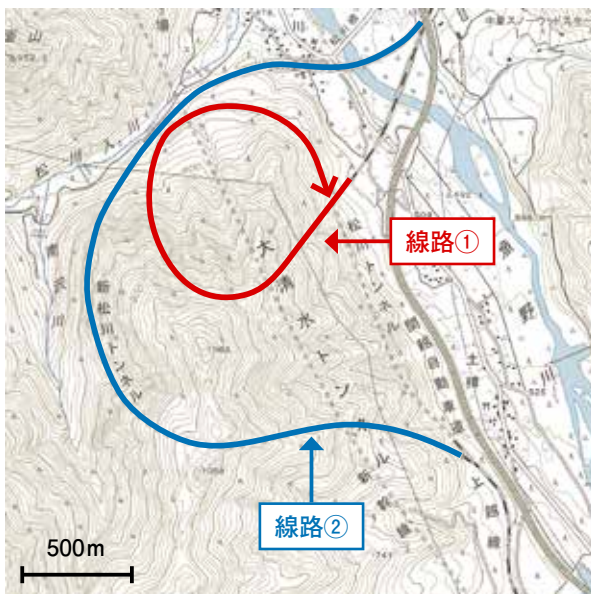
地図1を見て計算で求めてみましょう。

- 1) 線路①は、直径を計って円周を計算しましょう。
- 2) 線路②は、半円と考えて計算しましょう。

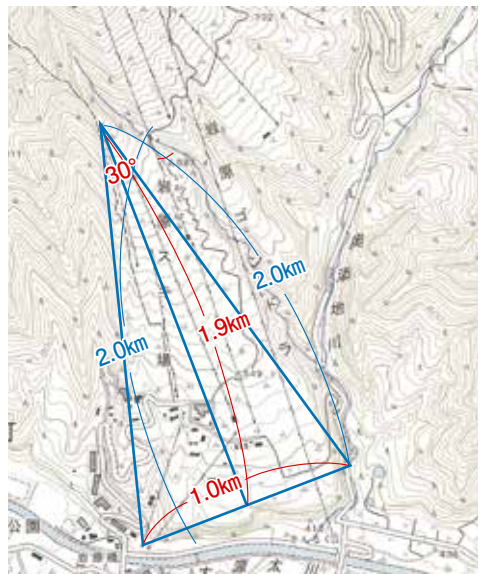
②岩原スキー場の面積は、どの位あるのでしょうか。

地図2を見て、計算で求めてみましょう。

- 1) 扇形と考えて計算してみましょう。
扇形の面積 = 半径 × 半径 × $3.14 \times \frac{\text{中心角}}{360^\circ}$
- 2) 三角形と考えて計算してみましょう。
底辺 × 高さ × 2分の1



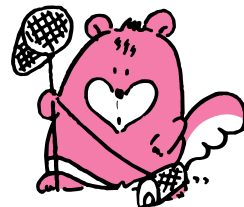
地図 1



地図 2

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平25情複、第718号)

おもしろい線路
だなあ～!!



☆解答は107ページにあります。

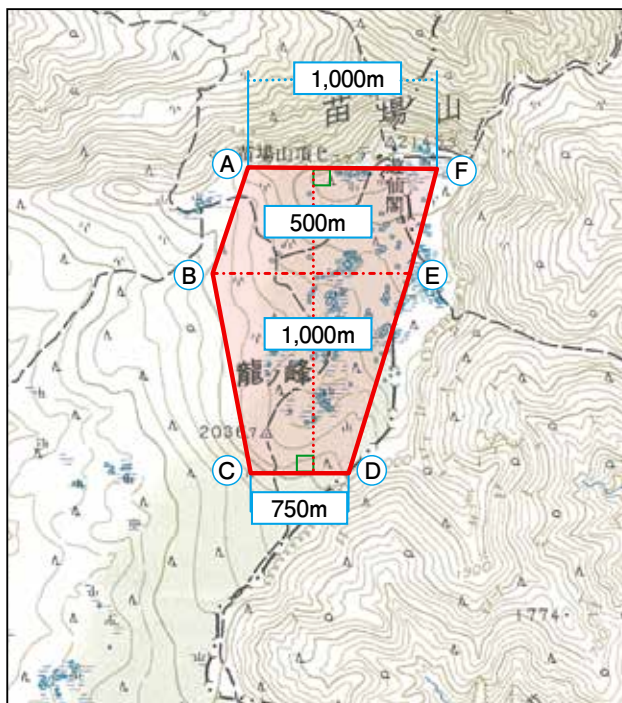
51 苗場山の山頂部の面積

苗場山は、頂上付近に広大な湿原が広がっていることで有名です。平坦な湿原に数多くの水たまりがあって、田んぼの形の中に苗を植えたように植物が茂っていることから、「苗場」の名が付いたともいわれています。

さて、次の図は苗場山の山頂の地形図です。山頂部が図のような形だとすると、その面積は何 km^2 になるでしょう。

なお、辺(A)(F)、辺(B)(E)、辺(C)(D)はすべて平行であり、辺(A)(F)と辺(B)(E)の長さは等しいものとします。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平25情復、第718号)



52 湯沢町の人口密度 ～他の市区町村と比べてみよう～

右の資料をもとに、湯沢町の人口密度を求めましょう。答えは四捨五入して小数第1位まで求めましょう。

湯沢町の人口 (H29)	8,123人
湯沢町の面積	357 km^2

新潟県で最も人口密度が高い市区町村は、新潟市の中央区です。その人口と面積は右の通りです。人口密度を求めましょう。

中央区の人口 (H29)	176,430人
中央区の面積	37.4 km^2

また、日本で最も人口密度が高い市区町村は、東京都の豊島区です。その人口と面積は右の通りです。人口密度を求めましょう。

豊島区の人口 (H29)	286,824人
豊島区の面積	13 km^2

湯沢町とはずいぶん違うことが分かりますね。

☆解答は107ページにあります。

参考資料 広報ゆざわ、新潟市ホームページ、東京都ホームページ

53 観光客とスキー客数の推移

◎観光客合計とスキー（客）の推移を折れ線グラフで表しましょう。

目的別	温泉	名所旧跡	スキー	登山	レジャー	行事	文化施設	釣り	キャンプ	スポーツ	観光客合計	記事
年度	湯沢地区 町営他	三國峠 山鳥原公園	苗場・岩原 神立・中里 湯沢高原他	苗場山 平標山 谷川岳	アルプ フィッシングパーク オーロラゲール	雪まつり 夏まつり 他	雪国館 OKKY 他	清津川 魚野川	青少年旅行村	テニス ゴルフ他		
57	764,900		3,476,200	41,300		3,000			14,000		4,936,800	上越新幹線開業57.11.15
58	759,000		3,724,100	40,500		2,500			17,900		5,179,300	59豪雪
59	718,600		3,968,500	41,900		2,500			19,000		5,396,300	湯沢IC59.11 新幹線上野乗入60.3
60	853,900		4,517,400	42,500		2,500			22,800		6,111,600	関越自動車道全線開通60.10
61	915,300		5,008,200	42,300		2,400			26,400		6,713,200	神立高原オープン61.12 岩原ゴンドラオープン62.1
62	939,700		5,476,900	41,500		2,300			25,800		7,215,600	年末年始異常少雪
63	981,900		6,152,900	35,100		5,500			11,100		7,899,100	スキーシーズン異常少雪
元	999,700		6,628,600	34,600		9,000			14,400		8,326,600	スキーシーズン異常少雪
2	1,183,000		7,402,700	30,000		11,000			14,000		9,350,500	加山キャブコンコースオープン2.12 ガーラオープン2.12
3	1,228,000		7,963,000	32,000		54,000			24,000		10,025,000	年末年始異常少雪 166人乗ロープウェイ3.12
4	1,229,000		8,181,000	30,000		46,000			16,000		10,456,000	ナスバ(宿泊のみ)オープン4.12
5	1,156,000		7,605,000	17,000		46,000			16,000		9,714,000	ナスバ全面オープン
6	1,242,000		7,202,000	24,000		32,000			23,000		9,431,000	
7	1,362,000	2,000	7,344,000	25,000	498,000	30,000	16,000	9,000	14,000	377,000	9,677,000	2月異常少雪 15スキー場スノーボー受入
8	1,436,000	2,000	6,825,000	30,000	501,000	41,000	53,000	7,000	20,000	322,000	9,237,000	年末年始異常少雪
9	1,405,000	4,000	6,091,000	33,000	574,000	76,000	76,000	13,000	21,000	288,000	8,581,000	異常少雪 景気低迷
10	1,376,000	7,000	5,880,000	40,000	579,000	44,000	73,000	13,000	19,000	246,000	8,277,000	夏期天候不調 景気低迷
11	1,402,000	12,000	5,654,000	47,000	524,000	42,000	79,000	12,000	14,000	231,000	8,017,000	年末年始2000年問題 個人消費低迷
12	1,341,000	11,000	5,189,000	50,000	493,000	99,000	64,000	14,000	17,000	199,000	7,477,000	
13	1,312,000	11,000	5,139,000	63,000	533,000	123,000	62,000	14,000	22,000	193,000	7,478,000	湯沢フィールド音楽祭 登山人気
14	1,248,000	10,000	4,875,000	62,000	451,000	139,000	56,000	14,000	26,000	193,000	7,074,000	天候不順(休日降雨・早期降雪)
15	1,233,000	13,000	4,311,000	44,000	399,000	230,000	57,000	14,000	25,000	184,000	6,510,000	足湯オープン7.21 降雪遅い イベント多数
16	1,175,000	11,000	3,836,000	45,000	362,000	157,000	48,000	14,000	26,000	158,000	5,832,000	体験工房「大源太」オープン7.1 10.23中越大地震
17	1,115,100	11,200	3,177,300	37,000	321,900	173,800	42,000	14,300	24,400	157,000	5,074,000	10.16観光立町宣言「あがり」と湯沢の日制定 18豪雪
18	1,064,400	12,200	2,927,700	35,400	329,000	190,600	43,000	14,400	27,400	145,900	4,790,000	異常少雪
19	986,500	13,100	2,938,200	35,000	314,300	178,500	39,000	14,200	25,200	157,400	4,701,400	7.16中越沖地震 インターハイ開催(苗場)
20	963,200	11,300	2,741,200	34,000	319,400	168,700	34,700	14,500	36,200	111,400	4,434,600	原油価格高騰 景気低迷 冬季団体開催
21	1,039,300	11,700	2,495,100	37,000	298,600	167,700	34,800	14,700	42,400	135,800	4,277,100	大河ドラマ「天地人」放映 トキめき新潟国体 JR新潟DC
22	916,700	14,300	2,099,100	32,800	283,300	167,300	28,500	13,700	43,700	133,700	3,733,100	夏季猛暑 年末小雪 3・11東日本大震災
23	865,600	11,600	2,347,500	32,100	291,700	159,500	29,400	13,400	38,800	145,900	3,935,500	3・11東日本大震災風評被害 H23豪雪
24	935,400	15,300	2,567,200	37,100	281,100	180,000	26,800	15,000	47,300	148,500	4,253,700	大地の芸術祭 2013降雪順調
25	1,094,400	18,900	2,394,100	38,100	346,800	142,100	26,200	13,400	41,100	136,400	4,251,500	ソチオリンピック 2・8・2・14関東甲信越記録的大雪
26	941,500	58,700	2,569,000	35,100	386,000	139,800	26,300	14,500	4,000	147,000	4,321,900	12月上旬よりまとまった降雪 年末大雪 神立高原再開
27	996,400	62,000	2,462,700	36,200	433,400	146,800	28,600	14,500	4,600	148,500	4,333,700	ワールドカップアルペンスキー苗場大会2月開催、少雪の年
28	1,008,800	65,200	2,472,900	37,200	451,800	162,300	27,700	14,400	4,700	153,200	4,398,200	熊本地震 登山・バックカントリー人気

この数字を使ってグラフを作ろう

この数字を使ってグラフを作ろう

54 越後湯沢駅をウォッチング

越後湯沢駅の乗車人員の推移を折れ線グラフで表してみましょう。



乗車人員推移	
年度	一日平均乗車人員
2004	2,818
2005	2,760
2006	2,660
2007	2,861
2008	2,811
2009	2,936
2010	2,745
2011	2,729
2012	3,006
2013	3,050
2014	3,086
2015	2,905
2016	2,996



この乗車人員には、上越新幹線と「はくたか」など
在来線を乗り継ぐ乗客の数は改札を通らないため、基本的に含まれません。そのため、実際の越後湯沢駅の鉄道利用者数よりも少ない数になっています。



☆解答は108ページにあります。

55 関越自動車道 湯沢インターチェンジの交通量

関越自動車道	
総距離	246.3km
制定年	1973年（昭和48年）
開通年	前橋－湯沢間開通により 全線開通1985年（昭和60年）
起点	東京都練馬区（練馬IC）
主な 経由都市	所沢市、川崎市、深谷市 高崎市、前橋市、沼田市 南魚沼市、魚沼市、小千谷市
終点	長岡－（長岡JCT）



関越自動車道が開通して湯沢町にどのような変化があったでしょうか。

- 以前の生活とかわったところやよかったこと、困ったことについて、話し合ってみましょう。
- 関越自動車道利用台数の変化から、どのようなことが考えられるでしょう。

関越自動車道は、谷川連峰を貫いて東京と新潟県を結ぶ高速道路であり、上越新幹線とともに首都圏と日本海側を結ぶ高速交通網として重要な機能をもっています。また、藤岡JCTから上信越自動車道（関越自動車道上越線）が分岐しており、首都圏と長野県北信地方・東信地方を結ぶ高速交通網の一部でもあります。

日本有数の豪雪地帯を貫いており、沿線（上越エリア）には多くのスキー場が存在し、首都圏とこれらのスキー場を結ぶ高速道路です。このため、冬期に通行困難となる並行一般道救済のために追加設置されたICが多くあります。また、首都圏の放射方向の高速自動車国道の中では唯一、首都高速道路との直接接続がなかったため、特に冬季の練馬ICにおける大渋滞が慢性化していましたが、近年、東京外環自動車道と接続されて解消されてきました。水上IC－湯沢ICには、山岳道路トンネルとして日本最長の関越トンネルがあります。

下のデータをもとに、湯沢インターチェンジ出入交通量の推移を折れ線グラフで表しましょう。



<関越自動車道 湯沢インターチェンジ出入交通量>

年度 (4月～翌年3月)	総台数	年度 (4月～翌年3月)	総台数	年度 (4月～翌年3月)	総台数
昭和62年度	1,663,378	平成9年度	2,573,105	平成19年度	2,036,126
昭和63年度	2,156,681	平成10年度	2,472,087	平成20年度	2,054,319
平成元年度	2,163,591	平成11年度	2,404,306	平成21年度	1,966,364
平成2年度	2,272,429	平成12年度	2,312,509	平成22年度	1,927,882
平成3年度	2,357,426	平成13年度	2,247,180	平成23年度	1,821,148
平成4年度	2,597,948	平成14年度	2,236,556	平成24年度	2,007,893
平成5年度	2,533,781	平成15年度	2,160,564	平成25年度	2,000,952
平成6年度	2,509,776	平成16年度	2,059,059	平成26年度	2,005,035
平成7年度	2,519,468	平成17年度	2,057,019	平成27年度	2,083,830
平成8年度	2,633,081	平成18年度	2,019,616	平成28年度	2,052,243

「東日本高速道路(株)新潟支社 湯沢管理事務所提供」

☆解答は108ページにあります。

56 ダムの水が山を登る 奥清津揚水式発電所

苗場・田代高原にかかるドラゴンドラに乗ると、眼下に満々と水をたたえた二居湖が見えます。その水が夜になると山を登るというのです。いったいどういうことなのでしょう。

日本最大級の揚水式水力発電所（電源開発株式会社 奥清津電力所）

雄大な自然の中にそびえる二居ダムと神秘的な調整池。展示ルームと最新の発電設備が体験できる「OKKYミュージアム」。緑広がるのびのび広場。建設時代にタイムスリップできる「水の路」。OKKYは水と緑あふれる湯沢の観光スポットです。



カッサ調整池（上池、田代湖）

昼は発電、夜は揚水

揚水発電所は、上池と下池の二つの調整池をもっており、奥清津発電所では上池がカッサ調整池、下池が二居調整池となっています。その間の落差470mを利用して、奥清津発電所と奥清津第二発電所の2つの発電所により、最大160万kW（キロワット）の発電を行っています。

奥清津発電所、奥清津第二発電所の二つの発電所で作られた電気は、東京電力

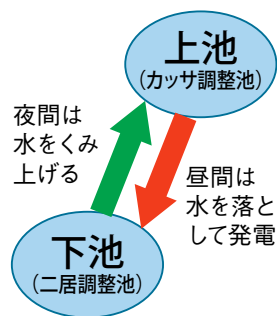
の新新潟幹線（送電設備）により、東京方面へと送られていきます。奥清津発電所の運転は、以前は発電制御室で直接行っていましたが、平成5年4月から、埼玉県川越市にある東地域制御所からリモートコントロールで行う方法に変わりました。

電力需要の大きい昼間は、上池から下池へ水を落として水車を回転させ、電気を作ります。一方、電力需要の少ない夜間には、ベース電源で起こした電気を利用して下池から上池へと水をくみ上げ、翌日の昼間の発電に備えます。

揚水発電は、昼間に使用する電気を生み出すために、夜の電気を水の形で上池に貯蔵しているのです。

揚水発電所の夜間電気を使って昼間に電気を作る働きにより、1日の電力消費量が平均化され、発電設備全体の利用効率、投資効率を上げることができます。

揚水発電は、運転の開始から最大出力になるまでわずか数分です。水路の弁を開け閉めするだけで、簡単に、しかもすばやく出力の調整を行います。抜群の機動力で、刻一刻と変化する電力需要に対応できる揚水発電は、「ピーク電源」のエースといえるでしょう。（ピーク電源については、後ほど説明します。）



※9ページ写真参照

電源のベストミックス

電気は、複数の発電所で作ったものを合わせて使っています。この最もよい組み合わせをベストミックスと言います。発電所には火力、水力、原子力など様々な種類があります。電気を安定的に安く供給するには、それぞれの発電所の特性を生かして、最適な組み合わせで電気を作っていく必要があります。



二居調整池（下池、二居湖）

発電所の特性は大きく3つに分けられます。1日中ほとんど同じ出力で運転する発電所を「ベース電源」といい、原子力、石炭火力などが代表的です。「ピーク電源」は電力需要の大きい昼間の時間帯だけ運転する発電所で、揚水発電やガスタービンが挙げられます。「ミドル電源」はピーク電源とベース電源の中間的な位置にあり、LNG火力などがあります。

揚水発電は、このベストミックスの中で、ピーク電源として重要な役割を担っています。

上池のカッサ調整池も下池の二居調整池も人工的に造られた池ですが、いつの季節に訪れても自然と織りなす美しさに魅了されます。それぞれ「カッサ（田代）湖」「カッサ（田代）ダム」、「二居湖」「二居ダム」などの通称もあります。

特に冬、雪の白と湖の青の色彩、遠く^{しきさい}の山々との調和は格別です。みつまたかぐらスキー場から田代かぐらスキー場へ向かって、またその逆からロープウェイやリフトを乗り継いでいくと、カッサ調整池が広がります。片道22分のドラゴンドラに乗れば、行きも帰りも二居調整池の風景を楽しめます。

総発電量160万kWの電気ってどれくらい？

一般家庭150万世帯分の電力です。ちなみに湯沢町は3408世帯(H25)です。つまり、湯沢町全世帯の約440倍分の電力になります。

奥清津発電所	：25万kWの発電機4台で100万kW	} 総発電量160万kW
奥清津第二発電所	：30万kWの発電機2台で60万kW	

ただ、夜間に下池から上池へと水をくみ上げるために、昼間に上池から下池へと水を落として発電する電力の1.3倍を必要とします。発電できる電力よりも多くの電力を使って水をくみ上げてまで、発電を続けるのはなぜでしょう。それは、昼間の電力不足を補うことが、今の日本にとっていかに重要であるか、ということに他なりません。

57 湯沢町の高齢者福祉施設

高齢者が安心して暮らせるために、湯沢町にはどんな施設があるのでしょうか。

ゆのさと園



新潟県南魚沼郡湯沢町神立1647-275

特別養護老人ホームです。
居宅ケアセンターの他に、理容室や高齢者の方が入りやすい入浴設備などがあり、リハビリなどを行っています。
デイサービスもあります。
入所定員約40名

ケアハウス湯沢



新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢135-1

高齢者の方が住むための居室があり、車椅子対応の広いトイレ、キッチン、温水シャワー、ナースコールなどが設置されています。
入所定員約40名

健康倶楽部^{くらぶ}ゆざわ



新潟県南魚沼郡湯沢町大字土樽151-116

相談室、一般浴室、脱衣室、地域交流室、食堂、トイレ、ロッカー室、洗濯室などがあり、高齢者の方が住み慣れた地域で生活しています。
入所定員約50名

湯沢町総合福祉センター



新潟県南魚沼郡湯沢町湯沢2877-1

湯沢町保健医療センター内に併設されており、デイサービスなどを行っています。

他にもいくつかの施設があります。
調べてみましょう。



58 湯沢の観光地とイベント 一口メモ

湯沢高原 アルプの里

全長707mのサマーボブスレー、高原を疾走するゴーカート、爽快&絶叫のジップラインアドベンチャーなど楽しく遊べる施設が充実しています。春から秋には、お花畑に様々な花が咲きそります。

フォレストアドベンチャー・湯沢中里

自然の立ち木を利用して、木から木へと空中を移動していく自然共生型の森林アドベンチャーパーク。森の中で未知の体験を楽しめます。

湯沢フィッシングパーク

イワナ、ヤマメ、ニジマスなど、気軽に溪流釣りが楽しめるフィッシングパーク。釣った魚は、その場で炭火焼きにすることができます。

GALLAサマーパーク

山の上のフィールドエリアで人工ゲレンデを使って夏でもスキー・スノーボードが楽しめます。

湯沢中央公園

テニスコート24面の他、サッカー、野球など、様々な遊びやスポーツを楽しめます。

湯沢町レジャープール「オーロラ」

屋内と屋外にひとつずつある流れるプールやスリル満点のウォータースライダーで楽しめます。

大源太湖

大源太川を日本初のアーチ式ダムでせき止めてつくった広大なダム湖です。大源太山をはじめとした大自然に囲まれ、四季折々の景色が楽しめます。

苗場ボードウォーク

2011年から会場周辺の森林を守るため始動した「フジロックの森プロジェクト」。敷板を購入し、メッセージを入れてボードウォークに参加できます。

陶芸工房「旭窯」

陶土に初めて触れる子どもや初心者の方から、陶器作りが趣味の愛好家まで陶芸の楽しさを満喫できる陶芸工房です。

体験工房「大源太」

そば打ち・笹だんご作りなど手作りの楽しさが気軽に体験できる工房。熟練講師の指導で、子ども連れのファミリーでも安心して楽しめます。

大源太キャニオンキャンプ場

野趣あふれる林間キャンプ場。バーベキューやピザ焼き体験も楽しめます。隣接するイタリアンレストランでは、焼きたてパンや大源太ソフトクリームが人気です。

電力ミュージアム「OKKY」

ロックフィルダム、貯水池、最新式の発電設備など、揚水式発電所のしくみを、家族そろって楽しみながら学べる施設です。

トレッキング湯沢1・2

季節ごとに色を変える植物、野鳥のさえずりを間近で感じられるバードウォッチングなど、湯沢の大自然を満喫できるトレッキングコースです。

湯沢町歴史民俗資料館「雪国館」

湯沢町が舞台となった川端康成の小説「雪国」に関する展示や、「雪国」湯沢の暮らしぶりや歴史に関する資料が展示されています。2階にある茶の間の囲炉裏端に座れば、昔にタイムスリップした気分になります。

「かすみの間」文学資料室（雪国の宿 高半）

川端康成が「雪国」を執筆した「かすみの間」が残されている資料室です。眺望も見事です。

ぼんしゅ館

「新潟の地酒」をテーマにしたミュージアムです。県内の代表銘柄が試飲できるほか、酒風呂も併設しています。

CoCoLo湯沢「がんぎどおり」

越後湯沢駅に誕生した、湯沢のお土産選びに最適な名産品が集まる小路です。

瑞祥庵

土樽地区にある曹洞宗の寺です。その楼門に安置される二体の仁王像は、石川雲蝶の入魂の作です。

雪国アグリパーク「湯沢いちご村」

甘くておいしい新潟県限定品種のイチゴ「越後姫」を摘んで楽しめる農園です。

ドラゴンドラ

99ページの「湯沢町のランキングあれこれ」参照

田代ロープウェー

99ページの「湯沢町のランキングあれこれ」参照

湯沢高原ロープウェー

99ページの「湯沢町のランキングあれこれ」参照

大源太川第一号砂防堰堤

国指定文化財。昭和14年に造られたアーチ式砂防堰堤です。アーチの線形と石積みが美しいです。

清津峡

国指定文化財の名勝地。V字谷に刻まれた柱状節理が美しいです。18ページ参照。

三国街道脇本陣跡 池田家

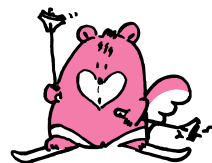
県指定文化財。36ページ参照。

荒戸城跡

県指定文化財。32ページ参照。

越後湯沢ユニバーサルウォーク

誰でも参加できるウォーキング大会です。温泉街と川端康成の小説「雪国」ゆかりの地を歩くコースと、残雪と新緑を満喫できるコースを設定しています。



59 湯沢町を訪れる外国人観光客

下のグラフは、過去9年間に湯沢町を訪れた外国人観光客の数をまとめたものです。グラフを見て、気付いたことをまとめてみましょう。

(単位：人)

	温泉	名所旧跡	スキー	登山	レジャー	行事
観光資源の 名称	湯沢温泉 貝掛温泉 町営他	三国峠 山鳥原公園	苗場・岩原・ 神立・中里・ 湯沢高原 他	苗場山 平標山	アルプ フィッシングパーク オーロラプール	雪まつり 夏まつり 他
2008年度	270	0	28,340	0	40	1,050
2009年度	400	0	32,900	0	100	1,200
2010年度	3,500	0	30,700	0	200	3,700
2011年度	3,700	0	28,000	0	800	1,200
2012年度	3,900	100	37,200	100	700	2,100
2013年度	4,600	0	40,100	200	600	2,200
2014年度	4,800	100	70,800	200	1,400	1,900
2015年度	3,700	0	106,600	0	1,800	2,000
2016年度	4,200	100	137,300	0	2,200	1,900

	文化施設	釣り	キャンプ	スポーツ	10項目の合計
観光資源の 名称	雪国館 OKKY 他	清津川 魚野川	青少年旅行村	テニス ゴルフ 他	
2008年度	420	0	0	0	30,120
2009年度	600	0	0	0	35,200
2010年度	700	0	0	0	38,800
2011年度	400	0	0	0	34,100
2012年度	500	0	100	0	44,700
2013年度	500	100	100	0	48,400
2014年度	600	100	0	0	79,900
2015年度	900	100	0	0	115,100
2016年度	1,100	100	0	0	146,900

湯沢町統計（平成20年度～平成28年度）より

下のグラフは、2016年4月から2017年3月までの間に湯沢町を訪れた外国人観光客の数の国・地域別順位です。

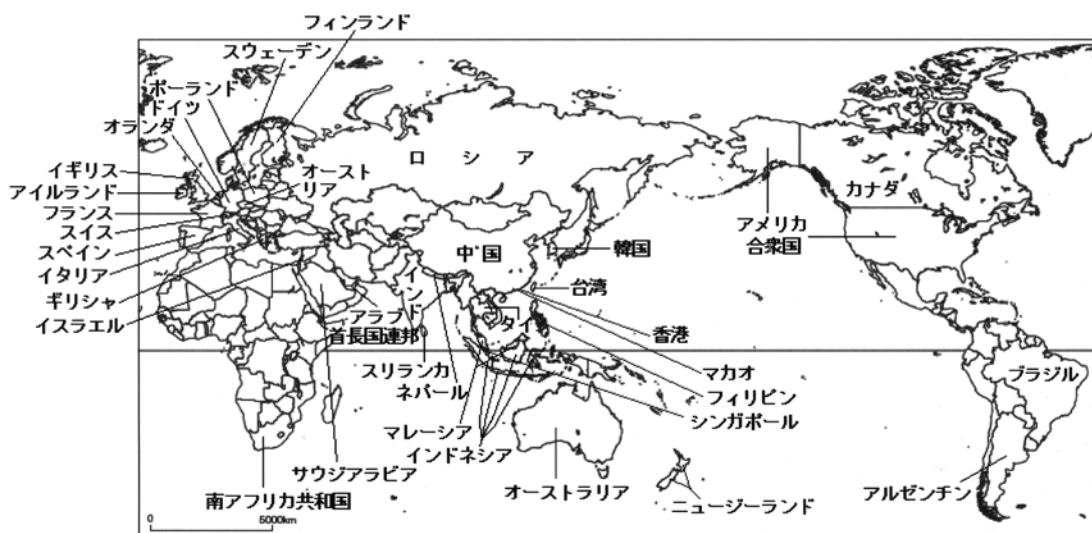
その下の世界地図とも見比べながら、気付いたことをまとめてみましょう。

(単位：人)

順位	国名・地域名	人数(人)
1	台湾	1,303
2	タイ	1,138
3	香港	457
4	オーストラリア	369
5	中国	355
6	シンガポール	297
7	インドネシア	273
8	マレーシア	248
9	アメリカ合衆国	222
10	韓国	197
11	フィリピン	129
12	イギリス	90
13	インド	84
14	フランス	30
15	カナダ	19
16	ドイツ	13
17	スイス	12
18	ニュージーランド	10
19	スリランカ	8
20	ロシア	6
21	イスラエル	5
21	アイルランド	5

順位	国名・地域名	人数(人)
22	ネパール	4
22	イタリア	4
22	ブラジル	4
22	アルゼンチン	4
23	オランダ	3
23	オーストリア	3
24	サウジアラビア	3
24	アラブ首長国連邦	2
24	フィンランド	2
24	ポーランド	2
24	ギリシャ	2
24	南アフリカ共和国	2
25	マカオ	1
25	スペイン	1
25	スウェーデン	1
その他アジア		2,218
その他ヨーロッパ		244
その他アフリカ		2
その他南アメリカ		4
地域不明		316
総合計		8,089

一般社団法人湯沢町観光協会
第7期(平成29年度)総会資料より



60 湯沢町のランキングあれこれ

*うれしい記録とともに喜ばしくない記録もあります。



<世界レベルの記録>

○ドラゴンドラ

全長5,481m（単線自動循環式^{じゅんかん}）のゴンドラです。苗場と田代を約25分で結びます。

○湯沢高原ロープウェー

世界最大級166人乗りのロープウェーです。全長1,300m、アルプの里まで7分で結びます。

○谷川岳

遭難者数（群馬県みなかみ町の一ノ倉沢^{そうなん}での遭難者を含む）は、統計を取り始めた1931年から2013年10月までで806人となりました。これはギネスブックのワースト記録となっています。

世界の8,000m峰14座の遭難者数の合計が650人ですから、ものすごい数です。

<日本レベルの記録>

○関越トンネル

新潟県と群馬県の県境にある谷川連峰を横断することから、トンネル延長は11,065mとなり、道路トンネルとしては日本で二位の長さを誇っています。また、トンネルの換気方式としては、2ヶ所の立坑（万太郎立坑、谷川立坑）で送排気を行い且つ電気集塵機^{しゅうじんき}を併用する換気方式で、当時では世界でも例を見ない「電気集塵機付立坑送排気縦流換気方式」を採用しています。

○田代ロープウェー

瞬間地上高230mは、日本一です。91人乗りの大型ロープウェーです。

○リゾートマンション

棟数及び個数は、熱海^{あたま}に次ぐ、日本有数の数です。

1988年に全国で売り出されたリゾートマンションの総戸数は11,564戸で、その1/3以上の3,912戸が湯沢町に集中したという記録が残っています。

○三俣雪崩^{みつまたなだれ}

1918（大正7）年に発生。158名の犠牲者がでました。国内最悪の雪崩事故で、世界でも例をみない大きな雪の事故です。

○スキー客数

一市町村に訪れるスキー客数は、日本一です。志賀高原を有する長野県山ノ内町がライバルです。平成4年度に、818万人が訪れました。

○スキー場数

一市町村では、長野県山ノ内町（23）について日本で2位です。スキー場は、11ヶ所あります。

○石白古銭の出土枚数

271,784枚が出土し、全国2位の枚数です。

○奥清津発電所

日本最大級の揚水式発電所です。奥清津（100万kw）、奥清津第二（60万kw）を合わせた最大出力（160万kw）は、国内では奥多々良木^{おくたたらぎ}（193.2万kw）に次ぐ出力となっています。

61 Let's introduce Yuzawa in English.

英語で湯沢を紹介しよう!!

外国人の方が湯沢町を訪ねてきました。自分のことや身の回りのことについて、英語で紹介してみましょう。

Step 1 自己紹介をしよう。

Hello. Welcome to Yuzawa.	こんにちは。ようこそ湯沢へ。
I am Taro Yuzawa.	私は湯沢太郎です。
I like skiing.	私はスキーが好きです。
I play table tennis every day.	私は毎日卓球をします。
My favorite food is Japanese Soba.	私の好きな食べ物はそばです。
What sport/food do you like?	あなたはどんなスポーツ/食べ物が好きですか？

Step 2 家族/友だちを紹介しよう。

This is my mother. Her name is Hanako.	こちらは私の母です。花子といいます。
She likes cooking.	彼女は料理が好きです。
She is good at cooking.	彼女は料理が上手です。
She plays volleyball very well.	彼女はバレーボールが上手です。

Step 3 学校を紹介しよう。

This is our school.	これが私たちの学校です。
We have about 470 students.	約470人の生徒がいます。
How many students does your school have?	あなたの学校には何人生徒がいますか。
Our school has some sport clubs and a cultural club.	私たちの学校には、運動部と文化部があります。
I am in the table tennis club.	私は卓球部に所属しています。
The school year starts in April and ends in March.	学校は4月から始まり3月に終わります。
We have a month of summer vacation, three weeks of winter vacation, and two weeks of spring vacation.	夏休みは1ヶ月、冬休みは3週間、春休みは2週間です。

Step 4 湯沢町を紹介しよう。

Let me tell you about Yuzawa.

Yuzawa has a lot of snow in winter.
It gets about 2 meters high.

Yuzawa has a lot of ski resorts.

Yuzawa is famous for its hot springs.

There are many hotels with hot springs.

Yuzawa has a lot of nature.

You can enjoy swimming in the river
in summer and skiing in winter.

Yuzawa is 200km north from Tokyo.

Traveling from Yuzawa to Tokyo
takes 70minutes by Shinkansen(bullet
train).

あなたに湯沢を紹介します。

湯沢は冬にたくさん雪が降ります。約
2メートルになります。

湯沢にはたくさんスキー場があります。

湯沢は温泉で有名です。

たくさんの温泉宿があります。

湯沢にはたくさんの自然があります。

夏は川泳ぎ、冬はスキーを楽しめます。

湯沢は東京から北に200キロメートル
のところにあります。

湯沢から東京までは新幹線で70分です。

Step 5 町のある場所について紹介しよう（例：岩原スキー場）

Let me tell you about a ski resort in Yuzawa, Iwappara Ski Resort.
We have an alpine ski class in winter. The course is long and the view
from the top of the mountains is very beautiful. There are many
courses from steep slopes to gentle ones. Everyone from beginners to
experts can enjoy them.

In summer, we can also enjoy hiking the mountains. For example , Iji-
mountain. When I was an elementary school student, I went there with
my classmates. I was tired but I was happy when I reached the top.

こちらは湯沢にあるスキー場のひとつ、岩原スキー場です。冬になると、こ
でアルペンのスキー授業をします。コースは長く、頂上からの眺めはとてもきれ
いです。急な斜面からなだらかな斜面までたくさんのコースがあります。だから、
初心者から上級者までみんなが楽しむことができます。

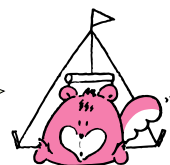
夏には、山登りを楽しむこともできます。山の名前は飯土山^{いいじさん}と言います。小学
校の時に、クラスの仲間と一緒に登りました。疲れましたが、頂上に着いたとき
はとてもうれしかったです。



例にならって自
分の言葉で紹介し
てみましょう。

62 Yuzawa the Snow Town 雪の町、湯沢

湯沢町や湯沢の四季について、英語で表現してみましょう。



The snow is amazing. It's an area of Japan that gets a lot of snow every year. Naeba Mountain, which is located near Yuzawa, is one of the most famous in Japan.

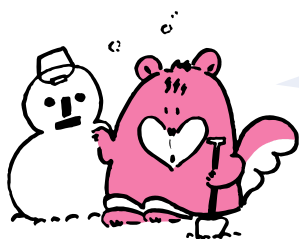
(驚くべき量の雪が降ります。毎年多くの雪が積もる日本有数の豪雪地帯です。湯沢近辺にある苗場山は日本で最も有名な山の一つです。)

Yuzawa is a small famous tourist town full of hot springs and ski resorts. It is also well known for some of the wildlife in the area, including bears, rabbits, monkeys, Japanese serows, and raccoons. It is a town full of natural beauty.

(湯沢は温泉とスキー場がたくさんある小さいけれど、有名な観光地です。湯沢はまた、熊やウサギ、猿、カモシカ、タヌキなどの野生動物が多く生息していることでよく知られています。自然の美しさに恵まれた町です。)

After the Kanetsu Tunnel was completed in 1996, the Yuzawa frontier was opened, allowing for much easier access to the area. Yuzawa also has a shinkansen (bullet train) which makes it only an hour away from Tokyo.

(1996年に関越トンネルが完成し、湯沢への新たな道が開かれ、より簡単にアクセスできるようになりました。また、湯沢は東京までたった一時間でついでしまう新幹線が通っています。)



Yuzawa continues to be enjoyed by many people.

Yuzawa by the Seasons (湯沢の四季)



Spring... Beautiful cherry blossoms. They make us happy.

(春は美しい桜。私たちに幸せな気分させます。)

Summer... There are a lot of trails ranging from easy scenic walks to more difficult mountain climbing. There are also many good fishing spots.

(夏。湯沢には多くの登山道があり、絶景を眺めることができる手軽なものから、より難度の高いものまであります。絶好の釣りスポットもたくさんあります。)

Fall... It is one of the most beautiful seasons in Yuzawa. Due to its natural forest setting, the changing of the leaves in the fall is something that shouldn't be missed.

(秋。湯沢で最も美しい季節の一つです。その大自然のため、秋の紅葉は見逃せないものです。)

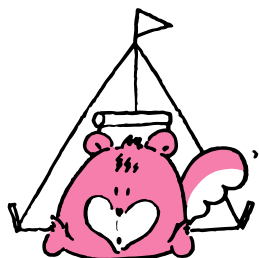
Winter... This is the most famous season in Yuzawa. Any outdoor winter activity you can think of is available. Yuzawa is especially famous for its skiing and ski resorts. What could be better than a day of skiing followed by a relaxing dip in an onsen?

(冬。湯沢と言ったら冬です。あなたが考えつく冬のアウトドアはすべてすることができます。湯沢はスキーとそのスキー場で特に有名です。一日スキーを終えた後に温泉でゆったりすることほど最高のことはないでしょう。)

Yuzawa continues to be enjoyed by many people.

(湯沢はたくさんの人に愛され続けています。)

Yuzawa is a small famous tourist town full of hot springs and ski resorts.



63 中文介绍!! 汤泽

中国語で湯沢を紹介しよう!!

外国人の方が湯沢町を訪ねてきました。自分のことや身の回りのことについて、中国語で紹介してみましょう。

Step 1 自己紹介をしよう。

你好。欢迎给汤泽。

我是汤泽太郎。

我喜欢滑雪。

我每天打乒乓球。

我喜欢的食物是旁边。

你喜欢怎样的体育（食物）？

こんにちは。ようこそ湯沢へ。

私は湯沢太郎です。

私はスキーが好きです。

私は毎日卓球をします。

私の好きな食べ物はそばです。

あなたはどんなスポーツ（食べ物）が好きですか？

Step 2 家族/友だちを紹介しよう。

这是我的母亲。叫花子。

她喜欢饭菜。

她饭菜很棒。

她排球很棒。

こちらは私の母です。花子といいます。

彼女は料理が好きです。

彼女は料理が上手です。

彼女はバレーボールが上手です。

Step 3 学校を紹介しよう。

这个是我们的学校。

约470个学生在。

多少人学生在你的学校？

我们的学校，有体育部和文化部。

我从属于乒乓球小组。

学校从4月开始以3月结束。

暑假1个月，寒假3周，春假是2周。

これが私たちの学校です。

約470人の生徒がいます。

あなたの学校には何人生徒がいますか。

私たちの学校には、運動部と文化部があります。

私は卓球部に所属しています。

学校は4月から始まり3月に終わります。

夏休みは1ヶ月、冬休みは3週間、春休みは2週間です。

Step 4 湯沢町を紹介しよう。

向你介绍汤泽。

汤泽冬天下很多雪。成为约2米。

汤泽有很多的滑雪场。

汤泽在温泉有名。

有很多的温泉宿驿。

汤泽有很多的天然。

能享乐夏天河游泳，冬天滑雪。

汤泽在东京来200公里的地方。

是从汤泽到东京乘新干线70分。

あなたに湯沢を紹介します。

湯沢は冬にたくさん雪が降ります。約2メートルになります。

湯沢にはたくさんのスキー場があります。

湯沢は温泉で有名です。

たくさんの温泉宿があります。

湯沢にはたくさんの天然があります。

夏は川泳ぎ、冬はスキーを楽しめます。

湯沢は東京から北に200キロメートルのところにあります。

湯沢から東京までは新幹線で70分です。

Step 5 町のある場所について紹介しよう（例：岩原スキー場）

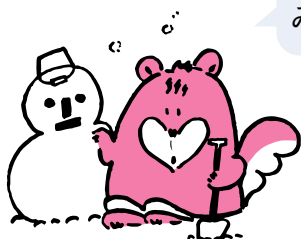
这是汤泽有的滑雪场之一，岩原滑雪场。到冬天的话，在这里授课高山的滑雪。路线很长，来自顶峰的景色非常漂亮。突然的从斜面到流畅的斜面有很多的路线。因此，从初学者到上层人士大家能享受。

夏天，也能享受登山。说山的名字富士山。小学的时候，与级的朋友一起上了。累了，不过到达时，顶峰非常高兴。

こちらは湯沢にあるスキー場のひとつ、岩原スキー場です。冬になると、ここでアルペンのスキー授業をします。コースは長く、頂上からの眺めはとてもきれいです。急な斜面からなだらかな斜面までたくさんのコースがあります。だから、初心者から上級者までみんなが楽しむことができます。

夏には、山登りを楽しむこともできます。山の名前は飯士山^{いいじさん}と言います。小学校の時に、クラスの仲間と一緒に登りました。疲れましたが、頂上に着いたときはとてもうれしかったです。

例にならって自分の言葉で紹介してみましょう。



向你介绍汤泽。

汤泽冬天下很多雪。成为约2米。汤泽有很多的滑雪场。



計算で知る湯沢 回答

湯沢町中心部 地形図の読図 解答

- ①約280m、三俣 ※等高線間隔は20mおきです。水圧管の上部は約600m、下部は約320m（近くに水準点の316.9m）
- ②約290m（289.9m） ※613.5（三俣）－323.6（堀切） ※それぞれに水準点があります。
- ③扇状地
- ④傾斜が（やや）急で電車が登れないため
- ⑤三俣南東方向の斜面
- ⑥針葉樹林

46 親子が1泊2日した時の経済効果 解答

1日目

アルプの里（ボブスレ、ゴーカート）
昼食代
雪国館

$$\begin{aligned} 3600 \times 2 + 2200 \times 2 &= 11600 \cdots \textcircled{1} \\ 1300 \times 2 + 1000 \times 2 &= 4600 \cdots \textcircled{2} \\ 500 \times 2 + 250 \times 2 &= 1500 \cdots \textcircled{3} \end{aligned}$$

2日目

フィッシングパーク
昼食代
街道の湯
おみやげ

$$\begin{aligned} 2950 \times 2 + 2950 \times 2 &= 11800 \cdots \textcircled{4} \\ 1300 \times 2 + 1000 \times 2 &= 4600 \cdots \textcircled{5} \\ 600 \times 2 + 250 \times 2 &= 1700 \cdots \textcircled{6} \\ &= 1000 \cdots \textcircled{7} \end{aligned}$$

宿泊代

$$18000 \times 2 + 13000 \times 2 = 62000 \cdots \textcircled{8}$$

$$\textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{5} + \textcircled{6} + \textcircled{7} + \textcircled{8} = 98400$$

答え 98400円

47 湯沢高原ロープウェイの輸送能力 解答

※130人の場合

$$\begin{aligned} 130 \times 3 &= 390 \\ \text{のぼりとくだりがあるので} \\ 390 \times 2 &= 780 \end{aligned}$$

答え 780人

※166人の場合

$$\begin{aligned} 166 \times 3 &= 498 \\ \text{のぼりとくだりがあるので} \\ 498 \times 2 &= 996 \end{aligned}$$

答え 996人

48 飯士山の標高 解答

- 飯士山 1111.8m → 1112m
- 三国山 1636.4m → 1636m
- 平標山 1983.7m → 1984m
- 苗場山 2145.3m → 2145m

チャレンジ問題 → 1111m



49 毘沙門堂（多聞神社）の大杉と石段 解答

大杉の直径 $850\text{cm} \div 3.14 = 270.70 \dots$ 約 2 m 70cm

観音杉 $625\text{cm} \div 3.14 = 199.04 \dots$ 約 2 m

頂上までの高さ

その1（17.5として） $17.5\text{cm} \times 51\text{段} = \underline{892.5\text{cm}}$

その2（およその数） $18\text{cm} \times 50\text{段} = \underline{900\text{cm}}$

50 松川のJRループ線の長さ、岩原スキー場の面積 解答

ループ線1

直径を2.4cmとして計算 ※直径を800mとして

$2.4 \times 3.14 = 7.536\text{cm}$ 計算するやり方もあります。

$7.536\text{cm} \div 1.5\text{cm} \times 500\text{m} = 2512\text{m}$ 約 2.5km

ループ線2

直径を5.0cmとして計算 ※直径を1650mとして

$5.0 \times 3.14 = 15.7\text{cm}$ 計算するやり方もあります。

$15.7 \div 1.5\text{cm} \times 500\text{m} \div 2 = 2616\text{m}$ 約 2.6km

※半円なので2で割ります。

扇形 $2.0 \times 2.0 \times 3.14 \times 30 \div 360 = 1.05 \dots$ 約 1.0km²

三角形 $1.0 \times 1.9 \div 2 = \underline{0.95\text{km}^2}$ (約 1.0km²)



51 苗場山の山頂部の面積は？ 解答

式 $1000 \times 500 + (1000 + 750) \times 1000 \div 2 = 1375000$

$1375000 \div 1000000 = 1.375$

答え 1.375km²

別解 $1 \times 0.5 = 0.5$ $(1 + 0.75) \times 1 \div 2 = 0.875$

$0.5 + 0.875 = 1.375$

答え 1.375km²

苗場山の山頂を平行四辺形(A)(B)(E)(F)と台形(B)(C)(D)(E)が組み合わさった図形としてとらえます。それぞれの辺の長さを面積を求める公式にあてはめて、最後に合計を出します。問題は、「何km²になるでしょう」なので、単位をkm²に直して答えます。また、はじめから辺の長さをkmに直して計算することもできます。

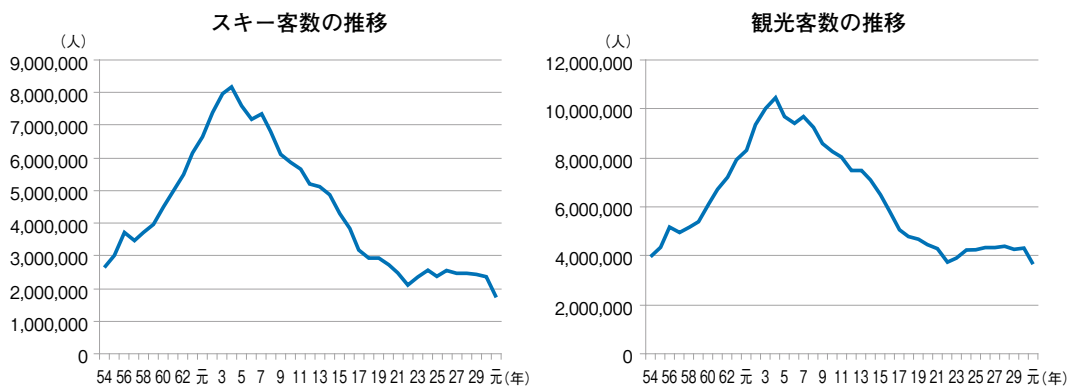
52 湯沢町の人口密度

式 <湯沢町> $8123 \div 357 = 22.8$ 答え 22.8人

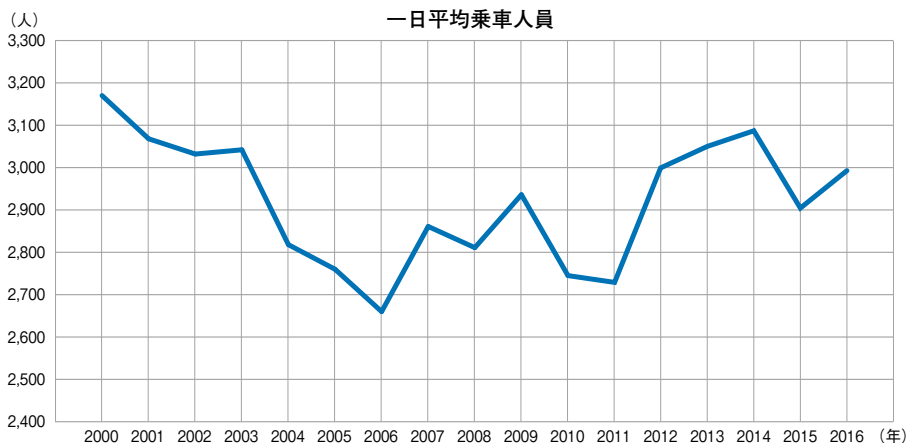
<中央区> $176430 \div 37.4 = 4717.4$ 答え 4717.4人

<豊島区> $286824 \div 13 = 22063.4$ 答え 22063.4人

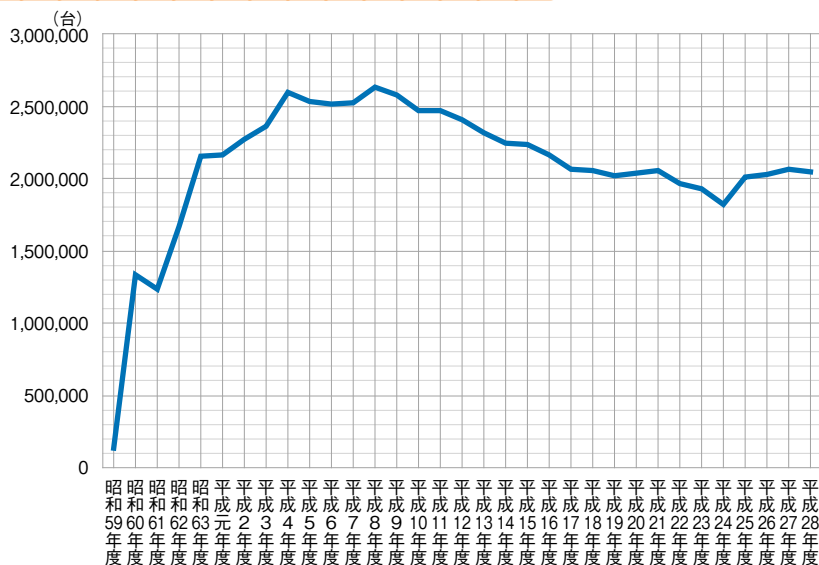
53 観光客とスキー客数の推移 解答



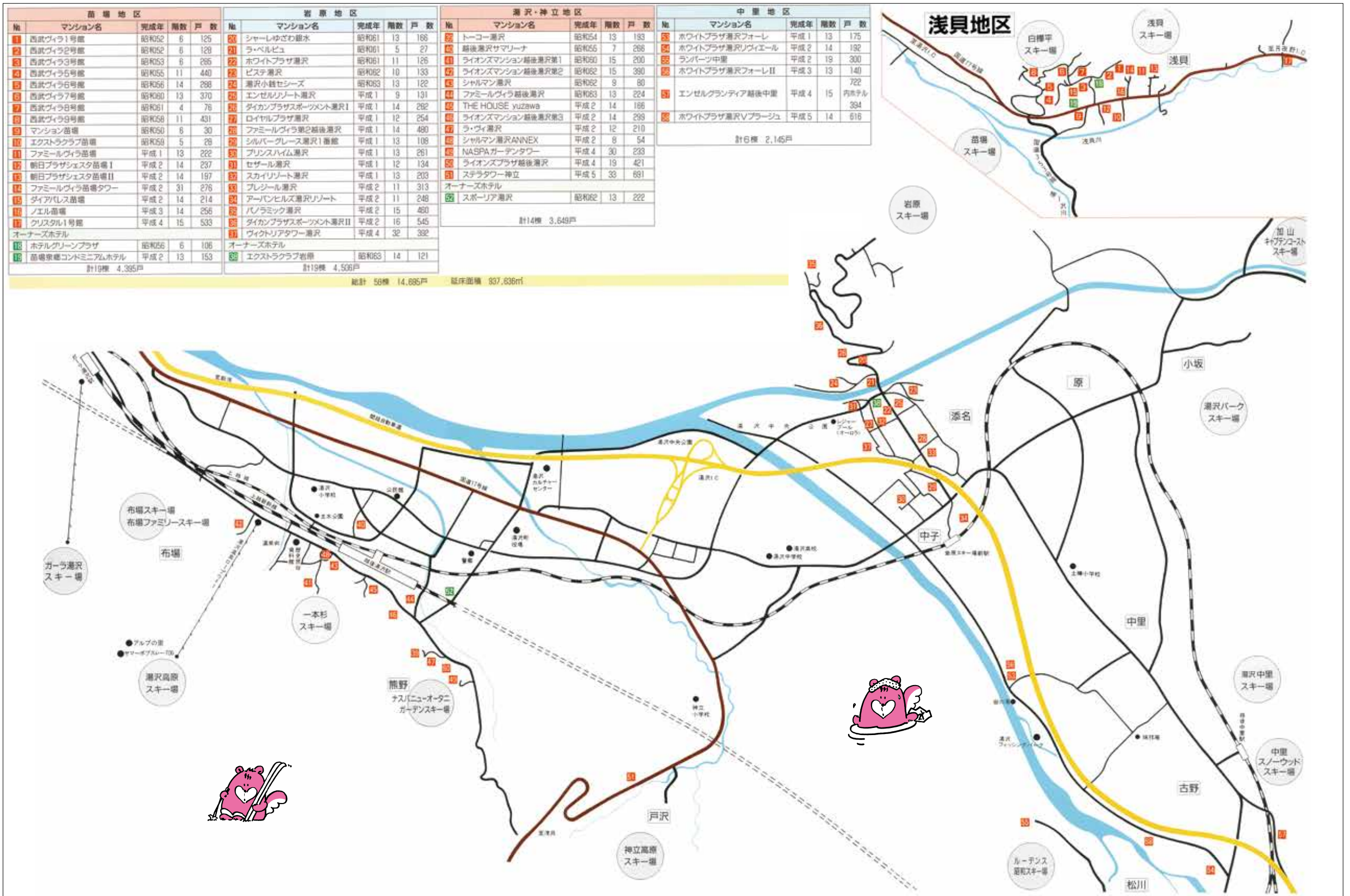
54 越後湯沢駅をウォッチング 解答



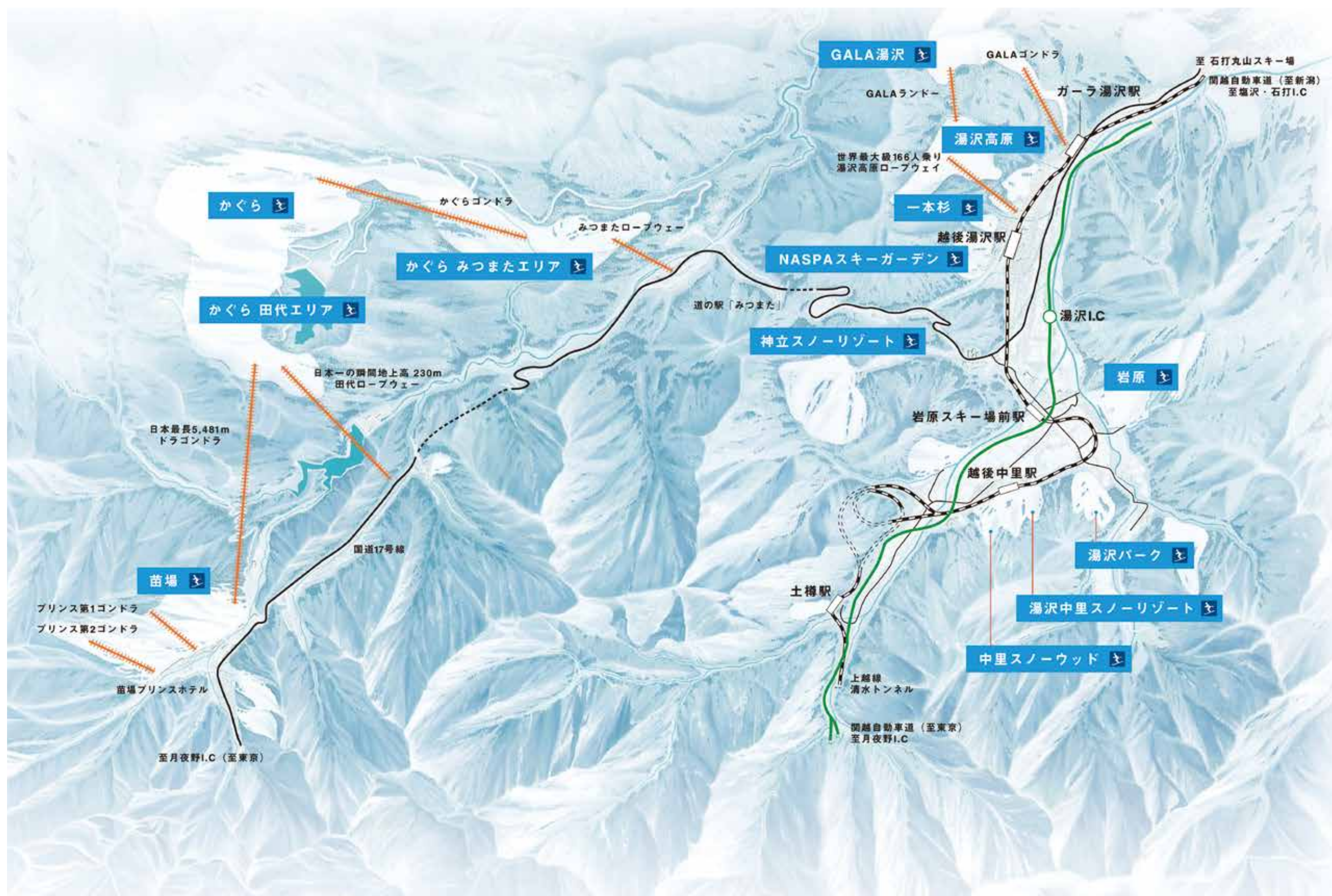
55 関越自動車道 湯沢インターチェンジの交通量 解答



64 湯沢町リゾートマンション等の建築状況図 (平成10年4月1日現在)



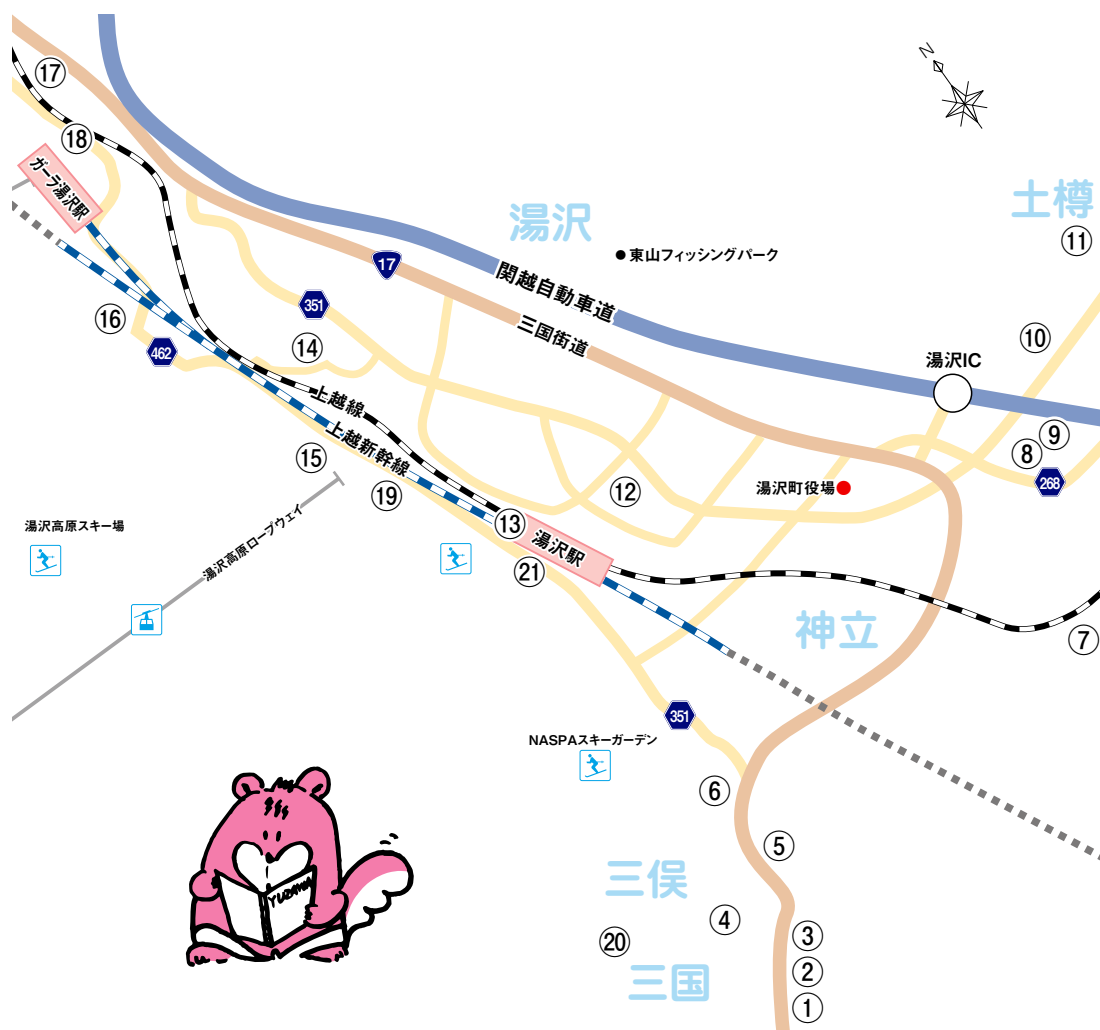
65 スキー場分布図



66 江戸時代の年号表

1603	慶長	8	癸卯	1670		10	庚戌	1737		2	丁巳	1804	文化	2/11	甲子
1604		9	甲辰	1671		11	辛亥	1738		3	戊午	1805		2	乙丑
1605		10	乙巳	1672		12	壬子	1739		4	己未	1806		3	丙寅
1606		11	丙午	1673	延宝	9/21	癸丑	1740		5	庚申	1807		4	丁卯
1607		12	丁未	1674		2	甲寅	1741	寛保	2/27	辛酉	1808		5	戊辰
1608		13	戊申	1675		3	乙卯	1742		2	壬戌	1809		6	己巳
1609		14	己酉	1676		4	丙辰	1743		3	癸亥	1810		7	庚午
1610		15	庚戌	1677		5	丁巳	1744	延享	2/21	甲子	1811		8	辛未
1611		16	辛亥	1678		6	戊午	1745		2	乙丑	1812		9	壬申
1612		17	壬子	1679		7	己未	1746		3	丙寅	1813		10	癸酉
1613		18	癸丑	1680		8	庚申	1747		4	丁卯	1814		11	甲戌
1614		19	甲寅	1681	天和	9/29	辛酉	1748	寛延	7/12	戊辰	1815		12	乙亥
1615	元和	7/13	乙卯	1682		2	壬戌	1749		2	己巳	1816		13	丙子
1616		2	丙辰	1683		3	癸亥	1750		3	庚午	1817		14	丁丑
1617		3	丁巳	1684	貞享	2/21	甲子	1751	宝暦	10/27	辛	1818	文政	4/22	戊寅
1618		4	戊午	1685		2	乙丑	1752		2	壬申	1819		2	己卯
1619		5	己未	1686		3	丙寅	1753		3	癸酉	1820		3	庚辰
1620		6	庚申	1687		4	丁卯	1754		4	甲戌	1821		4	辛巳
1621		7	辛酉	1688	元禄	9/30	戊辰	1755		5	乙亥	1822		5	壬午
1622		8	壬戌	1689		2	己巳	1756		6	丙子	1823		6	癸未
1623		9	癸亥	1690		3	庚午	1757		7	丁丑	1824		7	甲申
1624	寛永	2/30	甲子	1691		4	辛未	1758		8	戊寅	1825		8	乙酉
1625		2	乙丑	1692		5	壬申	1759		9	己卯	1826		9	丙戌
1626		3	丙寅	1693		6	癸酉	1760		10	庚辰	1827		10	丁亥
1627		4	丁卯	1694		7	甲戌	1761		11	辛巳	1828		11	戊子
1628		5	戊辰	1695		8	乙亥	1762		12	壬午	1829		12	己丑
1629		6	己巳	1696		9	丙子	1763		13	癸未	1830	天保	12/10	庚寅
1630		7	庚午	1697		10	丁丑	1764	明和	6/2	甲申	1831		2	辛卯
1631		8	辛未	1698		11	戊寅	1765		2	乙酉	1832		3	壬辰
1632		9	壬申	1699		12	己卯	1766		3	丙戌	1833		4	癸巳
1633		10	癸酉	1700		13	庚辰	1767		4	丁亥	1834		5	甲午
1634		11	甲戌	1701		14	辛巳	1768		5	戊子	1835		6	乙未
1635		12	乙亥	1702		15	壬午	1769		6	己丑	1836		7	丙申
1636		13	丙子	1703		16	癸未	1770		7	庚寅	1837		8	丁酉
1637		14	丁丑	1704	宝永	3/13	甲申	1771		8	辛卯	1838		9	戊戌
1638		15	戊寅	1705		2	乙酉	1772	安永	11/16	壬	1839		10	己亥
1639		16	己卯	1706		3	丙戌	1773		2	癸巳	1840		11	庚子
1640		17	庚辰	1707		4	丁亥	1774		3	甲午	1841		12	辛丑
1641		18	辛巳	1708		5	戊子	1775		4	乙未	1842		13	壬寅
1642		19	壬午	1709		6	己丑	1776		5	丙申	1843		14	癸卯
1643		20	癸未	1710		7	庚寅	1777		6	丁酉	1844	弘化	12/2	甲辰
1644	正保	12/16	甲	1711	正徳	4/25	辛卯	1778		7	戊戌	1845		2	乙巳
1645		2	乙酉	1712		2	壬辰	1779		8	己亥	1846		3	丙午
1646		3	丙戌	1713		3	癸巳	1780		9	庚子	1847		4	丁未
1647		4	丁亥	1714		4	甲午	1781	天明	4/2	辛丑	1848	嘉永	2/28	戊申
1648	慶安	2/15	戊子	1715		5	乙未	1782		2	壬寅	1849		2	己酉
1649		2	己丑	1716	享保	6/22	丙申	1783		3	癸卯	1850		3	庚戌
1650		3	庚寅	1717		2	丁酉	1784		4	甲辰	1851		4	辛亥
1651		4	辛卯	1718		3	戊戌	1785		5	乙巳	1852		5	壬子
1652	承応	9/18	壬辰	1719		4	己亥	1786		6	丙午	1853		6	癸丑
1653		2	癸巳	1720		5	庚子	1787		7	丁未	1854	安政	11/27	甲寅
1654		3	甲午	1721		6	辛丑	1788		8	戊申	1855		2	乙卯
1655	明暦	4/13	乙未	1722		7	壬寅	1789	寛政	1/25	己酉	1856		3	丙辰
1656		2	丙申	1723		8	癸卯	1790		2	庚戌	1857		4	丁巳
1657		3	丁酉	1724		9	甲辰	1791		3	辛亥	1858		5	戊午
1658	万治	7/23	戊戌	1725		10	乙巳	1792		4	壬子	1859		6	己未
1659		2	己亥	1726		11	丙午	1793		5	癸丑	1860	万延	3/18	庚申
1660		3	庚子	1727		12	丁未	1794		6	甲寅	1861	文久	2/19	辛酉
1661	寛文	4/26	辛丑	1728		13	戊申	1795		7	乙卯	1862		2	壬戌
1662		2	壬寅	1729		14	己酉	1796		8	丙辰	1863		3	癸亥
1663		3	癸卯	1730		15	庚戌	1797		9	丁巳	1864	元治	2/20	甲子
1664		4	甲辰	1731		16	辛亥	1798		10	戊午	1865	慶応	4/7	乙丑
1665		5	乙巳	1732		17	壬子	1799		11	己未	1866		2	丙寅
1666		6	丙午	1733		18	癸丑	1800		12	庚申	1867		3	丁卯
1667		7	丁未	1734		19	甲寅	1801	享和	2/5	辛酉	※慶応4/7は、慶応元年が始			
1668		8	戊申	1735		20	乙卯	1802		2	壬戌	まった月日のこと			
1669		9	己酉	1736	元文	4/28	丙辰	1803		3	癸亥				

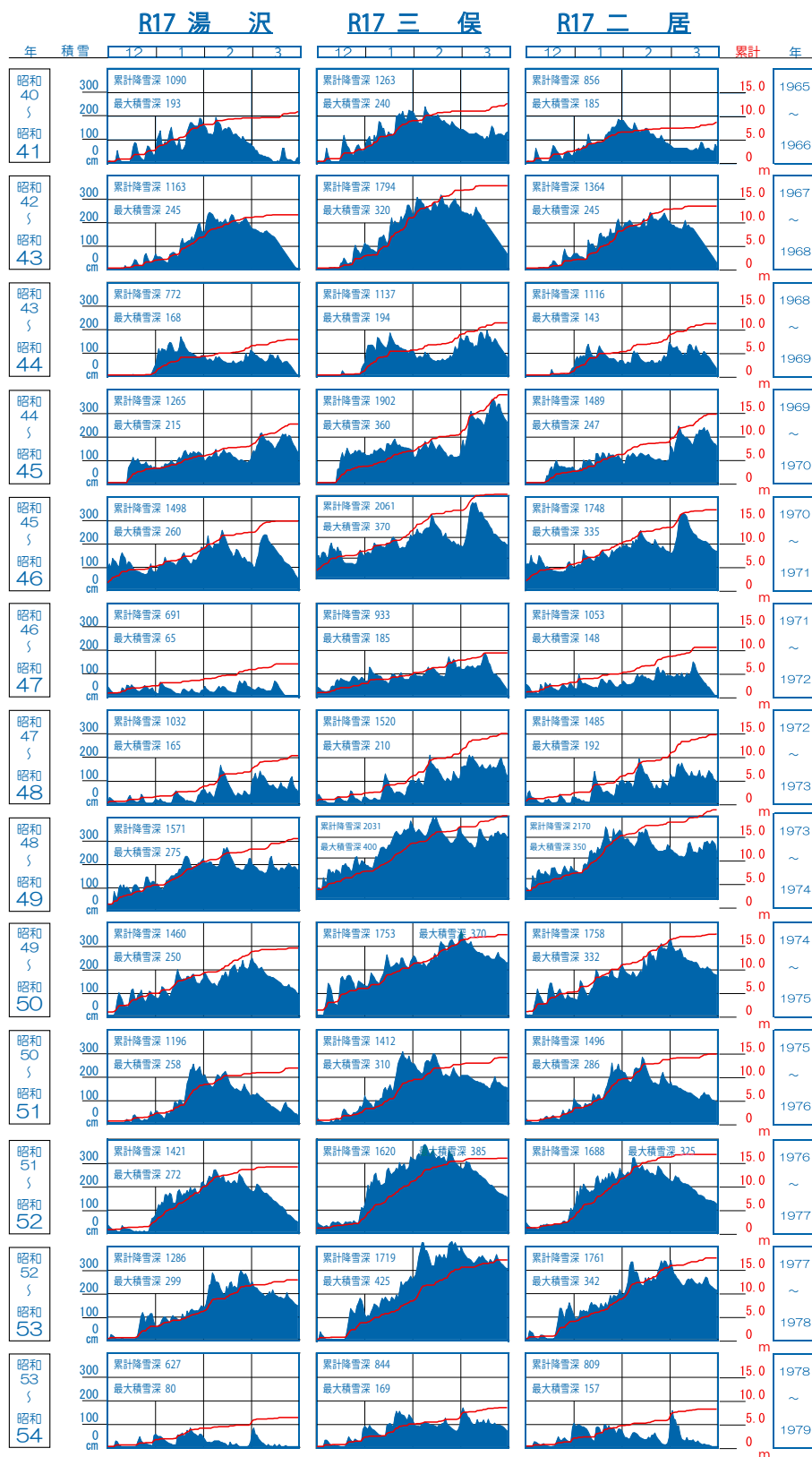
67 温泉マップ&ガイド



- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ① 三国峠温泉峠の湯 | ⑪ 薫風の湯 |
| ② 雪ささの湯 | ⑫ 江神温泉 |
| ③ 宿場の湯（共同浴場） | ⑬ ぽんしゅ館酒風呂湯の沢（越後湯沢駅内） |
| ④ 貝掛温泉：“目”にいいお湯 | ⑭ 駒子の湯（共同浴場） |
| ⑤ 街道の湯（共同浴場） | ⑮ コマクサの湯（湯沢高原ローブウェイ） |
| ⑥ 神立の湯：飲める湯 | ⑯ 山の湯（共同浴場） |
| ⑦ 岩の湯（共同浴場） | ⑰ ゆざわ健康ランド |
| ⑧ イナズマの湯 | ⑱ SPAガーラの湯 |
| ⑨ 浦子の湯 | ⑲ 足湯かんなくり |
| ⑩ のんのんの湯 | ⑳ 赤湯 |
| | ㉑ 越後湯沢駅西口広場の足湯 |

このほかにも、旅館やホテルの中に「立ち寄り湯」「温泉」がたくさんあります。調べてみましょう。

68 年次別降雪深・積雪深グラフ



38豪雪の時、
湯沢の雪は多
くなかったんだ
よ!!
(里雪でした)

凡例

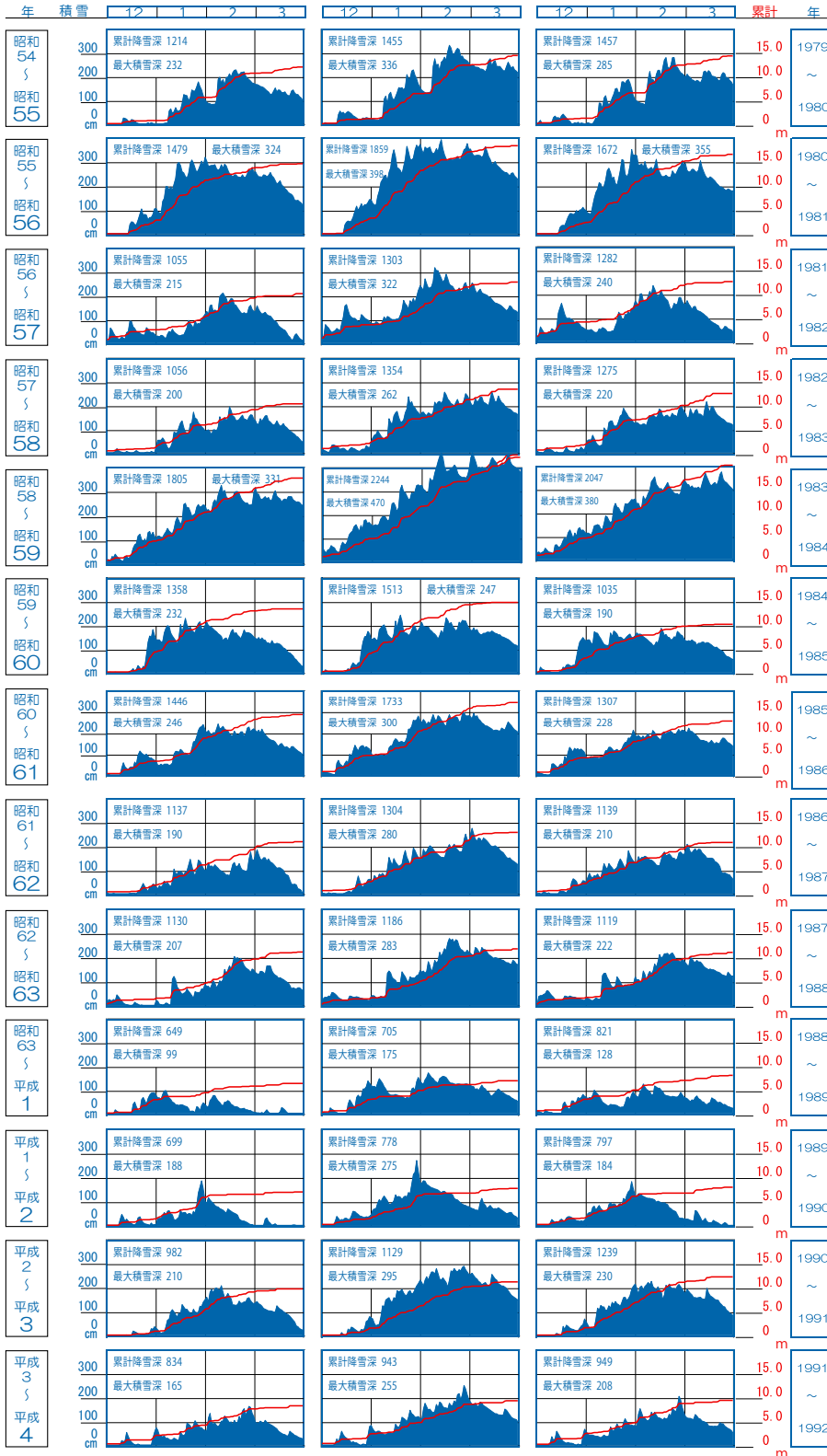
積雪深グラフです
(左目盛 0 ~ 400
cm)

累計降雪深グラフ
です (右目盛 0 ~
20.0m)

R17 湯 沢

R17 三 俣

R17 二 居

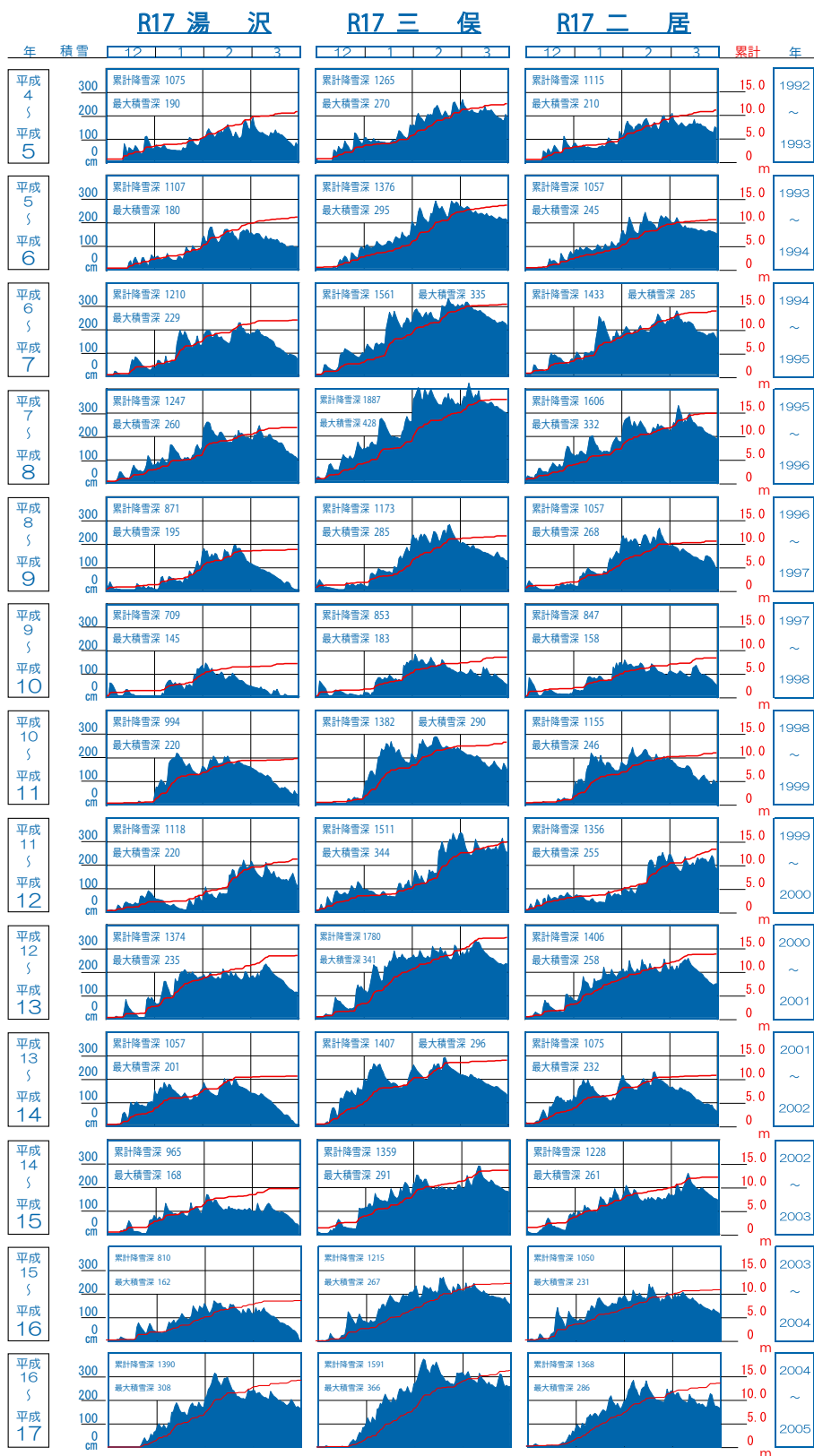


56豪雪、
59豪雪に
注目!!

凡例

積雪深グラフです
(左目盛 0～400
cm)

累計降雪深グラフ
です (右目盛 0～
20.0m)



凡例

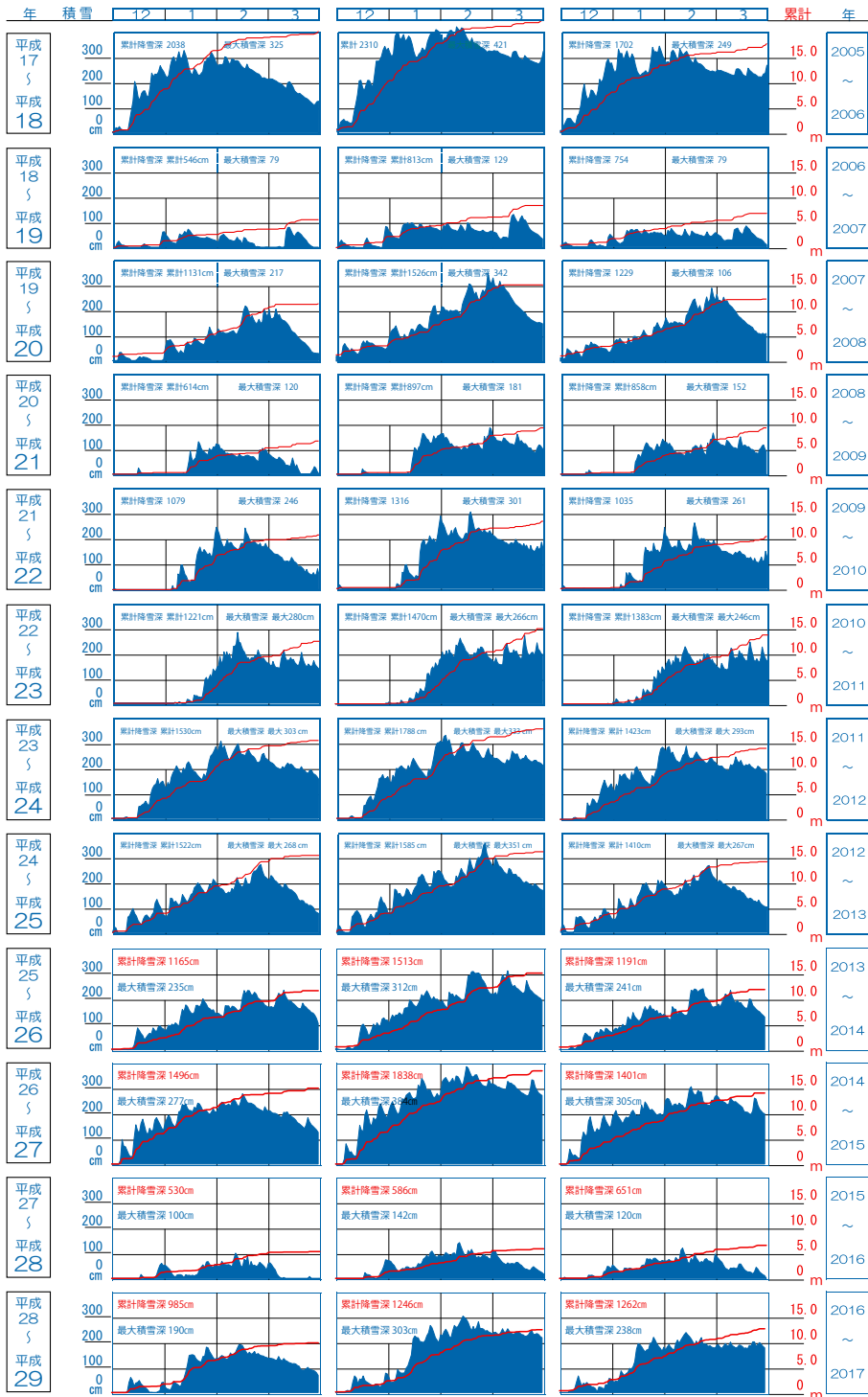
積雪深グラフです
(左目盛 0～400
cm)

累計降雪深グラフ
です (右目盛 0～
20.0m)

R17 湯 沢

R17 三 俣

R17 二 居



凡例



積雪深グラフです
(左目盛 0～400
cm)



累計降雪深グラフ
です (右目盛 0～
20.0m)

69 統計資料

1 面積

総面積：357平方キロメートル

東西の距離：21.4キロメートル

南北の距離：24.4キロメートル

2 土地利用地目別面積

(平成29年)

地目	面積(ヘクタール)
田	250
畑	80
宅地	240
山林	32,840
原野	330
雑種地	340
その他	1,620
合計	35,700

3 主な山・河川

佐武流山：2,192メートル

苗場山：2,145メートル

白砂山：2,140メートル

神楽ヶ峰：2,030メートル

清津川：約30,500メートル

魚野川：約17,800メートル

浅貝川：約9,262メートル

カッサ川：約6,940メートル

大源太川：約5,453メートル

毛渡沢川：約3,900メートル

戸沢川：約3,800メートル

水無川：約3,500メートル

4 人口

住民基本台帳人口及び世帯数

	三国		三俣		神立		土樽		湯沢		合計	
	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯
平成7年	716	361	387	120	1,606	501	2,608	759	4,121	1,503	9,438	3,244
平成8年	657	319	394	121	1,579	512	2,611	762	4,086	1,479	9,327	3,193
平成9年	641	305	388	114	1,560	487	2,595	768	4,043	1,480	9,227	3,154
平成10年	608	272	381	118	1,548	499	2,589	779	3,982	1,469	9,108	3,137
平成11年	590	257	369	115	1,631	568	2,580	769	3,934	1,467	9,104	3,176
平成12年	570	246	372	115	1,626	564	2,555	766	3,906	1,453	9,029	3,144
平成13年	548	222	350	109	1,657	580	2,604	795	3,864	1,428	9,023	3,134
平成14年	534	216	352	114	1,642	580	2,621	817	3,843	1,431	8,992	3,158
平成15年	534	214	345	111	1,648	579	2,620	833	3,821	1,435	8,968	3,172
平成16年	513	207	341	113	1,617	575	2,621	851	3,731	1,392	8,823	3,138
平成17年	515	213	328	106	1,589	587	2,659	899	3,671	1,381	8,762	3,196
平成18年	521	220	326	104	1,566	585	2,677	919	3,616	1,387	8,706	3,215

※次ページへつづく

※前ページからのつづき

	三国		三俣		神立		土樽		湯沢		合計	
	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯
平成19年	512	221	311	102	1,592	595	2,642	921	3,551	1,386	8,608	3,225
平成20年	503	219	310	103	1,547	594	2,622	936	3,513	1,405	8,495	3,257
平成21年	494	224	302	103	1,531	599	2,629	949	3,480	1,399	8,436	3,274
平成22年	480	211	301	103	1,540	604	2,624	974	3,403	1,386	8,348	3,278
平成23年	477	219	284	101	1,535	614	2,644	1,017	3,324	1,360	8,264	3,311
平成24年	470	214	281	103	1,526	615	2,655	1,037	3,320	1,383	8,252	3,352
平成25年	490	230	277	102	1,507	613	2,683	1,061	3,344	1,445	8,301	3,451
平成26年	487	240	270	101	1,490	610	2,736	1,123	3,306	1,449	8,289	3,523
平成27年	486	249	275	101	1,479	627	2,705	1,119	3,259	1,458	8,204	3,554
平成28年	485	262	269	104	1,486	630	2,688	1,140	3,216	1,458	8,144	3,594
平成29年	517	293	260	104	1,492	642	2,736	1,193	3,158	1,469	8,163	3,701
平成30年	530	326	261	106	1,483	644	2,764	1,257	3,148	1,520	8,186	3,853
平成31年	516	313	256	104	1,485	651	2,768	1,259	3,109	1,536	8,134	3,863
令和2年	511	307	243	105	1,461	649	2,824	1,335	3,095	1,567	8,134	3,963

資料：住民基本台帳 各年4月1日現在

国勢調査人口・世帯数の推移

	三国		三俣		神立		土樽		湯沢		合計	
	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯
昭和40年	533	126	478	103	1,104	237	2,978	593	4,558	1,088	9,651	2,147
昭和45年	449	109	373	93	1,012	238	2,303	529	4,237	1,159	8,374	2,128
昭和50年	1,206	170	1,156	144	1,401	342	2,772	615	4,336	1,264	10,871	2,535
昭和55年	701	336	464	187	1,512	453	2,652	839	4,185	1,440	9,514	3,255
昭和60年	837	458	404	115	1,474	411	2,416	647	4,360	1,553	9,491	3,184
平成2年	855	471	400	186	1,569	510	2,563	747	4,599	1,751	9,986	3,665
平成7年	643	289	514	235	1,576	510	2,581	744	4,292	1,713	9,606	3,491
平成12年	526	204	351	114	2,381	778	2,532	867	3,340	1,345	9,130	3,308
平成17年	491	203	301	98	2,565	867	2,231	833	3,125	1,274	8,713	3,275
平成22年	490	243	265	94	2,127	845	2,643	1,022	2,871	1,259	8,396	3,463
平成27年	446	230	249	92	2,038	849	2,618	1,077	2,695	1,207	8,046	3,455

資料：国勢調査

5 産業別就業人口

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
昭和40年	1,450人	1,124人	2,396人
昭和45年	1,224人	800人	2,458人
昭和50年	808人	2,933人	2,980人
昭和55年	491人	1,769人	3,126人
昭和60年	489人	1,215人	3,599人
平成2年	303人	1,310人	4,230人
平成7年	260人	1,000人	4,297人
平成12年	204人	725人	4,026人
平成17年	256人	663人	3,650人
平成22年	197人	575人	3,384人
平成27年	153人	586人	3,538人

農業

(1) 昭和45年～平成7年

	総農家数	専業農家	第1種兼業	第2種兼業
昭和45年	759戸	16戸	257戸	486戸
昭和50年	659戸	18戸	71戸	570戸
昭和55年	607戸	12戸	33戸	559戸
昭和60年	575戸	21戸	27戸	527戸
平成2年	518戸	21戸	20戸	477戸
平成7年	482戸	17戸	30戸	435戸

(2) 平成12年～平成27年

		総農家数	専業農家	第1種兼業	第2種兼業
平成12年	販売農家	232戸	17戸	12戸	233戸
	自給的農家	181戸			
	合計	443戸			
平成17年	販売農家	227戸	25戸	11戸	191戸
	自給的農家	189戸			
	合計	416戸			
平成22年	販売農家	197戸	30戸	15戸	152戸
	自給的農家	183戸			
	合計	380戸			
平成27年	販売農家	168戸	27戸	16戸	125戸
	自給的農家	174戸			
	合計	342戸			

商業

		商店数	従業者数	年間販売額
平成6年	卸売業	17店	111人	3,980百万円
	小売業	167店	789人	19,033百万円
平成9年	卸売業	17店	86人	2,613百万円
	小売業	178店	756人	17,991百万円
平成11年	卸売業	19店	93人	2,256百万円
	小売業	160店	716人	16,888百万円
平成14年	卸売業	14店	77人	1,953百万円
	小売業	147店	682人	13,390百万円
平成19年	卸売業	18店	105人	2,980百万円
	小売業	126店	572人	10,067百万円
平成24年	卸売業	16店	69人	2,469百万円
	小売業	99店	488人	8,500百万円
平成29年	卸売業	16店	112人	3,406百万円
	小売業	92店	450人	10,702百万円

工業

	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
昭和60年	14店	339人	855,191万円
平成7年	15店	176人	535,282万円
平成12年	15店	136人	373,830万円
平成13年	14店	135人	333,703万円
平成14年	8店	118人	321,081万円
平成15年	9店	118人	306,644万円
平成16年	4店	90人	263,896万円
平成17年	5店	70人	227,027万円
平成18年	6店	75人	207,358万円
平成19年	6店	74人	199,096万円
平成20年	6店	79人	199,743万円
平成21年	6店	75人	179,757万円
平成22年	5店	71人	170,448万円
平成23年	4店	70人	154,075万円
平成24年	3店	62人	185,659万円
平成25年	3店	67人	180,000万円
平成26年	5店	88人	214,000万円
平成28年	5店	94人	321,800万円
平成29年	4店	91人	249,227万円
平成30年	3店	82人	239,219万円
令和元年	4店	94人	243,233万円

6 目的別観光客数

	温泉	名所旧跡	スキー	登山	レジャー	イベント等	スポーツキャンプ	合計
昭和54年度	782,400		2,624,500	94,000		2,500	10,200	3,978,600
昭和55年度	795,600		2,993,300	80,400		3,000	12,800	4,374,400
昭和56年度	687,800		3,709,500	99,900		3,000	14,300	5,170,900
昭和57年度	764,900		3,476,200	41,300		3,000	14,000	4,936,800
昭和58年度	759,000		3,724,100	40,500		2,500	17,900	5,179,300
昭和59年度	718,600		3,968,500	41,900		2,500	19,000	5,396,300
昭和60年度	853,900		4,517,400	42,500		2,500	22,800	6,111,600
昭和61年度	915,300		5,008,200	42,300		2,400	26,400	6,713,200
昭和62年度	939,700		5,476,900	41,500		2,300	25,800	7,215,600
昭和63年度	981,900		6,152,900	35,100		5,500	11,100	7,899,100
平成元年度	999,700		6,628,600	34,600		9,000	14,400	8,326,600
平成2年度	1,183,000		7,402,700	30,000		11,000	14,000	9,350,500
平成3年度	1,228,000		7,963,000	32,000		54,000	24,000	10,025,000
平成4年度	1,229,000		8,181,000	30,000		46,000	16,000	10,456,000
平成5年度	1,156,000		7,605,000	17,000		46,000	16,000	9,714,000
平成6年度	1,242,000		7,202,000	24,000		32,000	23,000	9,431,000
平成7年度	1,362,000	18,000	7,344,000	25,000	498,000	30,000	400,000	9,677,000
平成8年度	1,436,000	55,000	6,825,000	30,000	501,000	41,000	349,000	9,237,000
平成9年度	1,405,000	80,000	6,091,000	33,000	574,000	76,000	322,000	8,581,000
平成10年度	1,376,000	80,000	5,880,000	40,000	579,000	44,000	278,000	8,277,000
平成11年度	1,402,000	91,000	5,654,000	47,000	524,000	42,000	257,000	8,017,000
平成12年度	1,341,000	75,000	5,189,000	50,000	493,000	99,000	230,000	7,477,000
平成13年度	1,312,000	73,000	5,139,000	63,000	533,000	123,000	235,000	7,478,000
平成14年度	1,248,000	66,000	4,875,000	62,000	451,000	139,000	233,000	7,074,000
平成15年度	1,233,000	70,000	4,311,000	44,000	399,000	230,000	223,000	6,510,000
平成16年度	1,175,000	59,000	3,836,000	45,000	362,000	157,000	198,000	5,832,000
平成17年度	1,115,100	53,200	3,177,300	37,000	321,900	173,800	195,700	5,074,000
平成18年度	1,064,400	55,200	2,927,700	35,400	329,000	190,600	187,700	4,790,000
平成19年度	986,500	52,100	2,938,200	35,000	314,300	178,500	196,800	4,701,400
平成20年度	963,200	46,000	2,741,200	34,000	319,400	168,700	162,100	4,434,600
平成21年度	1,039,300	46,500	2,495,100	37,000	298,600	167,700	192,900	4,277,100
平成22年度	916,700	42,800	2,099,100	32,800	283,300	167,300	191,100	3,733,100
平成23年度	865,600	41,000	2,347,500	32,100	291,700	159,500	198,100	3,935,500
平成24年度	935,400	42,100	2,567,200	37,100	281,100	180,000	210,800	4,253,700
平成25年度	1,094,400	45,100	2,394,100	38,100	346,800	142,100	190,900	4,251,500
平成26年度	941,500	85,000	2,569,000	35,100	386,000	139,800	165,500	4,321,900
平成27年度	996,400	90,600	2,462,700	36,200	433,400	146,800	167,600	4,333,700
平成28年度	1,008,800	92,900	2,472,900	37,200	451,800	162,300	172,300	4,398,200
令和元年度	1,021,000	74,000	1,745,000	29,000	439,000	160,000	160,000	3,628,000

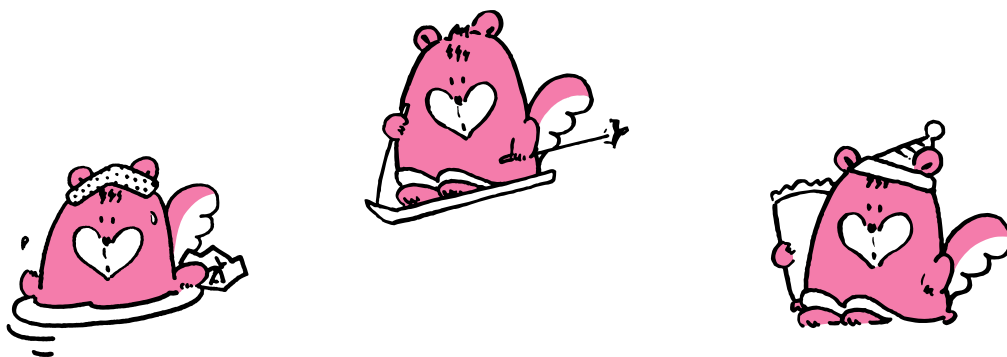
70 湯沢町の年表

年（西暦）	湯沢町の動き	西暦	国内の動き
約15000年前～	岩原Ⅰ遺跡からナイフ型石器や尖頭器が出土		旧石器時代
	大刈野遺跡から細石刃石器群が出土		
5500年前	川久保遺跡で火焰型土器が作られる		縄文時代
紀元前3世紀	三国の龍岩窟遺跡が営まれる		弥生時代
		239	卑弥呼が魏に使いを送る
		593	聖徳太子が推古天皇の摂政となる
		645	大化の改新がおこる
		701	大宝律令が制定される
		710	平城京に都を移す
		794	平安京に都を移す
1176（安元2）	南魚沼市との境にある戸内山が崩れ、魚沼川（魚野川）をせき止めたため、大きな被害が発生した、と伝えられる	1192	源頼朝が征夷大將軍となる
		1333	鎌倉幕府が滅亡する
		1334	建武の新政が始まる
		1338	足利尊氏が室町幕府を開く
1560（永禄3） ～1574	この年以降、上杉謙信が、毎冬10回前後、越山する（三国峠を越えること）	1467	応仁の乱が起こる
1578（天正6）	上杉謙信が急死し、後継ぎ争いから御館の乱が起こる。上杉景勝が荒戸城や三国越え、清水越えの防備を固めるよう命じる	1573	室町幕府が滅亡する
1580（天正8）	荒戸城を北条氏政の兵が攻撃し、樋口某を討ち取る		
		1590	豊臣秀吉が天下統一する
		1600	関が原の戦いが起こる
1609（慶長14）	三国峠の普請が行われ、越後側の浅貝、二居、三俣の宿場ができる	1603	徳川家康が江戸幕府を開く
1624（寛永元）	湯沢が高田領となる	1615	武家諸法度を制定する
		1641	鎖国が完成する
1668（寛文8）	八木沢口留番所に、高田藩から取り締まり条目が渡される		
1680ころ	延宝の飢饉が起こり、土樽、神立、湯沢村などで餓死者が多数でる		
1738（元文3）	江戸の越後屋庄右衛門が、向原・中子原・萩原などの新田開発を願い出る	1716	享保の改革が始まる
1751（寛延4）	佐渡の御金荷38個が三国街道を通る	1742	公事方御定書を制定する
1755ころ	宝暦の飢饉が起こる	1772	田沼意次が老中となる
1781～	天明の飢饉が起こる	1783	天明の大飢饉
1783（天明3）	浅間山が噴火し、湯沢にも火山灰が降る	1787	寛政の改革が始まる
1833～	天保の飢饉が起こる	1833	天保の大飢饉が起こる
		1841	天保の改革が始まる

年（西暦）	湯沢町の動き	西暦	国内の動き
1848（嘉永元）	三俣で36戸を焼く大火がおこる	1853	ペリーが浦賀に来航する
1853（嘉永6）	浅貝で36戸を焼く大火がおこる	1854	日米和親条約を結ぶ
1856（安政3）	湯沢で58戸を焼く大火がおこる	1858	日米修好通商条約を結ぶ
1867（慶応3）		1867	大政奉還
1868（慶応4）	戊辰戦争・三国峠の戦い 会津軍により浅貝、二居が焼かれる	1868	戊辰戦争が起こる 五箇条の御誓文を發表する
		1871	廃藩置県を行う
1873（明治6）	柏崎県が廃止され、新潟県の管轄となる	1873	地租改正を行う 徴兵令が制定される
1874（明治7）	二居、三俣、湯沢に郵便取扱所が発足	1874	自由民権運動が始まる
1875（明治8）	湯沢、神立、三俣の各校が開校		
1876（明治9）	二居、浅貝、土樽の各校が開校	1877	西南戦争が起こる
1879（明治12）	郡制度ができ、南魚沼郡となる		
1880（明治13）	湯沢に演説会結社がつくられる	1881	国会開設の詔が出される 自由党が結成される
1881（明治14）	金融会社の広融社ができる	1889	大日本帝国憲法が制定される
1882（明治15）	森鷗外が三国峠を越える	1890	第一回帝国議会在が開かれる
1894（明治27）	日清戦争勃発、湯沢地域から2名の戦没者がでる	1894	日清戦争が起こる
1901（明治34）	浅貝村と二居村が合併して三国村となる		
1904（明治37）	日露戦争勃発、湯沢地域から6名の戦没者がでる	1904	日露戦争が起こる
1913（大正2）	本間栄太郎により湯沢にスキーが導入される	1910	韓国併合
1916（大正5）	布場スキー場が開かれ、偉スキー猛団が結成される	1914	第一次世界大戦が始まる
1918（大正7）	三俣で大雪崩が発生し、死者158人の大惨事となる	1918	米騒動が起こる
1923（大正12）	岩原、土樽スキー場が開かれる	1923	関東大震災が起こる
1925（大正14）	上越線湯沢駅が開業する		
1926（昭和元）	湯沢村に電話が入る		
1931（昭和6）	上越線が全線開通する 布場、岩原スキー場に県内で最も早くロープ及びプラーが設置される	1931	満州事変が起こる
1932（昭和7）	西山一号温泉井が湧出する 以降、西山地区の温泉旅館建設が進む 与謝野鉄幹・晶子夫妻が湯沢を訪れる	1933	国際連盟を脱退する
1934（昭和9）	大雪と冷害にみまわれ、大凶作となる 川端康成が初めて湯沢を訪れる		
1937（昭和12）	北原白秋が湯沢を訪れる	1937	日中戦争が始まる
1938（昭和13）	満蒙青少年義勇軍の募集が始まり、土樽村・湯沢村からも志願者が出る	1939	第二次世界大戦が始まる

年（西暦）	湯沢町の動き	西暦	国内の動き
1941（昭和16）	金属回収が行われ、湯沢村では割り当て分を完了する	1941	太平洋戦争が始まる
1944（昭和19）	世田谷区立尾山台国民学校の疎開児童が到着する	1945	広島・長崎に原子爆弾が投下される ポツダム宣言を受け入れる
1947（昭和22）	進駐軍が岩原スキー場を接收する 旭原が新潟県開拓基地農場となる	1946	日本国憲法を公布する
1949（昭和24）	湯沢の山岳地帯が上信越高原国立公園に指定される		
1950（昭和25）	週末臨時夜行列車「銀嶺号」が、上野～湯沢間で運転開始する	1950	朝鮮戦争が始まる
1951（昭和26）	布場に本郡初めてのリフトができる スキーカーニバルが始まる	1951	日米安全保障条約を結ぶ サンフランシスコ平和条約を結ぶ
1955（昭和30）	三国・三俣・土樽・神立・湯沢の五カ村が合併して湯沢町が誕生。初代町長は前神立村長角谷虎繁が選ばれる	1956	日ソ共同宣言 国際連合に加盟する
1959（昭和34）	三国トンネルの開通式が行われる 大峰山にロープウェイが完成する 中里スキー場が開業する		
1960（昭和35）	統合湯沢中学校が発足する		
1961（昭和36）	苗場スキー場が開業する		
1965（昭和40）	上越線特急列車「とき」号が停車する	1964	東京オリンピックが開催される
1966（昭和41）	三国中学校が統合し中学校が一町一校となる 駅前通に消雪パイプを敷設する 国道17号線が完成する		
1967（昭和42）	新清水トンネルが完成し、上越線が複線化する		
1970（昭和45）	ノリタエ工が操業を開始する みつまた高原スキー場が開業する	1970	大阪で万国博覧会が開かれる
1972（昭和47）	新日本スキー場（現湯沢パーク）が開業する	1972	沖縄が日本に復帰する 札幌オリンピックが開催される
1973（昭和48）	苗場スキー場でワールドカップスキー大会が開かれる 大源太キャニオン青少年旅行村が開業する 中里昭和スキー場（現ルーデンス）が開業する	1973	オイルショック（石油危機）
1975（昭和50）	湯沢温泉の集中管理が始まる		
1978（昭和53）	県立湯沢高校が開校する 奥清津発電所が発電を開始する	1978	日中平和友好条約を結ぶ
1980（昭和55）	アルプの里が開業する		
1982（昭和57）	上越新幹線が開業する（大宮まで）		
1984（昭和59）	関越自動車道湯沢インターチェンジが開通する		

年（西暦）	湯沢町の動き	西暦	国内の動き
1985（昭和60）	上越新幹線が上野まで開通する 関越自動車道が全線開通する このころからリゾートマンションブームが始まる		
1986（昭和61）	神立高原スキー場が開業する	1986	バブル景気が始まる
1987（昭和62）	湯沢フィッシングパークができる 鉄筋3階建ての湯沢町公民館ができる	1987	国鉄民営化
1988（昭和63）	湯沢カルチャーセンターがオープンする	1989	平成が始まる
1990（平成2）	ガーラ湯沢スキー場が開業する 加山キャプテンコーストスキー場が開業する		
1991（平成3）	上越新幹線が東京まで開通する 関越トンネル上り線開通、全線四車線となる 世界最大規模の166人乗りロープウェーが完成する	1991	バブル崩壊
1992（平成4）	ナスパススキーガーデンが開業する		
1995（平成7）	奥清津第二発電所が竣工する	1995	阪神・淡路大震災が起こる
1997（平成9）	北越急行はくほく線が開通する	1998	長野オリンピックが開催される
2000（平成12）	清津川ダム見直し勧告がでる		
2002（平成14）	湯沢町保健医療センターがオープンする 第1回秋桜マラソンが開催される	2003	イラク戦争でフセイン政権崩壊
2004（平成16）	中越地震で風評被害を受ける		
2006（平成18）	トリノオリンピックで皆川賢太郎が4位入賞	2006	平成の大合併
2011（平成23）	東日本大震災で避難者を受け入れる	2011	東日本大震災が起こる
2014（平成26）	湯沢学園（湯沢小学校・湯沢中学校）で 小中一貫教育を開始する		
2016（平成28）	湯沢認定こども園が開園し、湯沢学園（湯沢小、湯沢中、認定こども園）で保小中 一貫教育を開始する		
2020（令和2）	アルペンスキーワールドカップが苗場スキー 場で開催される	2020	新型コロナウイルス感染症が世界じゅうに広がる
2022（令和4）	北京オリンピックで川村あんりが5位入賞		



あ と が き 学習資料集を活用するみなさんへ

学習資料集【下巻】第2版ができてから4年の月日が流れました。この間に世界も、日本も、そして、わたしたちの湯沢町も様々な面が変わってきました。湯沢学園（湯沢小学校、湯沢中学校）で学ぶみなさんの学びが一層充実することを願い、この「大好き!! 湯沢」の内容を見直し、最新の資料を取り入れて、第3版を作成しました。

この学習資料を様々な学習に活用して、わたしたちが暮らす湯沢町の自然や歴史、地域、文化、産業、人物などについてより深く理解し、湯沢に暮らす人々の願い、それを実現するための努力や工夫を学んでください。そして、湯沢町のことを今以上に好きになり、ふるさと湯沢に暮らすことや湯沢学園で学ぶことを誇りに思い、郷土湯沢の発展に貢献できる人へと大きく成長してほしいと願っています。

結びに、本資料集の編集に当たっては多方面の皆様から、最新の画像や資料を提供いただいたり、ご助言をいただいたりしてきました。ご協力いただきました多くの皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

学習資料集【下巻】「大好き!! 湯沢」編集委員長
湯沢町立湯沢小学校長 山本 平生

学習資料集【下巻】「大好き!! 湯沢」編集協力・編集委員

編集委員長 山本 平生

編集副委員長 岸 崇

編集委員 小見芳太郎

土田 侑人

大黒 淑乃

貝沼 拓弥

阿部 幸奈

中村 太郎

根津 元

資料提供・協力

湯沢町役場、湯沢町商工会、湯沢町観光まちづくり機構、越後湯沢温泉観光協会、湯沢町都市施設公社、「わたしたちの町と南魚沼郡」編集委員会、NEXCO東日本、国土交通省湯沢砂防事務所、三条印刷、写真のタカハシ、白瀧酒造、湯沢フォトサービス、南魚沼市消防署、南魚沼警察署、苗場スキー場、NASPAスキーガーデン、JAみなみ魚沼湯沢支店、湯沢町総合福祉センター、貝掛温泉、電源開発、特別養護老人ホームゆのさと園、今泉博物館、国土交通省長岡国道事務所湯沢維持出張所、新津鉄道資料館、南魚沼市環境衛生センター、リサイクルセンター魚野、笛田組、高橋正明、川辺清子、南雲英二、南雲昭五郎、南雲好幸

学習資料集【下巻】「大好き!! 湯沢」（5学年から9学年用）

平成26年4月1日 初版発行

令和4年4月1日 第3版発行

発行 湯沢町教育委員会



大好き!! 湯沢



湯沢学園

氏
名

